
福祉に関するアンケート調査 調査結果報告書

平成29年10月

東広島市

目 次

I	調査概要	1
1	アンケート調査	1
II	調査結果	2
1	回答者属性について	2
(1)	回答者	2
(2)	年齢構成	2
(3)	性別構成	3
(4)	居住地域	3
(5)	一緒に暮らしている人	4
2	介助について	5
(1)	日常生活	5
(2)	介助の必要性の有無	5
(3)	介助してくれる人	7
(4)	介助してくれる人の状態	8
3	障害の状況について	15
(1)	障害の種類	15
(2)	身体障害者の主たる障害	17
(3)	難病（特定疾患）の認定の有無	17
(4)	発達障害の診断の有無	18
(5)	発達障害者における必要な支援	18
(6)	高次脳機能障害の診断の有無	19
(7)	高次脳機能障害者における関連障害	19
(8)	現在受けている医療ケア	20
4	住まいや暮らしについて	22
(1)	現在の暮らし	22
(2)	将来地域で生活したいか	22
(3)	地域で生活するために必要な支援	23
5	日中活動について	25
(1)	外出の頻度	25
(2)	外出する際の主な同伴者	26
(3)	外出する目的	27
(4)	外出するときに困ること	28
(5)	平日の日中の暮らし方	30

6	就労について	32
(1)	勤務形態	32
(2)	今後収入を得る仕事の希望	33
(3)	職業訓練の希望	34
(4)	障害者の就労支援として必要なこと	35
7	障害福祉サービス等の利用について	36
(1)	障害支援区分の認定	36
(2)	介護保険によるサービス利用の有無	36
(3)	該当する要介護度	37
(4)	介護保険サービスの利用状況	37
(5)	障害福祉サービスに関する利用状況と利用希望	38
(6)	障害児に関するサービスの利用状況と利用希望	47
8	相談相手について	55
(1)	悩みや困ったことの相談先	55
(2)	福祉サービスに関する情報の入手先	58
9	権利擁護について	61
(1)	障害があることでの差別や嫌な思い	61
(2)	差別や嫌な思いをした場所	62
(3)	「障害者差別解消法」の認知	63
(4)	成年後見制度の認知	64
(5)	東広島市虐待防止センターについての認知	65
10	自由記述について	66
11	調査結果のまとめ	71

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、第5期東広島市障害福祉計画及び第1期東広島市障害児福祉計画の基礎資料として、また今後の障害福祉施策推進に活用するため、障害のある人の日常生活、就労、日中活動等の状況や満足度、今後のサービス利用の意向等について調査を実施しました。

2 調査対象者

平成29年6月現在、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を所持している方の中から無作為抽出した者を調査対象としました。

※ 障害児については、手帳非所有者でのサービス利用者がいるため、3つの児童サービス利用者も抽出の対象としました。

3 調査対象数

1,800人（一般：1,364人、障害児：436人）

4 調査期間

平成29年8月17日～平成29年8月31日

5 配布・回収方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査

6 回収状況

配布数：1,800人

有効回収数：861人（一般：662人、障害児：199人）

有効回収率：47.8%（一般：48.5%、障害児：45.6%）

7 調査結果の見方等

- ・報告書中の「n＝」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合もあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は100.0%を超えます。
- ・居住地域、性別等が「無回答」の部分は、報告書の図表には表示していませんので、合計が全体のサンプル数と一致しない場合があります。

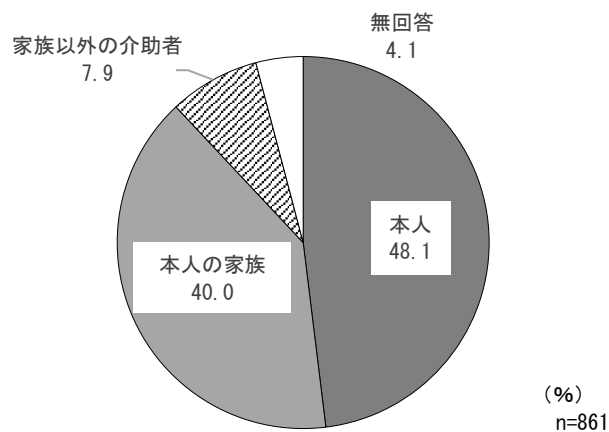
Ⅱ 調査結果

1 回答者属性について

(1) 回答者

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

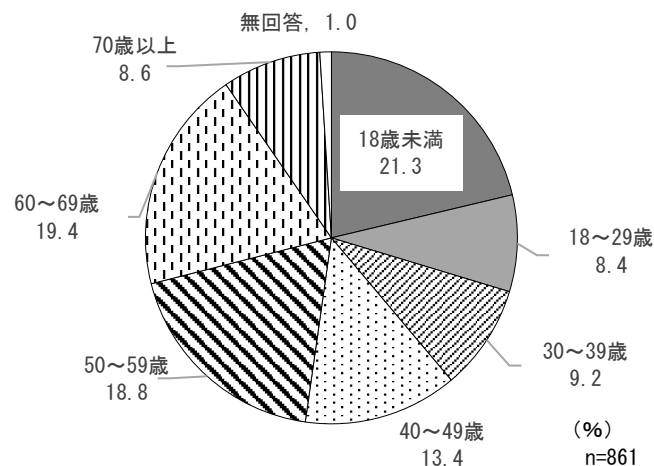
回答者について、「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が48.1%と最も高くなっています。ついで、「本人の家族」が40.0%、「家族以外の介助者」が7.9%となっています。



(2) 年齢構成

問2 あなた（本人）の年齢をお答えください。(平成29年7月1日現在)

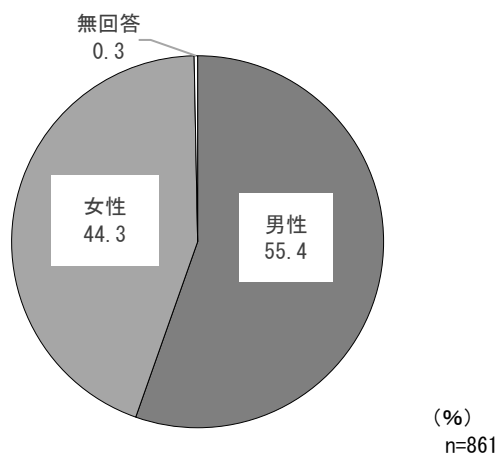
年齢構成について、「18歳未満」が21.3%と最も高くなっています。ついで、「60～69歳」が19.4%、「50～59歳」が18.8%となっています。



(3) 性別構成

問3 あなた（本人）の性別をお答えください。（○は1つだけ）

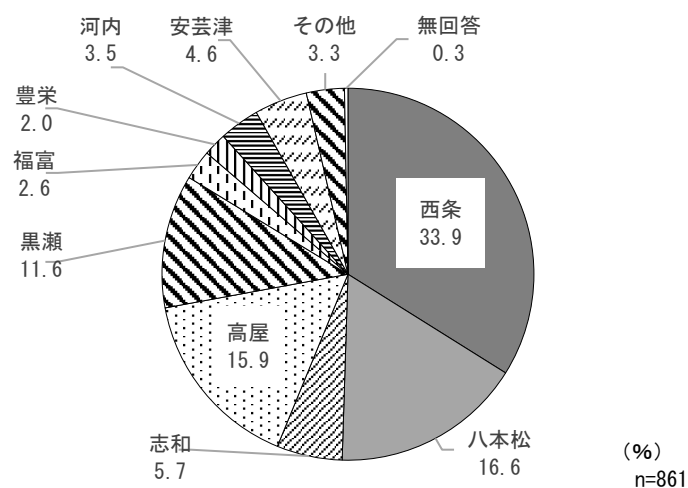
性別構成について、「男性」が55.4%、「女性」が44.3%となっています。



(4) 居住地域

問4 あなた（本人）がお住まいの地域はどこですか。（○は1つだけ）

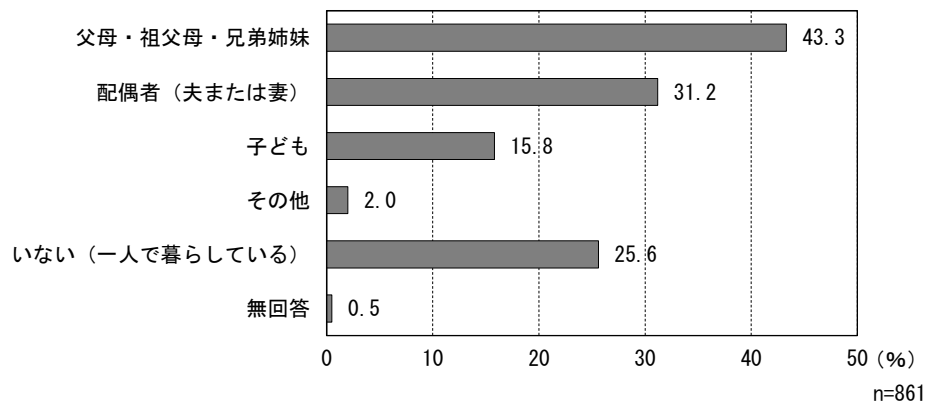
居住地域について、「西条」が33.9%と最も高くなっています。ついで、「八本松」が16.6%、「高屋」が15.9%となっています。



(5) 一緒に暮らしている人

問5 現在、あなた（本人）と一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

一緒に暮らしている人について、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 43.3%と最も高くなっています。ついで、「配偶者（夫または妻）」が 31.2%、「いない（一人で暮らしている）」が 25.6%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が減少する傾向にあります。また、「70歳以上」を除いて、「配偶者（夫または妻）」の割合が増加する傾向にあります。

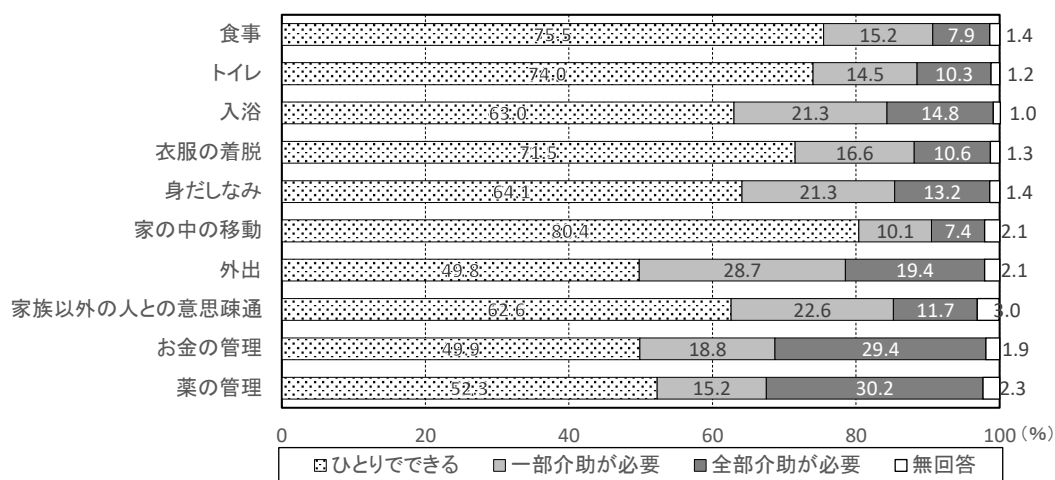
			サンプル数	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫または妻）	子ども	その他	いない（一人で暮らしている）	無回答
全体			861	43.3	31.2	15.8	2.0	25.6	0.5
年齢別	18歳未満	183	96.2	—	—	1.1	3.8	—	
	18～29歳	72	68.1	4.2	2.8	—	25.0	1.4	
	30～39歳	79	48.1	24.1	12.7	2.5	29.1	1.3	
	40～49歳	115	36.5	30.4	24.3	3.5	33.9	0.9	
	50～59歳	162	27.2	47.5	25.9	1.2	29.0	—	
	60～69歳	167	10.8	61.1	22.2	3.6	28.7	—	
	70歳以上	74	4.1	41.9	20.3	1.4	48.6	—	
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	30.5	47.1	24.0	2.2	23.8	0.2
		療育手帳	246	55.7	2.4	2.0	1.2	39.8	0.4
		精神障害者保健福祉手帳	131	54.2	23.7	12.2	2.3	20.6	—
		持っていない	37	94.6	2.7	—	5.4	2.7	—
	難病	受けている	94	36.2	41.5	17.0	—	18.1	—
		受けていない	647	42.3	32.6	17.8	2.3	26.4	0.2
	発達障害	ある	185	82.7	2.2	1.6	1.1	14.1	—
		ない	590	32.2	39.7	20.8	2.0	29.3	0.2
	高次脳機能障害	ある	59	32.2	40.7	11.9	—	33.9	—
ない		685	45.1	31.1	17.2	1.9	24.1	0.1	

2 介助について

(1) 日常生活

問6 あなた（本人）は、日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれに
お答えください。（①から⑩それぞれに○を1つ）

日常生活について、「ひとりでできる」の回答率は、「家の中の移動」が80.4%と最も高くなっています。ついで、「食事」が75.5%、「トイレ」が74.0%となっています。「一部介助が必要」の回答率は、「外出」が28.7%と最も高くなっています。ついで、「家族以外との意思疎通」が22.6%となっています。「全部介助が必要」の回答率は、「薬の管理」が30.2%と最も高くなっています。ついで、「お金の管理」が29.4%と「外出」が19.4%となっています。

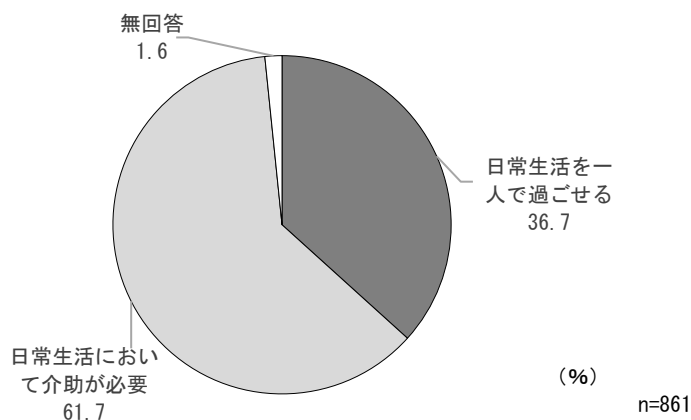


n=861

(2) 介助の必要性の有無

日常生活について、全ての項目で「ひとりでできる」と回答した場合、「日常生活を一人で過ごせる」とし、1つ以上の項目で、「一部介助が必要」もしくは「全部介助が必要」と回答した場合は、「日常生活において介助が必要」とし、介助の必要性について分析しました。

介助の必要性の有無について、「日常生活において介助が必要」が61.7%、「日常生活を一人で過ごせる」が36.7%となっています。



n=861

【属性別特徴】

○年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「70 歳以上」を除いて、「日常生活を一人で過ごせる」の回答率は、増加する傾向にあり、「70 歳以上」を除いて、「日常生活において介助が必要」の回答率は減少する傾向にあります。

○障害種別でみると、「療育手帳」の所持者と「発達障害」、「高次脳機能障害」と診断された人は、8割以上が「日常生活において介助が必要」となっています。

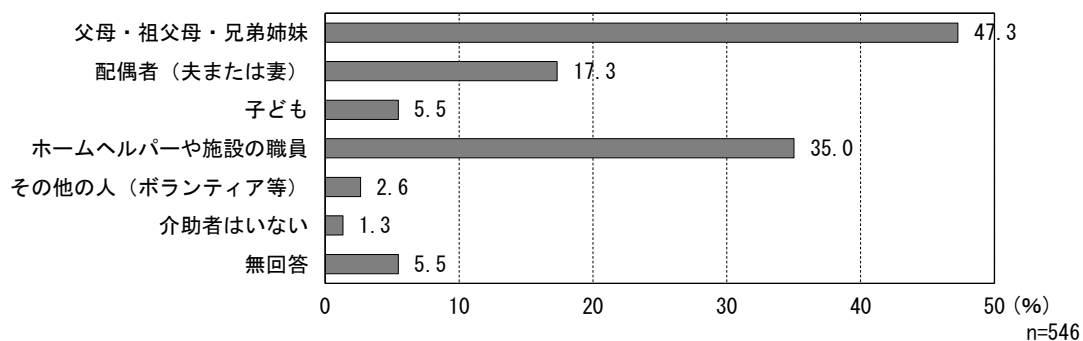
			サンプル数	日常生活を一人で過ごせる	日常生活において介助が必要	無回答
全体			861	36.7	61.7	1.6
年齢別		18 歳未満	183	6.6	91.8	1.6
		18～29 歳	72	30.6	65.3	4.2
		30～39 歳	79	40.5	58.2	1.3
		40～49 歳	115	42.6	56.5	0.9
		50～59 歳	162	50.6	48.8	0.6
		60～69 歳	167	57.5	41.3	1.2
		70 歳以上	74	29.7	67.6	2.7
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	49.5	49.1	1.4
		療育手帳	246	6.9	92.7	0.4
		精神障害者保健福祉手帳	131	37.4	61.8	0.8
		持っていない	37	8.1	91.9	－
	難病	受けている	94	41.5	57.4	1.1
		受けていない	647	38.0	60.7	1.2
	発達障害	ある	185	9.2	89.2	1.6
		ない	590	44.4	54.7	0.8
	高次脳機能障害	ある	59	13.6	84.7	1.7
		ない	685	38.1	60.9	1.0

(3) 介助してくれる人

問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と回答された方にお聞きします。

問7 あなた（本人）を介助してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

介助してくれる人について、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が47.3%と最も高くなっています。ついで、「ホームヘルパーや施設の職員」が35.0%、「配偶者（夫または妻）」が17.3%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「父母・祖父母・兄弟姉妹」の回答率は、減少する傾向にあります。

○障害種別でみると、「発達障害」と診断された人は、7割以上が「父母・祖父母・兄弟姉妹」となっています。

		サンプル数	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫または妻）	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）	介助者はいない	無回答
全体		546	46.0	16.8	5.3	34.1	2.6	1.3	8.1
年齢別	18歳未満	171	87.1	-	-	6.4	-	-	9.9
	18～29歳	50	58.0	2.0	-	38.0	28.0	2.0	14.0
	30～39歳	47	42.6	14.9	-	48.9	29.8	-	12.8
	40～49歳	66	33.3	19.7	6.1	50.0	-	4.5	3.0
	50～59歳	80	20.0	37.5	8.8	43.8	3.8	-	6.3
	60～69歳	71	9.9	36.6	5.6	46.5	4.2	1.4	7.0
	70歳以上	55	10.9	27.3	21.8	52.7	5.5	3.6	3.6
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	252	34.1	29.4	8.7	38.1	4.8	4.8
		療育手帳	229	52.4	1.3	0.4	46.3	1.7	7.9
		精神障害者保健福祉手帳	82	57.3	19.5	9.8	20.7	-	4.9
		持っていない	34	85.3	2.9	-	2.9	-	11.8
	難病	受けている	55	49.1	32.7	10.9	21.8	5.5	1.8
		受けていない	401	45.1	17.0	5.5	36.7	2.5	6.7
	発達障害	ある	168	76.2	1.8	0.6	14.3	-	1.2
		ない	328	34.1	23.8	7.9	43.9	3.7	4.9
	高次脳機能障害	ある	51	31.4	37.3	7.8	35.3	-	2.0
		ない	424	49.3	14.6	5.4	34.2	2.8	68.6

(4) 介助してくれる人の状態

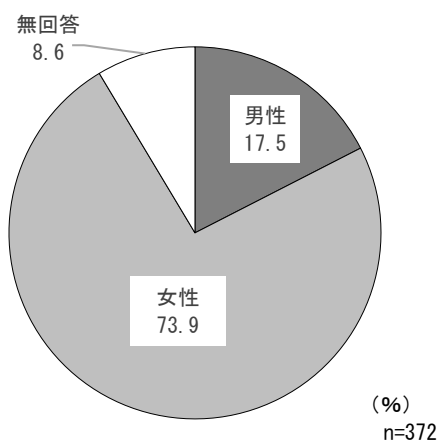
問7で「1. 父母・祖父母・兄弟姉妹」～「3. 子ども」のいずれかを選択された方にお聞きます。

問8 あなた（本人）を介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

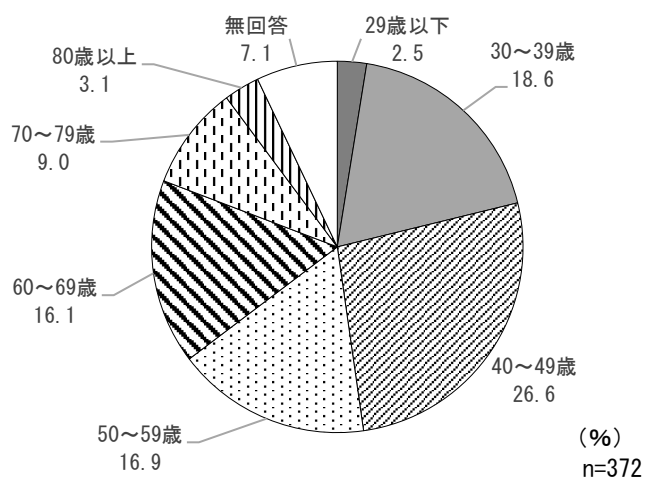
「父母・祖父母・兄弟姉妹」、「配偶者（夫または妻）」、「子ども」のいずれかを回答した人の介助してくれる人の状態について、性別、年齢、健康状態をお聞きました。

主に介助してくれる人の性別は、「女性」が73.9%、「男性」が17.5%となっています。主に介助してくれる人の年齢は、「40代」が26.6%と最も高くなっています。ついで、「30代」が18.6%、「60代」が16.1%となっています。主に介助してくれる人の健康状態は、「ふつう」が54.0%と最も高くなっています。ついで、「よい」が28.8%、「よくない」が8.3%となっています。

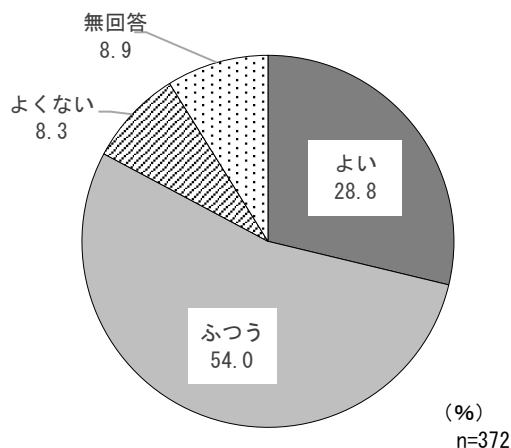
① 性別



② 年齢



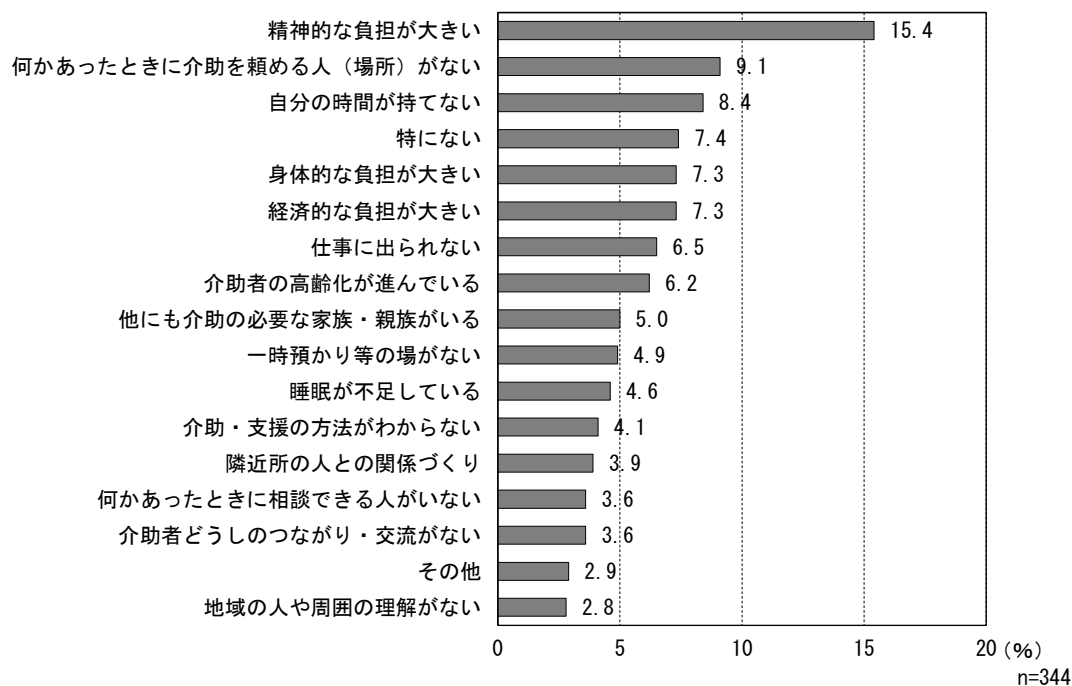
③ 健康状態



問1で「2. 本人の家族」を選択された方のみにお尋ねします。

問9 ご家族の方にお尋ねします。介助または支援にあたってどのような不安や悩みをお持ちですか。(〇は5つまで)

介助または支援にあたっての不安や悩みについて、「精神的な負担が大きい」が15.4%と最も高くなっています。ついで、「何かあったときに介助を頼める人（場所）がない」が9.1%、「自分の時間が持てない」が8.4%となっています。



※無回答は62.5%

【属性別特徴】

○年齢別でみると、「身体的な負担が大きい」は50歳代以降で高くなる傾向にあります。また、「他にも介助の必要な家族・親族がいる」は30歳代、40歳代で高くなっています。

○障害種別でみると、「精神障害者」で、「精神的な負担が大きい」が5割以上となっています。

		サンプル数	介助・支援の方法がわからない	自分の時間が持てない	仕事に出られない	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠が不足している	経済的な負担が大きい	他にも介助の必要な家族・親族がいる	地域の人や周囲の理解がない	
全体		344	10.2	20.9	16.3	18.3	38.7	11.6	18.3	12.5	7.0	
年齢別	18歳未満	169	10.1	16.6	20.7	10.7	38.5	8.9	18.9	10.7	7.1	
	18～29歳	40	12.5	15.0	17.5	17.5	32.5	10.0	10.0	12.5	5.0	
	30～39歳	19	5.3	26.3	10.5	15.8	42.1	21.1	21.1	31.6	5.3	
	40～49歳	32	6.3	21.9	6.3	21.9	34.4	15.6	9.4	21.9	9.4	
	50～59歳	28	14.3	42.9	14.3	42.9	39.3	21.4	21.4	3.6	3.6	
	60～69歳	30	10.0	26.7	13.3	16.7	36.7	10.0	16.7	10.0	6.7	
	70歳以上	20	15.0	25.0	5.0	45.0	60.0	15.0	35.0	15.0	15.0	
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	144	6.3	25.0	11.8	27.1	31.9	14.6	17.4	9.7	6.3
		療育手帳	150	9.3	16.7	18.7	18.0	38.7	12.7	14.0	16.0	7.3
		精神障害者保健福祉手帳	53	13.2	28.3	18.9	17.0	54.7	9.4	26.4	17.0	7.5
		持っていない	33	21.2	12.1	21.2	3.0	42.4	6.1	24.2	12.1	9.1
	難病	受けている	31	12.9	32.3	25.8	35.5	45.2	32.3	29.0	9.7	12.9
		受けていない	251	10.0	20.3	15.1	18.3	35.1	10.4	16.3	12.7	6.8
	発達障害	ある	150	13.3	17.3	21.3	10.7	48.0	10.7	17.3	13.3	8.7
		ない	173	7.5	22.5	11.6	24.9	29.5	11.6	16.2	10.4	4.6
	高次脳機能障害	ある	35	17.1	37.1	17.1	37.1	48.6	20.0	22.9	11.4	17.1
		ない	272	9.6	18.8	16.5	16.5	36.8	10.3	16.2	11.0	5.9

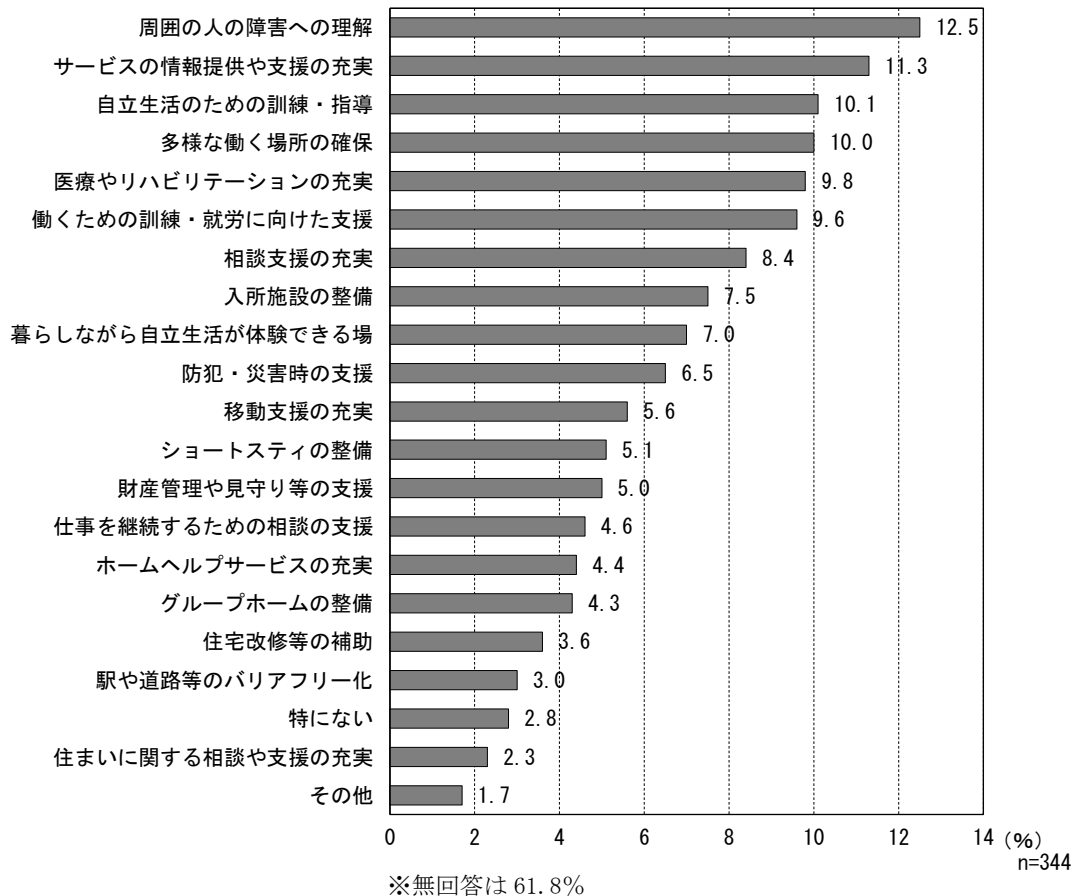
【属性別特徴】

		サンプル数	一時預かり等の場がない	隣近所の人との関係づくり	何かあったときに相談できる人がいない	何かあったときに介助を頼める人（場所）がない	介助者どうしのつながり・交流がない	介助者の高齢化が進んでいる	その他	特にない	無回答
全体		344	12.2	9.9	9.0	22.7	9.0	15.4	7.3	18.6	12.8
年齢別	18歳未満	169	13.6	9.5	8.3	19.5	8.3	3.0	13.6	21.9	5.3
	18～29歳	40	15.0	17.5	10.0	35.0	7.5	15.0	－	12.5	17.5
	30～39歳	19	5.3	5.3	15.8	26.3	10.5	31.6	－	26.3	10.5
	40～49歳	32	9.4	9.4	12.5	28.1	3.1	34.4	－	12.5	25.0
	50～59歳	28	14.3	14.3	3.6	17.9	14.3	25.0	－	10.7	28.6
	60～69歳	30	6.7	6.7	10.0	20.0	10.0	23.3	6.7	20.0	26.7
	70歳以上	20	15.0	－	10.0	30.0	15.0	50.0	－	10.0	5.0
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	144	7.6	9.0	6.9	21.5	11.1	21.5	5.6	18.8
		療育手帳	150	16.7	12.0	12.7	26.7	8.0	16.7	8.0	10.7
		精神障害者保健福祉手帳	53	13.2	13.2	9.4	22.6	11.3	11.3	9.4	9.4
		持っていない	33	12.1	6.1	9.1	18.2	3.0	－	9.1	0.0
	難病	受けている	31	22.6	19.4	9.7	32.3	12.9	22.6	3.2	9.7
		受けていない	251	10.8	9.6	9.6	20.3	9.6	15.1	6.4	20.7
	発達障害	ある	150	16.7	11.3	8.7	22.7	5.3	6.7	10.0	6.0
		ない	173	7.5	9.2	8.7	20.2	9.8	19.1	5.8	17.9
	高次脳機能障害	ある	35	11.4	11.4	5.7	34.3	20.0	34.3	2.9	11.4
		ない	272	12.1	10.3	9.2	21.0	7.0	10.7	8.1	12.9

問1で「2. 本人の家族」を選択された方のみにお尋ねします。

問10 ご家族の方にお尋ねします。あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は5つまで)

希望する暮らしを実現するためにどのようなことが必要かについて、「周囲の人の障害への理解」が12.5%と最も高くなっています。ついで、「サービスの情報提供や支援の充実」が11.3%、「自立生活のための訓練・指導」が10.1%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別でみると、「医療やリハビリテーションの充実」は 50 歳代以降で高くなる傾向にあります。

また、「住宅改修等の補助」は 70 歳以上で、「入所施設の整備」は 60 歳代以降でそれぞれ高くなっています。

○障害種別でみると、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で、「働くための訓練・就労に向けた支援」や「多様な働く場所の確保」、「周囲の人の障害への理解」が高くなっています。また、「高次脳機能障害」と診断された人は、「医療やリハビリテーションの充実」や「移動支援の充実」、「サービスの情報提供や支援の充実」が比較的高くなっています。

		サンプル数	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改修等の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供や支援の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実	
全体		344	11.0	18.9	10.8	12.8	9.0	5.8	28.2	31.4	12.5	20.9	24.4	
年齢別	18 歳未満	169	8.9	10.7	8.3	10.7	5.9	2.4	32.5	45.6	15.4	23.1	17.8	
	18～29 歳	40	12.5	22.5	22.5	17.5	7.5	15.0	25.0	17.5	25.0	15.0	17.5	
	30～39 歳	19	10.5	26.3	10.5	15.8	15.8	10.5	21.1	26.3	10.5	10.5	21.1	
	40～49 歳	32	6.3	34.4	15.6	18.8	6.3	3.1	21.9	12.5	12.5	21.9	31.3	
	50～59 歳	28	17.9	10.7	7.1	14.3	10.7	10.7	28.6	21.4	－	17.9	46.4	
	60～69 歳	30	6.7	33.3	6.7	13.3	10.0	10.0	16.7	13.3	－	20.0	23.3	
	70 歳以上	20	35.0	45.0	10.0	10.0	35.0	5.0	25.0	15.0	5.0	25.0	60.0	
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	144	14.6	22.9	9.0	14.6	20.8	5.6	25.7	21.5	3.5	16.0	33.3
		療育手帳	150	11.3	26.0	17.3	21.3	5.3	8.0	32.7	34.0	22.0	20.0	24.7
		精神障害者保健福祉手帳	53	9.4	11.3	11.3	7.5	－	5.7	28.3	35.8	13.2	28.3	20.8
		持っていない	33	6.1	9.1	6.1	3.0	－	－	30.3	42.4	6.1	30.3	12.1
	難病	受けている	31	29.0	22.6	12.9	19.4	29.0	3.2	48.4	29.0	12.9	29.0	41.9
		受けていない	251	9.2	16.7	11.6	12.7	8.8	6.4	25.5	32.3	12.0	20.3	23.9
	発達障害	ある	150	8.0	13.3	12.0	12.7	2.0	6.0	31.3	41.3	17.3	25.3	16.7
		ない	173	12.1	22.5	8.7	13.3	15.6	5.8	25.4	22.0	9.2	15.6	30.6
	高次脳機能障害	ある	35	11.4	28.6	5.7	14.3	14.3	2.9	37.1	20.0	8.6	34.3	42.9
		ない	272	11.0	15.4	11.8	12.9	8.8	6.6	27.6	33.8	13.2	18.0	22.4

【属性別特徴】

			サンプル数	移動支援の充実	駅や道路等のバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	暮らしながら自立生活が体験できる場	働くための訓練・就労に向けた支援	多様な働く場所の確保	仕事を継続するための相談の支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
全体			344	14.0	7.6	25.3	17.4	24.1	25.0	11.6	16.3	4.4	7.0	11.3
年齢別	18歳未満		169	7.1	5.3	33.7	21.9	37.9	38.5	13.6	14.2	7.1	5.9	3.6
	18～29歳		40	12.5	—	22.5	17.5	25.0	22.5	22.5	10.0	—	5.0	15.0
	30～39歳		19	15.8	15.8	31.6	21.1	10.5	15.8	26.3	26.3	—	5.3	10.5
	40～49歳		32	25.0	15.6	9.4	15.6	6.3	9.4	3.1	15.6	3.1	9.4	18.8
	50～59歳		28	32.1	21.4	10.7	7.1	14.3	14.3	7.1	14.3	3.6	10.7	28.6
	60～69歳		30	16.7	6.7	16.7	6.7	—	—	—	26.7	3.3	10.0	26.7
	70歳以上		20	25.0	5.0	10.0	10.0	—	5.0	—	25.0	—	10.0	10.0
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	144	22.9	13.2	16.0	7.6	10.4	14.6	6.9	20.1	3.5	8.3	18.1
		療育手帳	150	13.3	6.0	28.7	20.7	24.7	21.3	10.0	16.7	3.3	2.7	8.7
		精神障害者保健福祉手帳	53	15.1	1.9	37.7	24.5	41.5	45.3	24.5	13.2	5.7	1.9	9.4
		持っていない	33	3.0	—	33.3	27.3	39.4	39.4	9.1	3.0	9.1	18.2	0.0
	難病	受けている	31	35.5	29.0	19.4	19.4	9.7	9.7	3.2	35.5	3.2	3.2	6.5
		受けていない	251	11.6	6.0	25.9	15.1	24.3	25.1	12.7	16.7	4.0	8.0	12.4
	発達障害	ある	150	8.0	3.3	32.7	26.0	36.7	36.7	14.0	13.3	6.7	4.0	4.7
		ない	173	17.9	10.4	20.2	9.8	13.3	16.2	9.2	18.5	2.9	9.2	16.2
	高次脳機能障害	ある	35	40.0	20.0	17.1	8.6	14.3	8.6	5.7	31.4	2.9	11.4	17.1
		ない	272	10.7	5.9	25.7	19.1	25.0	27.2	12.1	14.7	4.0	6.6	10.3

3 障害の状況について

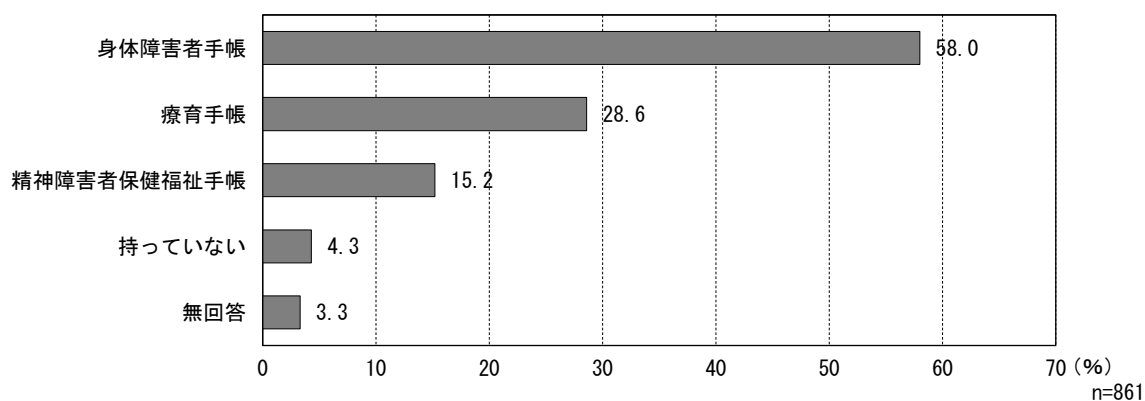
(1) 障害の種類

問 11 あなた（本人）は次の手帳をお持ちですか。お持ちの場合は、手帳の等級もお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

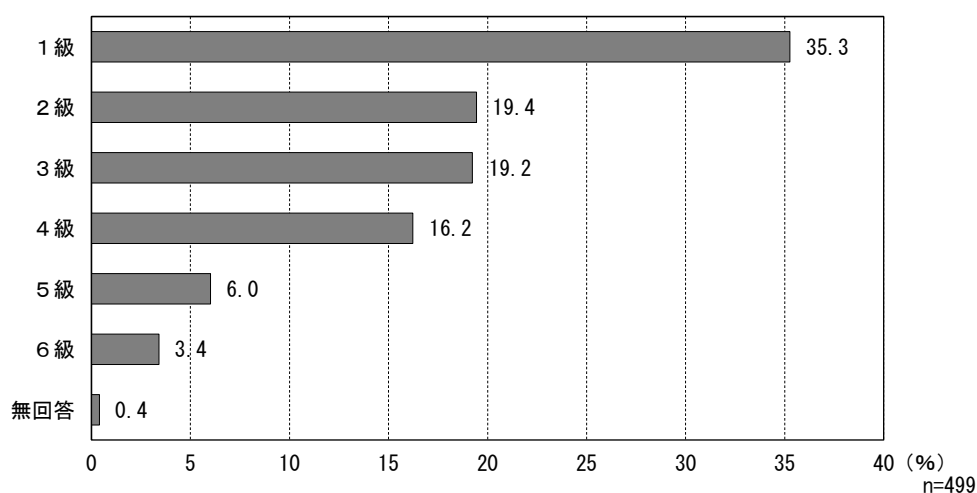
障害の種類について、「身体障害者手帳」が 58.0%と最も高くなっています。ついで、「療育手帳」が 28.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が 15.2%となっています。

所持している手帳の種類について、身体障害者手帳を所持している人の等級は、「1 級」が 35.3%と最も高くなっています。ついで、「2 級」が 19.4%、「3 級」が 19.2%となっています。療育手帳を所持している人の等級は、「○B」が 32.1%と最も高くなっています。ついで、「A」が 25.6%、「○A」が 20.3%となっています。精神障害者保健福祉手帳を所持している人の等級は、「2 級」が 55.7%と最も高くなっています。ついで、「3 級」が 38.9%、「1 級」が 4.6%となっています。

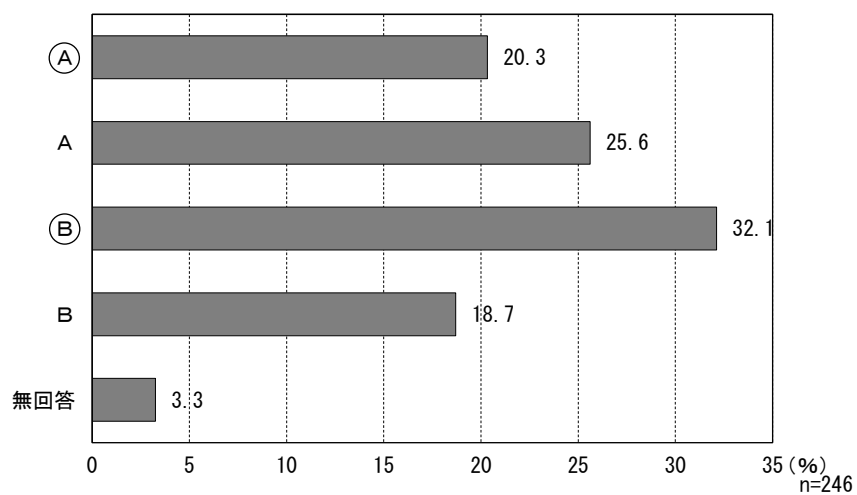
■ 所持している手帳の種類 ■ (複数回答)



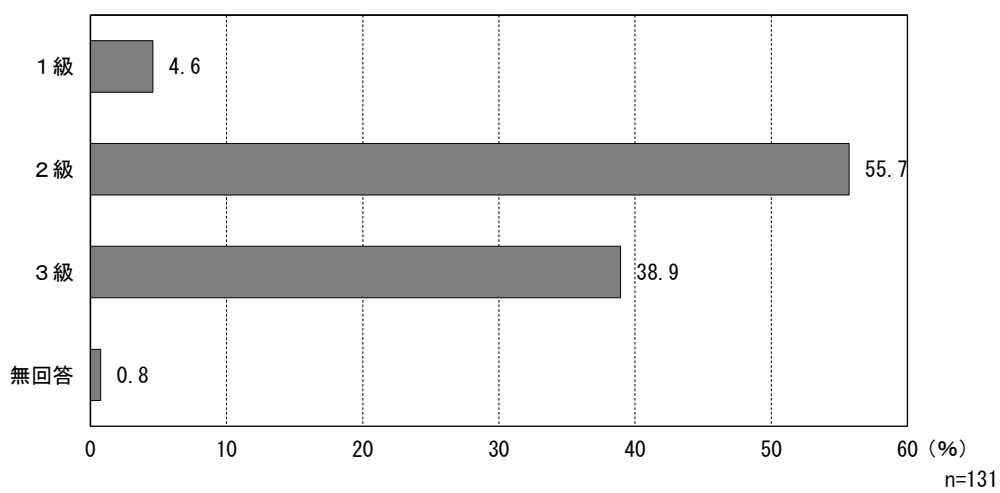
【身体障害者手帳】



【療育手帳】



【精神障害者保健福祉手帳】

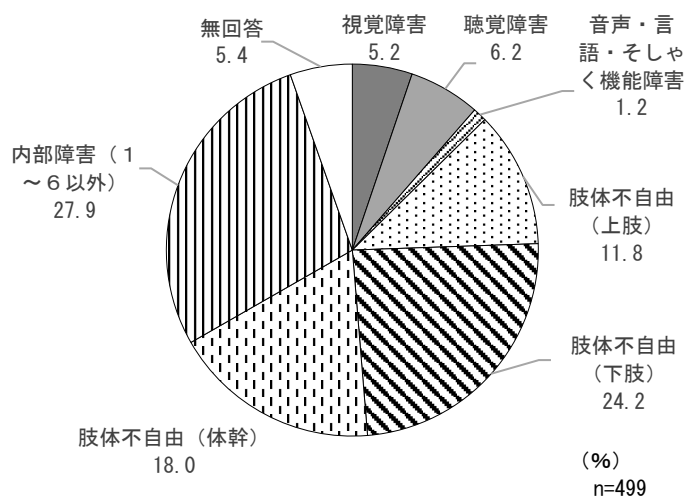


(2) 身体障害者主たる障害

問 11 で「1. 身体障害者手帳」を選択された方にお聞きます。

問 12 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)

身体障害者の主たる障害について、「内部障害（1～6 以外）」が 27.9%と最も高くなっています。ついで、「肢体不自由（下肢）」が 24.2%、「肢体不自由（体幹）」が 18.0%となっています。

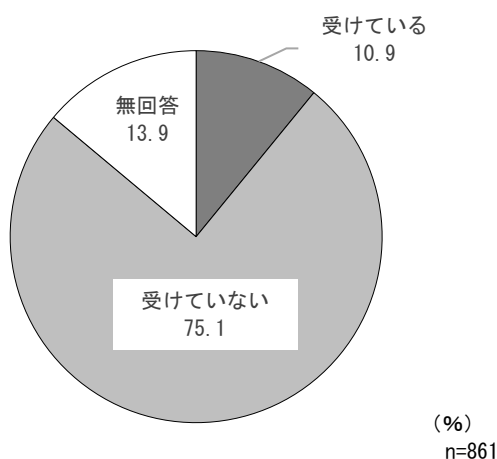


(3) 難病（特定疾患）の認定の有無

問 13 あなた（本人）は医師からの診断により、難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

(○は1つだけ)

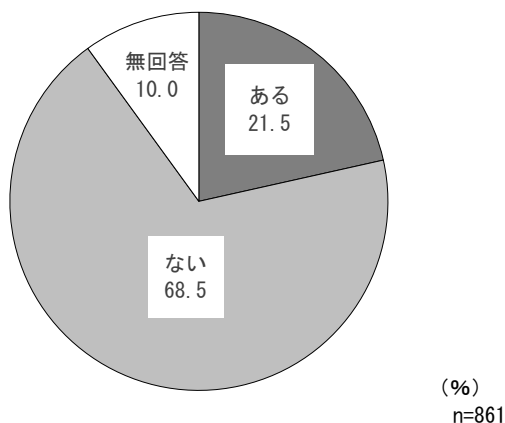
難病（特定疾患）の認定の有無について、「受けていない」が 75.1%、「受けている」が 10.9%となっています。



(4) 発達障害の診断の有無

問 14 あなた（本人）は発達障害として医師から診断され、診断書に病名が記載されたことがありますか。（○は1つだけ）

発達障害の診断の有無について、「ない」が68.5%、「ある」が21.5%となっています。

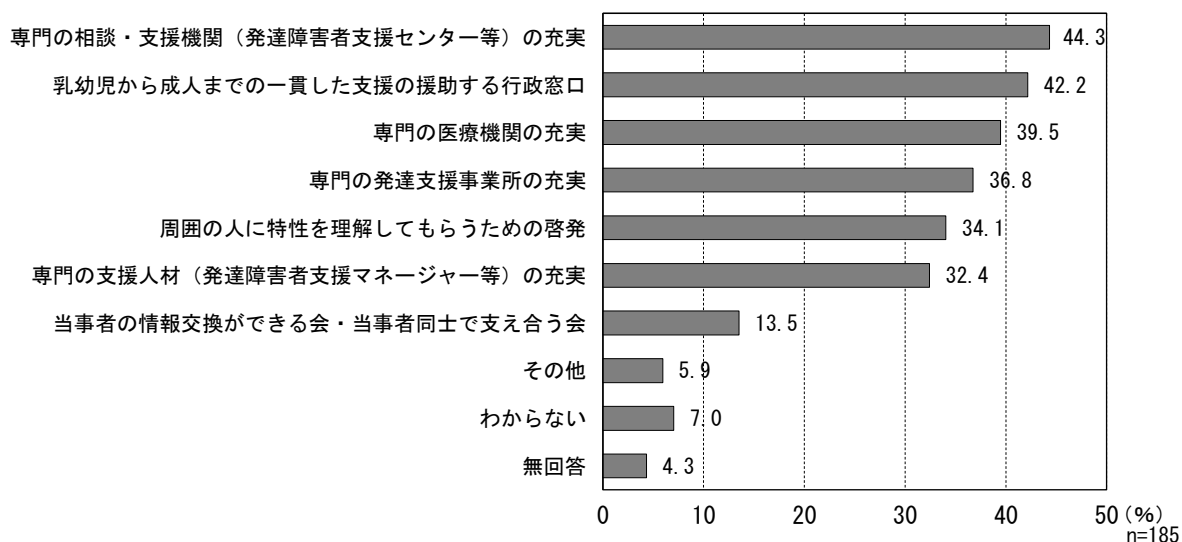


(5) 発達障害者における必要な支援

問 14 で「1. ある」を選択された方にお聞きします。

問 15 発達障害に関して地域でどのような支援があればよいと思いますか。（主なもの3つに○）

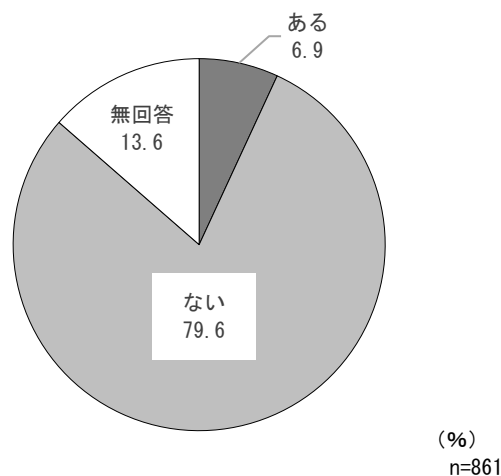
発達障害者における必要な支援について、「専門の相談・支援機関（発達障害支援センター等）の充実」が44.3%と最も高くなっています。ついで、「乳幼児から成人までの一貫した支援の援助する行政窓口」が42.2%、「専門の医療機関の充実」が39.5%となっています。



（６）高次脳機能障害の診断の有無

問 16 あなた（本人）は高次脳機能障害として医師から診断され、診断書に病名を記載されたことがありますか。（○は１つだけ）

高次脳機能障害の診断の有無について、「ない」が 79.6%、「ある」が 6.9%となっています。

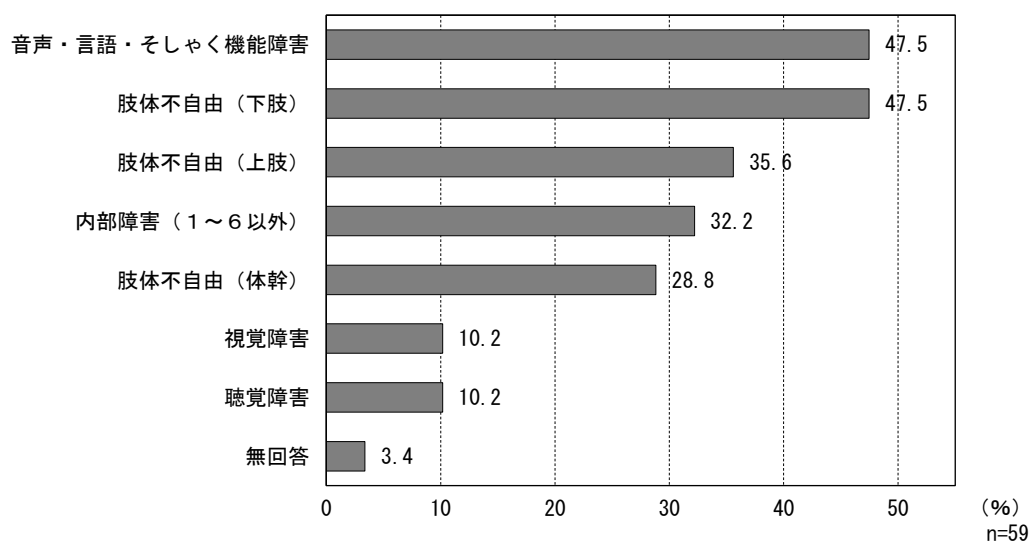


（７）高次脳機能障害者における関連障害

問 16 で「１. ある」を選択された方にお聞きます。

問 17 その関連障害をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

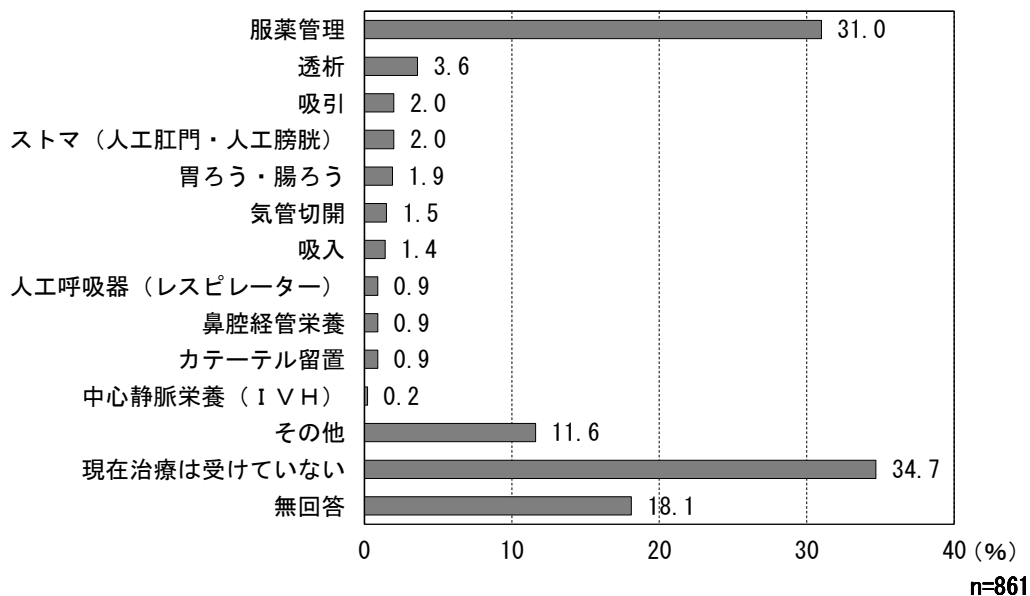
高次脳機能障害における関連障害について、「音声・言語・そしゃく機能障害」と「肢体不自由（下肢）」が共に 47.5%と最も高くなっています。ついで、「肢体不自由（上肢）」が 35.6%、「内部障害（１～６以外）」が 32.2%となっています。



(8) 現在受けている医療ケア

問 18 あなた（本人）が現在受けている医療ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

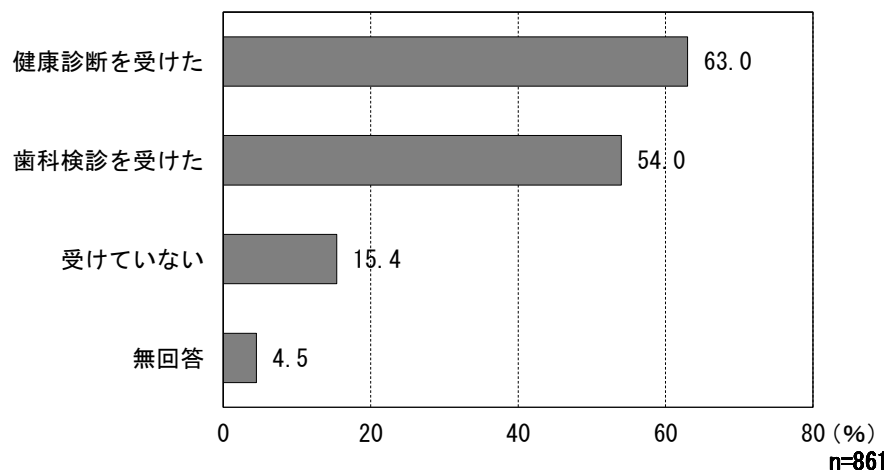
現在受けている医療ケアについて、「現在治療は受けていない」が 34.7%と最も高くなっています。ついで、「服薬管理」が 31.0%、「その他」が 11.6%となっています。



問 19 あなた（本人）は、過去 1 年間に健康診断や歯科検診を受けましたか。

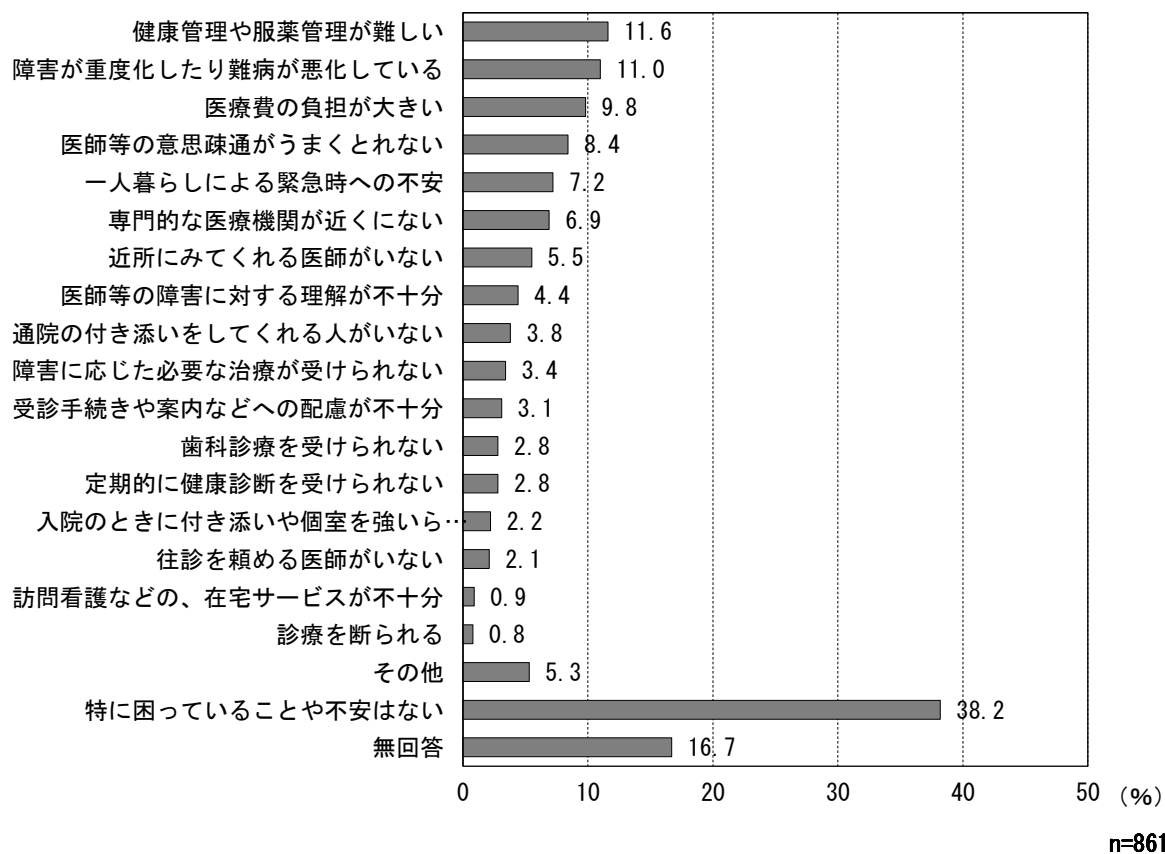
（あてはまるものすべてに○）

過去 1 年間の健康診断や歯科検診について、「健康診断を受けた」が 63.0%と最も高くなっています。ついで、「歯科検診を受けた」が 54.0%、「受けていない」が 15.4%となっています。



問 20 あなた（本人）は、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安・悩みを感じていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

自分の健康や医療での不安や悩みなどについて、「特に困っていることや不安はない」が 38.2%と最も高くなっています。ついで、「健康管理や服薬管理が難しい」が 11.6%、「障害が重度化したり難病が悪化している」が 11.0%となっています。

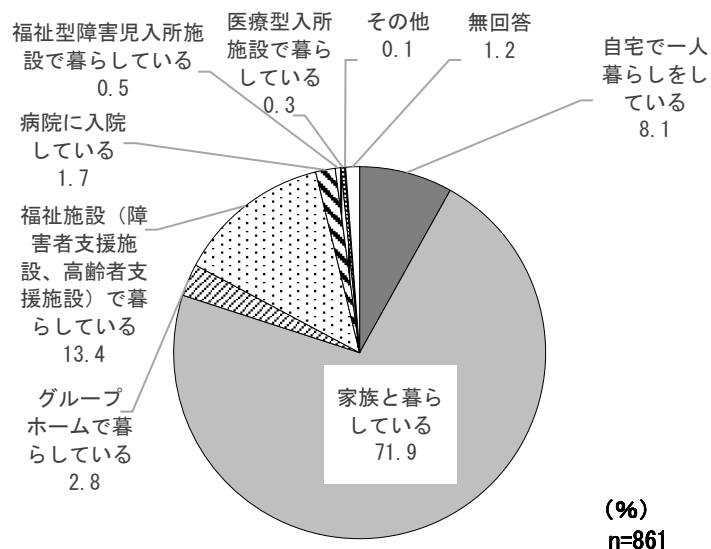


4 住まいや暮らしについて

(1) 現在の暮らし

問 21 あなた（本人）は現在どのように暮らしていますか。（○は1つだけ）

現在の暮らしについて、「家族と暮らしている」が71.9%と最も高くなっています。ついで、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が13.4%、「自宅で一人で暮らしている」が8.1%となっています。

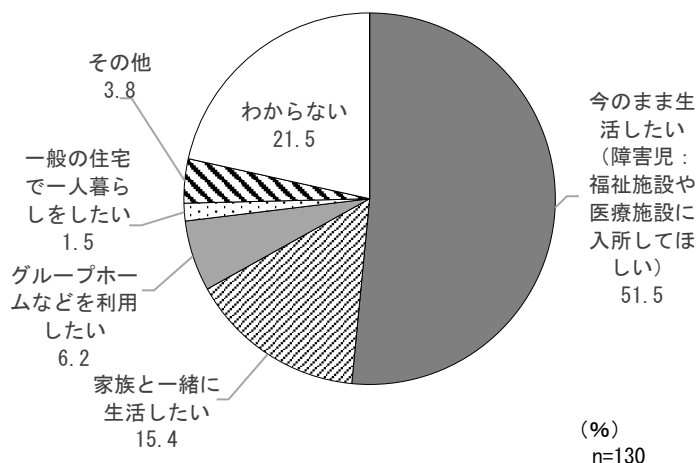


(2) 将来地域で生活したいか

問 21 で「4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」又は「5. 病院に入院している」を選択した場合にお答えください。

問 22 あなた（本人）は将来、地域で生活したいと思いますか。（○は1つだけ）

将来地域で生活したいかについて、「今のまま生活したい（障害児：福祉施設や医療施設に入所してほしい）」が51.5%と最も高くなっています。ついで、「わからない」が21.5%、「家族と一緒に生活したい」が15.4%となっています。



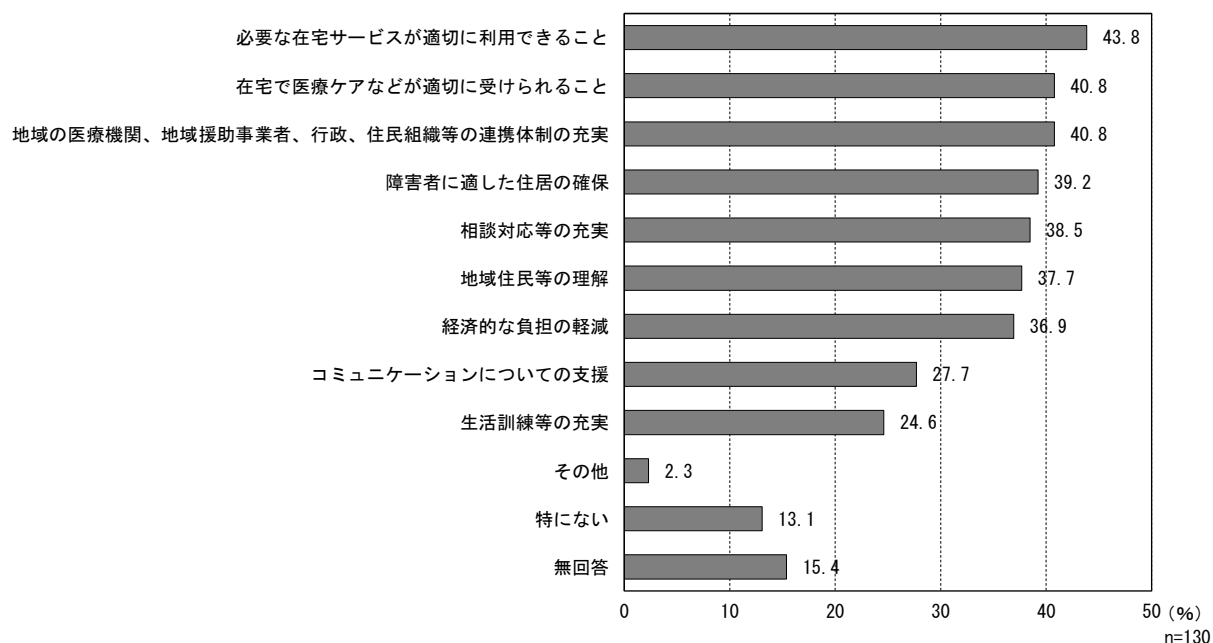
(3) 地域で生活するために必要な支援

問 21 で「4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」又は「5. 病院に入院している」を選択した場合にお答えください。

問 23 地域で生活するためには、どのような支援があればいいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

地域で生活するために必要な支援について、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が 43.8%と最も高くなっています。ついで、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」と「地域の医療機関、地域援助事業者、行政、住民組織等の連携体制の充実」が共に 40.8%、「障害者に適した住居の確保」が 39.2%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別でみると、70 歳以上で「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」と「必要な在宅サービスが適切に利用できること」の回答率が 60%以上となっています。

○障害種別でみると、「発達障害」と診断された人では「相談対応等の充実」と「地域の医療機関、地域援助事業者、行政、住民組織等の連携体制の充実」、「高次脳機能障害」と診断された人では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」「障害者に適した住居の確保」の回答率が 5 割以上と高くなっています。

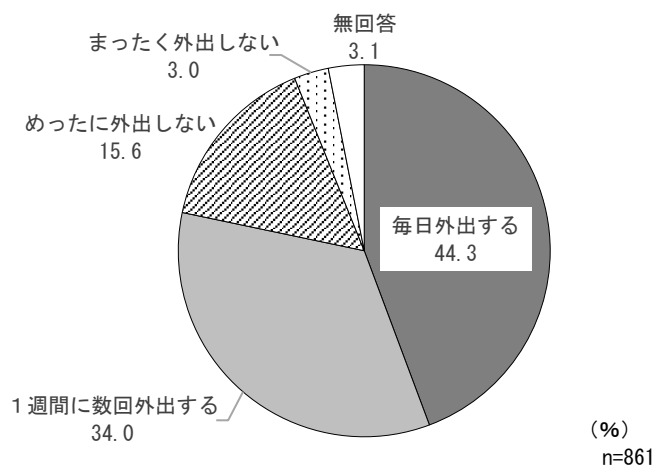
			サンプル数	在宅で医療ケアなどが適切に受けられること	必要な在宅サービスが適切に利用できること	障害者に適した住居の確保	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域の医療機関、地域援助事業者、行政、住民組織等の連携体制の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	特にない	無回答
全体			137	38.7	41.6	37.2	23.4	35.0	36.5	38.7	35.8	26.3	2.2	12.4	20.4
年齢別	18 歳未満		7	14.3	42.9	14.3	-	28.6	42.9	42.9	-	-	-	-	42.9
	18～29 歳		11	45.5	45.5	45.5	27.3	27.3	45.5	36.4	63.6	27.3	18.2	9.1	-
	30～39 歳		17	23.5	41.2	35.3	23.5	35.3	41.2	29.4	35.3	23.5	-	23.5	17.6
	40～49 歳		26	26.9	26.9	34.6	19.2	34.6	23.1	38.5	26.9	26.9	-	7.7	34.6
	50～59 歳		23	39.1	43.5	34.8	21.7	34.8	43.5	39.1	39.1	21.7	4.3	21.7	17.4
	60～69 歳		28	42.9	35.7	39.3	21.4	39.3	35.7	32.1	35.7	28.6	-	7.1	25.0
	70 歳以上		23	60.9	60.9	43.5	34.8	34.8	34.8	52.2	34.8	34.8	-	13.0	8.7
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	64	45.3	48.4	39.1	23.4	37.5	35.9	43.8	28.1	21.9	3.1	12.5	17.2
		療育手帳	87	39.1	42.5	36.8	23.0	28.7	40.2	40.2	40.2	26.4	1.1	10.3	21.8
		精神障害者保健福祉手帳	11	27.3	45.5	45.5	45.5	63.6	45.5	36.4	36.4	27.3	-	-	27.3
		持っていない	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	難病	受けている	5	60.0	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-
		受けていない	104	46.2	48.1	39.4	25.0	41.3	40.4	42.3	39.4	27.9	1.9	11.5	15.4
	発達障害	ある	22	31.8	40.9	40.9	36.4	31.8	54.5	50.0	45.5	45.5	-	13.6	18.2
		ない	98	41.8	43.9	37.8	22.4	35.7	33.7	36.7	36.7	22.4	3.1	10.2	19.4
	高次脳機能障害	ある	14	35.7	50.0	50.0	14.3	42.9	21.4	35.7	21.4	28.6	7.1	21.4	-
		ない	100	44.0	46.0	39.0	27.0	35.0	39.0	40.0	40.0	28.0	2.0	10.0	19.0

5 日中活動について

(1) 外出の頻度

問 24 あなた（本人）は、1 週間にどの程度外出しますか。（○は 1 つだけ）

外出の頻度について、「毎日外出する」が 44.3%と最も高くなっています。ついで、「1 週間に数回外出する」が 34.0%、「めったに外出しない」が 15.6%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「50～59 歳」を除いて、「毎日外出する」の回答率は年齢が高くなるにつれて、減少する傾向にあります。

○障害種別でみると、「めったに外出しない」は、「療育手帳」所持者（24.8%）、「まったく外出しない」は、「高次脳機能障害」と診断された人（13.6%）が高くなっています。

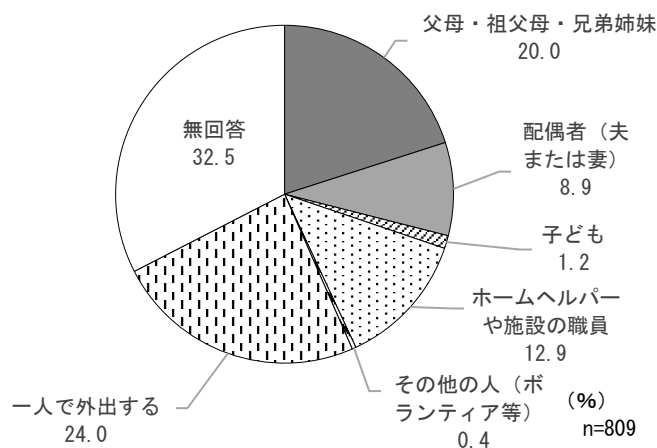
			サンプル数	毎日外出する	1 週間に数回外出する	めったに外出しない	まったく外出しない	無回答
全体			861	44.3	34.0	15.6	3.0	3.1
年齢別	18 歳未満		183	76.0	17.5	4.4	1.1	1.1
	18～29 歳		72	50.0	34.7	2.8	2.8	9.7
	30～39 歳		79	45.6	35.4	13.9	1.3	3.8
	40～49 歳		115	36.5	30.4	25.2	4.3	3.5
	50～59 歳		162	42.0	35.8	16.7	3.1	2.5
	60～69 歳		167	25.7	50.3	18.0	3.6	2.4
	70 歳以上		74	18.9	36.5	35.1	6.8	2.7
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	40.9	38.7	13.8	4.0	2.6
		療育手帳	246	43.5	26.8	24.8	1.2	3.7
		精神障害者保健福祉手帳	131	40.5	38.9	12.2	5.3	3.1
		持っていない	37	83.8	13.5	2.7	－	－
	難病	受けている	94	30.9	51.1	10.6	5.3	2.1
		受けていない	647	46.1	33.1	15.8	2.5	2.6
	発達障害	ある	185	65.4	21.6	9.2	0.5	3.2
		ない	590	39.5	37.3	17.3	3.9	2.0
	高次脳機能障害	ある	59	32.2	44.1	10.2	13.6	－
		ない	685	47.3	32.4	15.9	2.0	2.3

(2) 外出する際の主な同伴者

問 24 で、「4. まったく外出しない」以外を選択した場合にお答えください。

問 25 あなた（本人）が外出する際の主な同伴者は誰ですか。（○は1つだけ）

外出する際の主な同伴者について、「一人で外出する」が 24.0%と最も高くなっています。ついで、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 20.0%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 12.9%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「70 歳以上」を除いて、「父母・祖父母・兄弟姉妹」の回答率は、年齢が高くなるにつれて、減少する傾向にあります。

○障害種別にみると、「療育手帳」所持者と、「発達障害」と診断された人は、「父母・祖父母・兄弟姉妹」の回答率が、特に高くなっています。

		サンプル数	父母・祖父母・兄弟姉妹	配偶者（夫または妻）	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）	一人で外出する	無回答	
全体		809	20.0	8.9	1.2	12.9	0.4	24.0	34.0	
年齢別	18 歳未満	179	55.9	－	－	1.7	－	12.3	30.7	
	18～29 歳	64	35.9	－	－	14.1	1.6	21.9	29.7	
	30～39 歳	75	14.7	5.3	1.3	16.0	－	34.7	32.0	
	40～49 歳	106	12.3	7.5	－	19.8	0.9	26.4	34.0	
	50～59 歳	153	5.2	15.0	0.7	11.8	－	32.7	34.6	
	60～69 歳	157	1.9	16.6	2.5	11.5	0.6	26.8	41.4	
	70 歳以上	67	4.5	16.4	6.0	31.3	－	14.9	29.9	
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	466	11.4	14.4	1.7	10.7	0.4	27.0	35.2
		療育手帳	235	34.9	0.4	－	29.4	－	8.5	28.9
		精神障害者保健福祉手帳	120	23.3	5.0	1.7	3.3	－	31.7	38.3
		持っていない	37	54.1	－	－	－	－	16.2	67.6
	難病	受けている	87	19.5	16.1	－	4.6	1.1	31.0	20.7
		受けていない	614	19.1	8.8	1.6	13.5	0.2	24.1	34.2
	発達障害	ある	179	47.5	0.6	－	7.8	－	14.5	30.2
		ない	555	12.4	11.4	1.6	14.6	0.4	26.8	34.1
	高次脳機能障害	ある	51	19.6	21.6	2.0	13.7	－	21.6	25.5
		ない	656	20.7	7.6	1.2	12.3	0.3	25.0	33.4

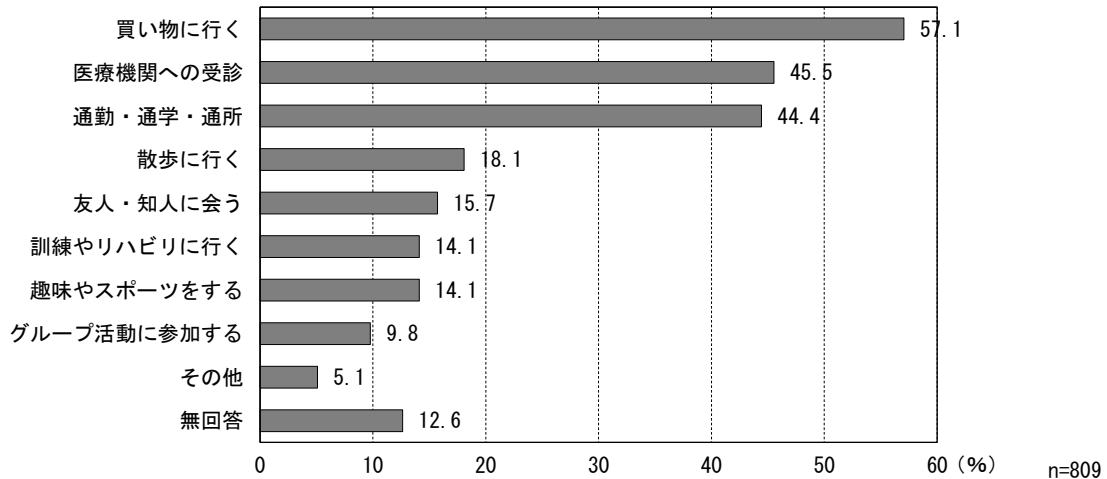
(3) 外出する目的

問 24 で、「4. まったく外出しない」以外を選択した場合にお答えください。

問 26 あなた（本人）は、どのような目的で外出することが多いですか。

（あてはまるものすべてに○）

外出する目的について、「買い物に行く」が 57.1%と最も高くなっています。ついで、「医療機関への受診」が 45.5%、「通勤・通学・通所」が 44.4%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「18～29 歳」は「通勤・通学・通所」で他の年齢層よりも高くなっています。

○障害種別にみると、「通勤・通学・通所」の回答率は、「発達障害」と診断された人（70.4%）の回答率が高くなっています。また、「医療機関への受診」の回答率は、「難病」と認定を受けた人（64.4%）が高くなっています。

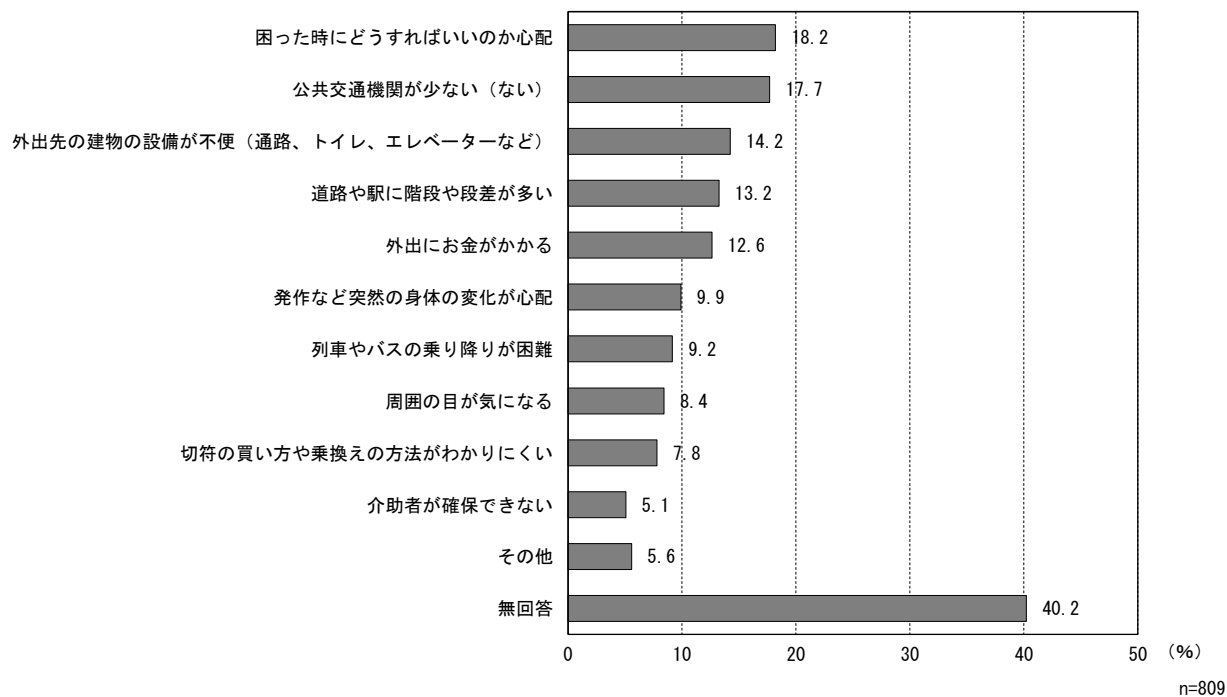
			サンプル数	通勤・通学・通所	訓練・リハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答	
全体			809	44.4	14.1	45.5	57.0	15.7	14.1	9.8	18.0	5.1	14.2	
年齢別			18 歳未満	179	83.2	22.3	29.6	49.7	17.9	15.6	8.4	19.6	3.9	12.3
			18～29 歳	64	67.2	12.5	35.9	42.2	25.0	23.4	14.1	18.8	3.1	10.9
			30～39 歳	75	49.3	10.7	52.0	72.0	18.7	13.3	8.0	22.7	9.3	9.3
			40～49 歳	106	42.5	12.3	51.9	59.4	11.3	15.1	9.4	17.0	5.7	10.4
			50～59 歳	153	29.4	9.2	46.4	54.9	13.1	8.5	6.5	10.5	3.9	17.6
			60～69 歳	157	20.4	10.8	55.4	65.6	16.6	15.3	10.2	21.7	3.2	19.7
			70 歳以上	67	6.0	19.4	58.2	53.7	9.0	9.0	17.9	16.4	10.4	13.4
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	466	37.3	16.5	48.7	55.6	17.2	13.9	7.1	15.0	4.3	15.2	
		療育手帳	235	51.5	11.5	43.8	61.3	7.7	11.9	18.7	26.0	6.4	11.5	
		精神障害者保健福祉手帳	120	44.2	15.0	45.8	57.5	19.2	15.8	5.0	16.7	5.8	15.0	
		持っていない	37	83.8	18.9	27.0	37.8	16.2	13.5	2.7	18.9	5.4	10.8	
	難病	受けている	87	39.1	16.1	64.4	62.1	23.0	14.9	3.4	19.5	4.6	12.6	
		受けていない	614	45.3	14.8	44.5	56.7	15.8	13.2	10.3	17.1	5.4	14.0	
	発達障害	ある	179	70.4	16.2	34.6	52.0	16.8	16.8	11.2	22.3	4.5	10.6	
		ない	555	38.9	13.5	50.1	59.6	15.9	14.1	9.0	16.4	5.6	13.9	
	高次脳機能障害	ある	51	29.4	37.3	49.0	45.1	7.8	3.9	3.9	17.6	7.8	11.8	
		ない	656	47.6	13.3	45.0	57.9	17.1	14.9	9.9	17.4	5.3	13.4	

(4) 外出する時に困ること

問 24 で、「4. まったく外出しない」以外を選択した場合にお答えください。

問 27 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべて○)

外出する時に困る事について、「困った時にどうすればいいのか心配」が 18.2%と最も高くなっています。ついで、「公共交通機関が少ない(ない)」が 17.7%、「外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)」が 14.2%となっています。



【属性別特徴】

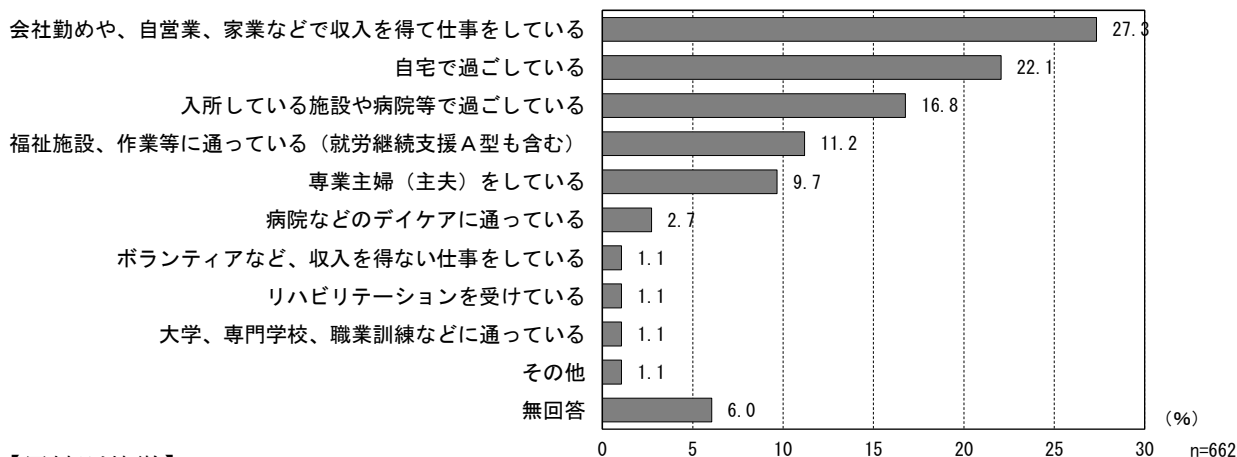
- 障害種別にみると、「身体障害者手帳」所持者は、「道路や駅に階段や段差が多い」（18.0%）、の回答率が高くなっています。
- 「療育手帳」所持者は、「困った時にどうすればいいのか心配」（30.6%）、「公共交通機関が少ない（ない）」（20.4%）の回答率が高くなっています。
- 「精神障害者保健福祉手帳」所持者は、「困った時にどうすればいいのか心配」（25.8%）、「外出にお金がかかる」（24.2%）、の回答率が高くなっています。

			サンプル数	公共交通機関が少ない（ない）	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答
全体			809	17.7	9.1	13.2	7.8	14.2	5.1	12.6	8.4	9.9	18.2	5.6	41.3
年齢別		18 歳未満	179	19.0	8.4	8.9	13.4	12.3	4.5	8.4	10.6	5.0	29.1	8.4	37.4
		18～29 歳	64	29.7	15.6	9.4	18.8	12.5	15.6	9.4	14.1	6.3	31.3	1.6	40.6
		30～39 歳	75	16.0	6.7	16.0	8.0	17.3	2.7	20.0	10.7	14.7	24.0	8.0	32.0
		40～49 歳	106	20.8	8.5	12.3	6.6	16.0	6.6	11.3	8.5	19.8	13.2	7.5	35.8
		50～59 歳	153	13.7	8.5	15.7	2.0	14.4	3.9	17.0	6.5	5.9	11.8	3.9	43.1
		60～69 歳	157	14.0	6.4	14.6	3.8	10.8	1.9	10.8	3.8	13.4	10.2	3.8	52.9
		70 歳以上	67	19.4	17.9	19.4	7.5	23.9	7.5	16.4	9.0	7.5	10.4	4.5	37.3
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	466	17.8	10.5	18.0	2.4	18.5	2.8	11.2	6.2	11.6	9.2	5.4	42.9
		療育手帳	235	20.4	10.6	11.5	17.0	18.7	10.6	11.9	10.6	10.2	30.6	4.7	36.2
		精神障害者保健福祉手帳	120	16.7	3.3	2.5	7.5	4.2	2.5	24.2	11.7	10.8	25.8	6.7	35.8
		持っていない	37	10.8	5.4	5.4	5.4	2.7	5.4	10.8	21.6	5.4	27.0	5.4	48.6
	難病	受けている	87	21.8	12.6	23.0	3.4	16.1	4.6	18.4	12.6	16.1	12.6	6.9	33.3
		受けていない	614	17.4	9.3	12.9	7.8	15.0	4.4	12.9	7.7	10.1	18.4	5.4	40.7
	発達障害	ある	179	14.5	6.1	5.0	14.5	8.9	7.8	11.2	12.8	7.3	37.4	5.6	36.3
		ない	555	18.9	9.9	16.0	5.8	16.0	4.5	13.2	7.6	11.4	13.5	5.8	40.7
	高次脳機能障害	ある	51	19.6	15.7	19.6	3.9	29.4	2.0	11.8	5.9	17.6	15.7	5.9	33.3
		ない	656	18.6	9.0	13.4	8.2	13.4	5.2	12.8	9.3	9.8	19.4	5.3	39.2

(5) 平日の日中の過ごし方

問 28 あなた（本人）は、平日の日中に主にどのように過ごしていますか。（○は1つだけ）

平日の日中の過ごし方について、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が27.3%と最も高くなっています。ついで、「自宅で過ごしている」が22.1%、「入所している施設や病院で過ごしている」が16.8%となっています。



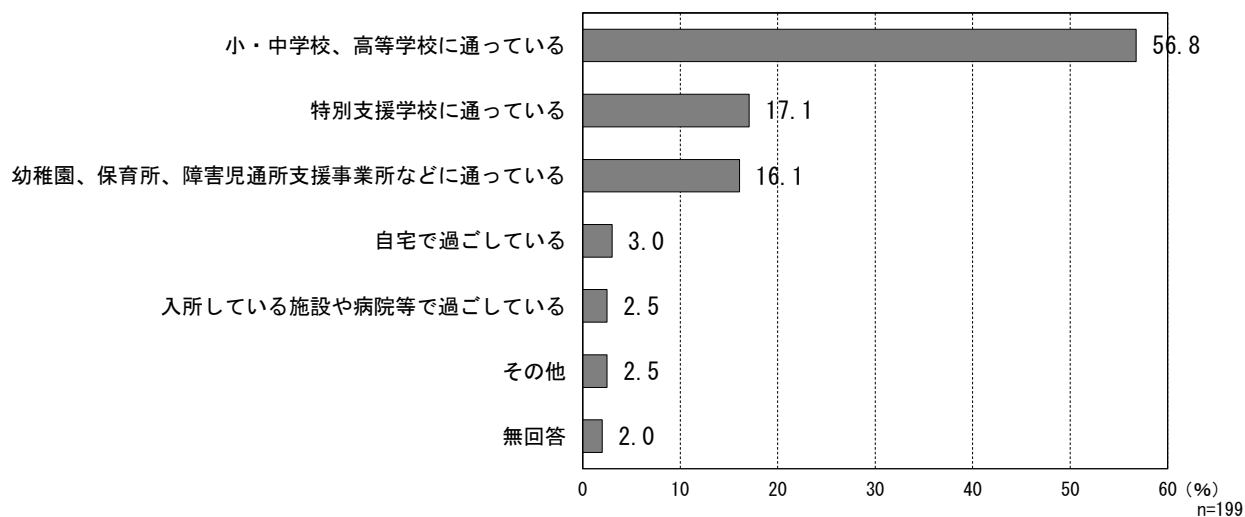
【属性別特徴】

○障害種別にみると、「自宅で過ごしている」の回答率は、「精神障害者保健福祉手帳」所持者（34.4%）、「身体障害者手帳」所持者（24.7%）、「高次脳機能障害」と診断された人（30.9%）、「難病」の認定を受けている人（30.4%）が高くなっています。

		サンプル数	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	仕事をしないボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業等に通っている（就労継続支援A型も含む）	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練などに通っている	その他	無回答
全体		662	27.3	0.9	9.7	11.2	2.7	1.1	22.1	16.8	1.1	1.1	6.2
年齢別	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	58	29.3	-	1.7	34.5	-	-	5.2	15.5	8.6	-	5.2
	30～39歳	79	35.4	1.3	5.1	16.5	-	-	17.7	17.7	1.3	1.3	3.8
	40～49歳	115	32.2	0.9	5.2	13.0	0.9	1.7	20.9	18.3	0.9	1.7	4.3
	50～59歳	162	36.4	-	13.0	7.4	3.7	-	20.4	12.3	-	-	6.8
	60～69歳	167	22.2	1.2	17.4	5.4	4.2	2.4	24.0	13.8	-	1.8	7.8
	70歳以上	74	2.7	2.7	4.1	5.4	4.1	1.4	41.9	29.7	-	1.4	6.8
障害種別	所持手帳												
	身体障害者手帳	454	32.8	1.1	11.2	6.4	2.4	1.5	24.7	11.9	1.1	1.1	5.7
	療育手帳	151	11.3	0.7	-	31.8	0.7	-	4.0	47.0	-	0.7	4.0
	精神障害者保健福祉手帳	93	17.2	1.1	12.9	11.8	4.3	1.1	34.4	10.8	1.1	1.1	4.3
	持っていない	2	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	難病												
	受けている	79	27.8	1.3	15.2	3.8	3.8	-	30.4	7.6	3.8	-	6.3
	受けていない	506	29.1	0.8	10.1	11.5	2.8	1.4	21.1	17.0	0.8	1.2	4.3
	発達障害												
	ある	52	9.6	-	1.9	30.8	3.8	-	11.5	32.7	1.9	-	7.7
	ない	529	30.1	0.9	11.2	9.3	2.6	1.3	22.9	15.5	0.9	1.3	4.0
	高次脳機能障害												
	ある	55	18.2	1.8	1.8	7.3	9.1	1.8	30.9	23.6	-	1.8	3.6
	ない	509	29.9	0.8	11.4	11.4	2.2	1.2	20.4	16.1	1.4	1.2	4.1

問 28（障害児） 本人は、平日の日中に主にどのように過ごしていますか。（○は1つだけ）

平日の日中の過ごし方について、「小・中学校、高等学校に通っている」が 56.8%と最も高くなっています。ついで、「特別支援学校に通っている」が 17.1%、「幼稚園、保育所、障害児通所支援事業所などに通っている」が 16.1%となっています。



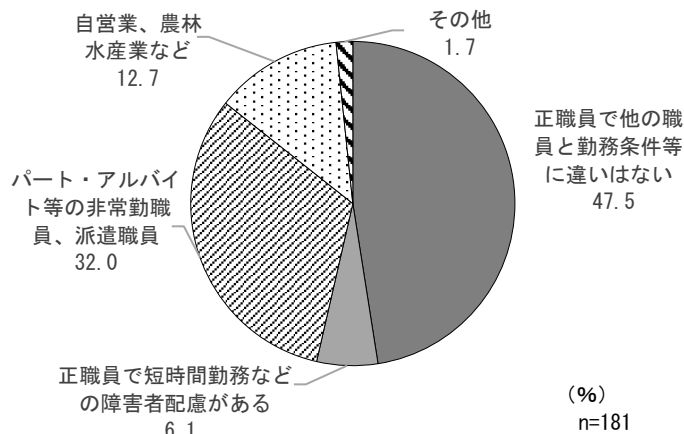
6 就労について

(1) 勤務形態

問 28 で、「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」と回答された方にお聞きます。】

問 29 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

勤務形態について、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が 47.5%と最も高くなっています。ついで、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が 32.0%、「自営業、農林水産業など」が 12.7%となっています。



【属性別特徴】

○障害種別でみると、「正社員で他の職員と勤務条件等に違いはない」の回答率は、「身体障害者手帳」所持者 (52.3%) と、「高次脳機能障害」と診断された人 (70.0%) が高くなっています。また、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の回答率は、「発達障害」と診断された人 (80.0%) が高くなっています。

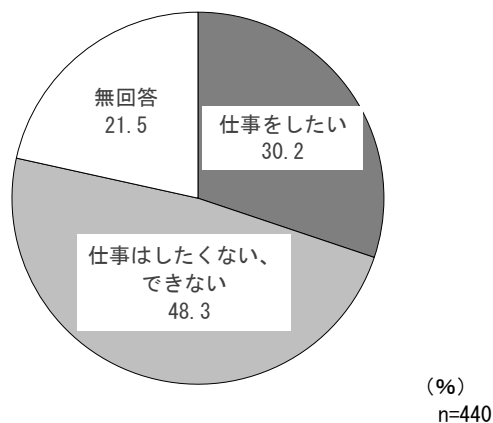
		サンプル数	正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	正職員で短時間勤務などの障害者配慮がある	パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	自営業、農林水産業など	その他	無回答
全体		181	47.5	6.6	32.0	13.3	1.7	1.1
年齢別	18歳未満	0	-	-	-	-	-	-
	18～29歳	17	23.5	11.8	64.7	-	5.9	-
	30～39歳	28	50.0	3.6	32.1	7.1	3.6	3.6
	40～49歳	37	54.1	8.1	21.6	13.5	-	2.7
	50～59歳	59	59.3	5.1	20.3	13.6	1.7	-
	60～69歳	37	35.1	8.1	45.9	13.5	-	-
	70歳以上	2	-	-	-	100.0	-	-
障害種別	所持手帳							
	身体障害者手帳	149	52.3	4.7	28.2	14.8	0.7	1.3
	療育手帳	17	11.8	23.5	52.9	5.9	5.9	-
	精神障害者保健福祉手帳	16	31.3	-	50.0	12.5	6.3	-
	持っていない	0	-	-	-	-	-	-
	難病							
	受けている	22	27.3	4.5	40.9	22.7	-	4.5
	受けていない	147	51.0	6.8	31.3	11.6	1.4	0.7
	発達障害							
	ある	5	20.0	-	80.0	-	-	0.0
	ない	159	49.1	6.3	30.8	12.6	1.9	1.3
高次脳機能障害	ある	10	70.0	-	30.0	-	-	-
	ない	152	48.7	6.6	30.9	13.2	2.0	1.3

(2) 今後収入を得る仕事の希望

問 28 で、「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した方にお聞きます。

問 30 あなた（本人）は今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つだけ）

今後収入を得る仕事の有無について、「仕事はしたくない、できない」が 48.3%、「仕事をしたい」が 30.2%となっています。



【属性別特徴】

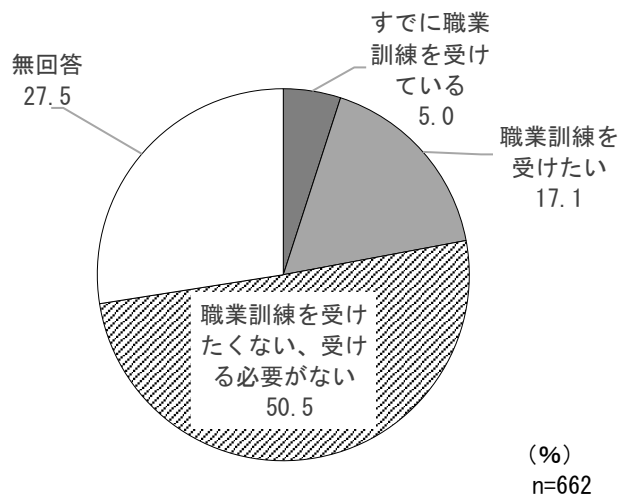
○障害種別にみると、「難病」と診断された人は「仕事はしたくない、できない」(51.9%)の回答率が高くなっていますが、「仕事をしたい」(40.4%)も他の障害と比較しても高くなっています。また、「高次脳機能障害」と診断された人は「仕事はしたくない、できない」(48.8%)の回答率が高くなっています。

		サンプル数	仕事をしたい	仕事はしたくない、 できない	無回答	
全体		440	30.2	48.4	27.0	
年齢別	18 歳未満	0	-	-	-	
	18～29 歳	38	47.4	34.2	23.7	
	30～39 歳	48	58.3	22.9	27.1	
	40～49 歳	73	34.2	47.9	19.2	
	50～59 歳	92	27.2	54.3	29.3	
	60～69 歳	117	23.9	56.4	25.6	
	70 歳以上	67	11.9	52.2	37.3	
障害 種別	所持 手帳	身体障害者手帳	279	30.1	47.0	5.4
		療育手帳	128	26.6	50.0	24.2
		精神障害者保健福祉手帳	73	31.5	45.2	28.8
		持っていない	2	-	100.0	-
	難病	受けている	52	40.4	51.9	17.3
		受けていない	337	28.2	47.8	28.5
	発達 障害	ある	43	37.2	37.2	25.6
		ない	349	29.5	50.7	25.5
	高次脳 機能障害	ある	43	14.0	48.8	39.5
		ない	336	32.7	48.2	24.4

(3) 職業訓練の希望

問31 収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

職業訓練の有無について、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が50.5%と最も高くなっています。ついで、「職業訓練を受けたい」が17.1%、「すでに職業訓練を受けている」が5.0%となっています。



【属性別特徴】

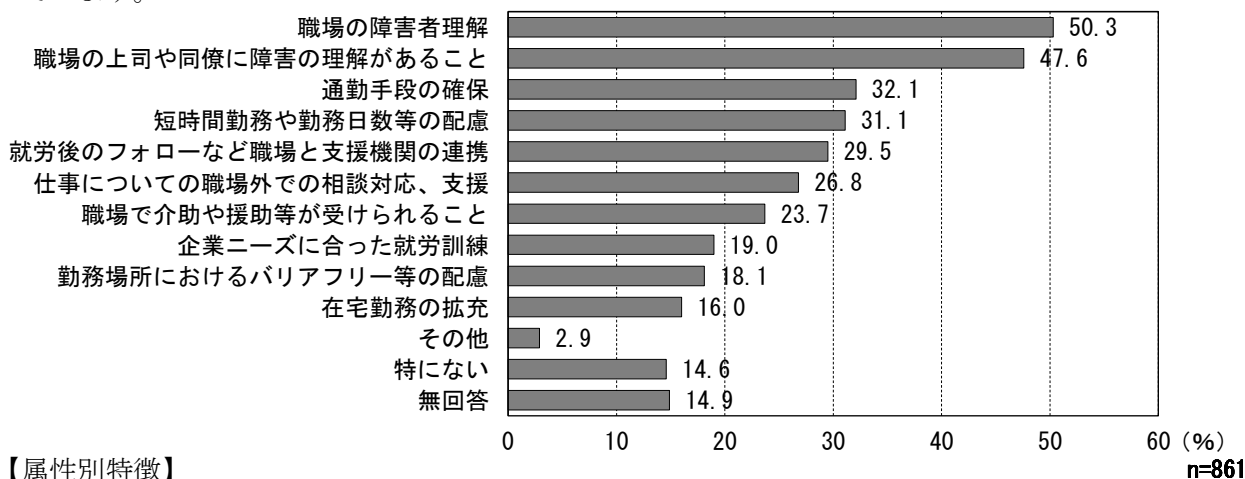
○障害種別にみると、「職業訓練を受けたい」の回答率は、「精神障害者保健福祉手帳」所持者(31.2%)、「難病」と診断された人(22.8%)が高くなっています。

			サンプル数	すでに職業訓練を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、受ける必要がない	無回答
全体			662	5.0	17.1	50.5	27.5
年齢別		18 歳未満	－	－	－	－	－
		18～29 歳	58	5.2	20.7	46.6	27.6
		30～39 歳	79	13.9	31.6	32.9	21.5
		40～49 歳	115	7.0	17.4	45.2	30.4
		50～59 歳	162	4.3	20.4	50.0	25.3
		60～69 歳	167	2.4	12.6	58.7	26.3
		70 歳以上	74	－	2.7	60.8	36.5
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	454	4.8	16.1	51.1	28.0
		療育手帳	151	2.6	15.2	48.3	33.8
		精神障害者保健福祉手帳	93	8.6	31.2	46.2	14.0
		持っていない	2	－	－	100.0	－
	難病	受けている	79	5.1	22.8	48.1	24.1
		受けていない	506	5.1	16.2	53.4	25.3
	発達障害	ある	52	7.7	15.4	36.5	40.4
		ない	529	4.3	17.8	54.3	23.6
	高次脳機能障害	ある	55	5.5	18.2	52.7	23.6
		ない	509	4.7	17.5	54.2	23.6

(4) 障害者の就労支援として必要なこと

問 32 あなた（本人）は、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

障害者の就労支援として必要なことについて、「職場の障害者理解」が 50.3%と最も高くなっています。ついで、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が 47.6%、「通勤手段の確保」が 32.1%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」、「仕事についての職場外での相談対応、支援」の回答率は年齢が上がるにつれて、減少する傾向にあります。

○障害種別にみると、「職場で介助や援助等が受けられること」と「職場の障害者理解」は、「発達障害」と診断された人で回答率が最も高くなっています。

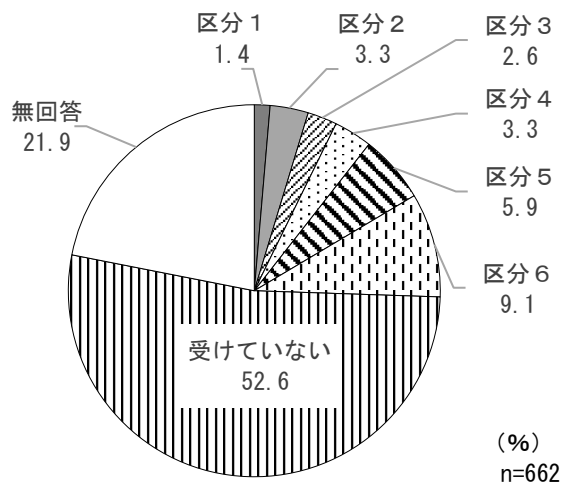
		サンプル数	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の障害者理解	職場の上司や同僚に障害の理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	職場と支援機関の連携	就労後のフォローなど	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	特にない	無回答
全体			861	32.1	18.1	31.1	16.0	50.3	47.6	47.6	29.5	19.0	26.8	2.9	14.6	14.9
年齢別		18歳未満	183	41.0	8.7	33.3	9.8	73.8	75.4	75.4	55.2	36.1	45.4	5.5	3.8	3.3
		18～29歳	72	43.1	16.7	30.6	12.5	55.6	55.6	55.6	37.5	22.2	26.4	2.8	6.9	11.1
		30～39歳	79	39.2	24.1	36.7	21.5	59.5	48.1	48.1	43.0	20.3	29.1	1.3	12.7	10.1
		40～49歳	115	33.0	22.6	33.9	17.4	50.4	45.2	45.2	27.0	17.4	30.4	4.3	10.4	16.5
		50～59歳	162	29.0	25.3	32.1	19.8	44.4	43.2	43.2	17.3	11.7	20.4	1.2	17.3	16.0
		60～69歳	167	23.4	17.4	29.9	19.2	34.1	31.1	31.1	11.4	9.6	16.2	2.4	22.2	20.4
		70歳以上	74	18.9	16.2	18.9	12.2	25.7	20.3	20.3	14.9	10.8	12.2	1.4	33.8	33.8
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	28.3	24.6	28.1	17.0	43.1	38.9	38.9	18.6	13.4	19.8	2.0	18.0	18.2
		療育手帳	246	39.4	17.5	34.1	10.6	55.3	53.7	53.7	43.5	25.6	35.4	5.7	11.0	13.8
		精神障害者保健福祉手帳	131	35.1	3.8	40.5	22.1	63.4	60.3	60.3	42.7	23.7	34.4	3.1	6.9	8.4
		持っていない	37	35.1	2.7	32.4	8.1	62.2	78.4	78.4	51.4	43.2	40.5	-	10.8	-
	難病	受けている	94	36.2	30.9	42.6	27.7	56.4	48.9	48.9	26.6	16.0	27.7	2.1	10.6	12.8
		受けていない	647	32.9	18.2	30.3	15.8	49.8	46.8	46.8	29.4	19.5	27.5	2.9	15.8	13.4
	発達障害	ある	185	37.3	4.9	37.3	9.2	65.4	67.0	67.0	50.8	31.4	44.3	4.9	6.5	5.4
		ない	590	32.2	23.4	30.3	19.0	48.3	43.9	43.9	24.2	16.4	23.6	2.5	17.5	14.1
	高次脳機能障害	ある	59	18.6	13.6	15.3	6.8	35.6	27.1	27.1	16.9	6.8	13.6	3.4	27.1	20.3
		ない	685	36.2	19.9	34.0	17.7	54.2	51.5	51.5	32.1	21.3	30.1	3.2	13.9	10.8

7 障害福祉サービス等の利用について

(1) 障害支援区分の認定

問 33 あなた（本人）は障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

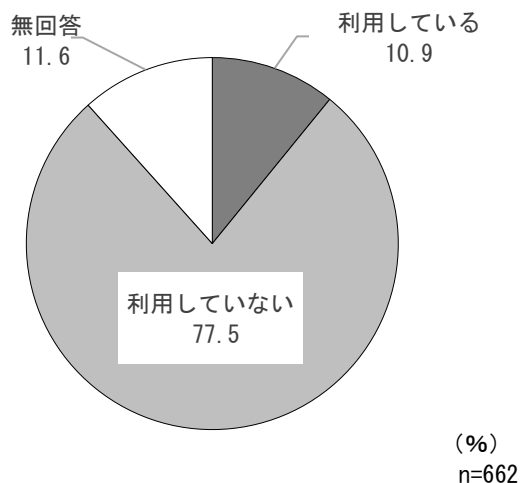
障害支援区分の認定について、「受けていない」が 52.6%と最も高くなっています。ついで、「区分 6」が 9.1%、「区分 5」が 5.9%となっています。



(2) 介護保険によるサービスの利用の有無

問 34 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。（○は1つだけ）

介護保険によるサービスの利用の有無について、「利用していない」が 77.5%、「利用している」が 10.9%となっています。

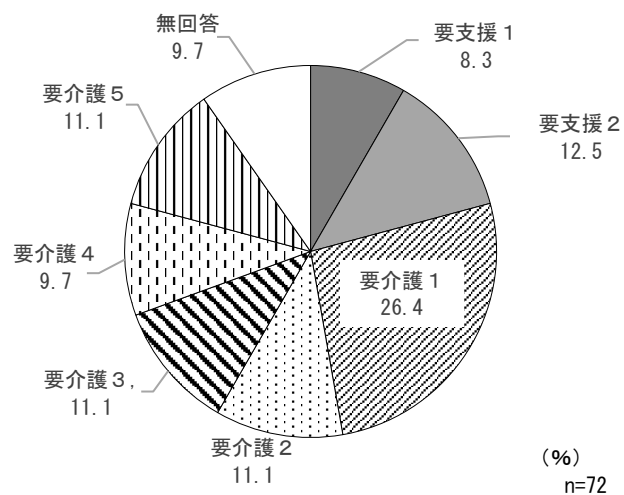


(3) 該当する要介護度

問 34 で、「1. 利用している」を選択している方にお聞きます。

問 35 該当する要介護度はどれですか。(○は1つだけ)

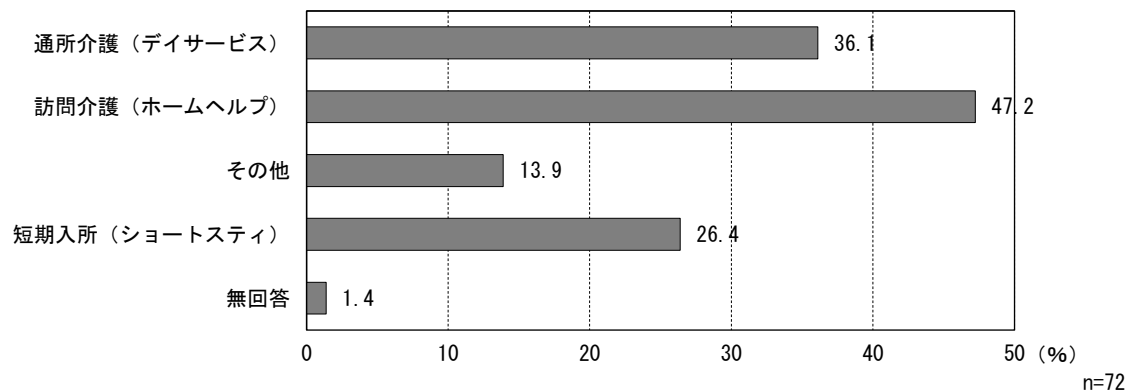
該当する要介護度について、「要介護 1」が 26.4%と最も高くなっています。ついで、「要支援 2」が 12.5%、「要介護 2」と「要介護 3」と「要介護 5」が共に 11.1%となっています。



(4) 介護保険サービスの利用状況

問 36 あなた（本人）は、どの介護保険サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスについて、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 47.2%と最も高くなっています。ついで、「通所介護（デイサービス）」が 36.1%、「その他」が 13.9%となっています。

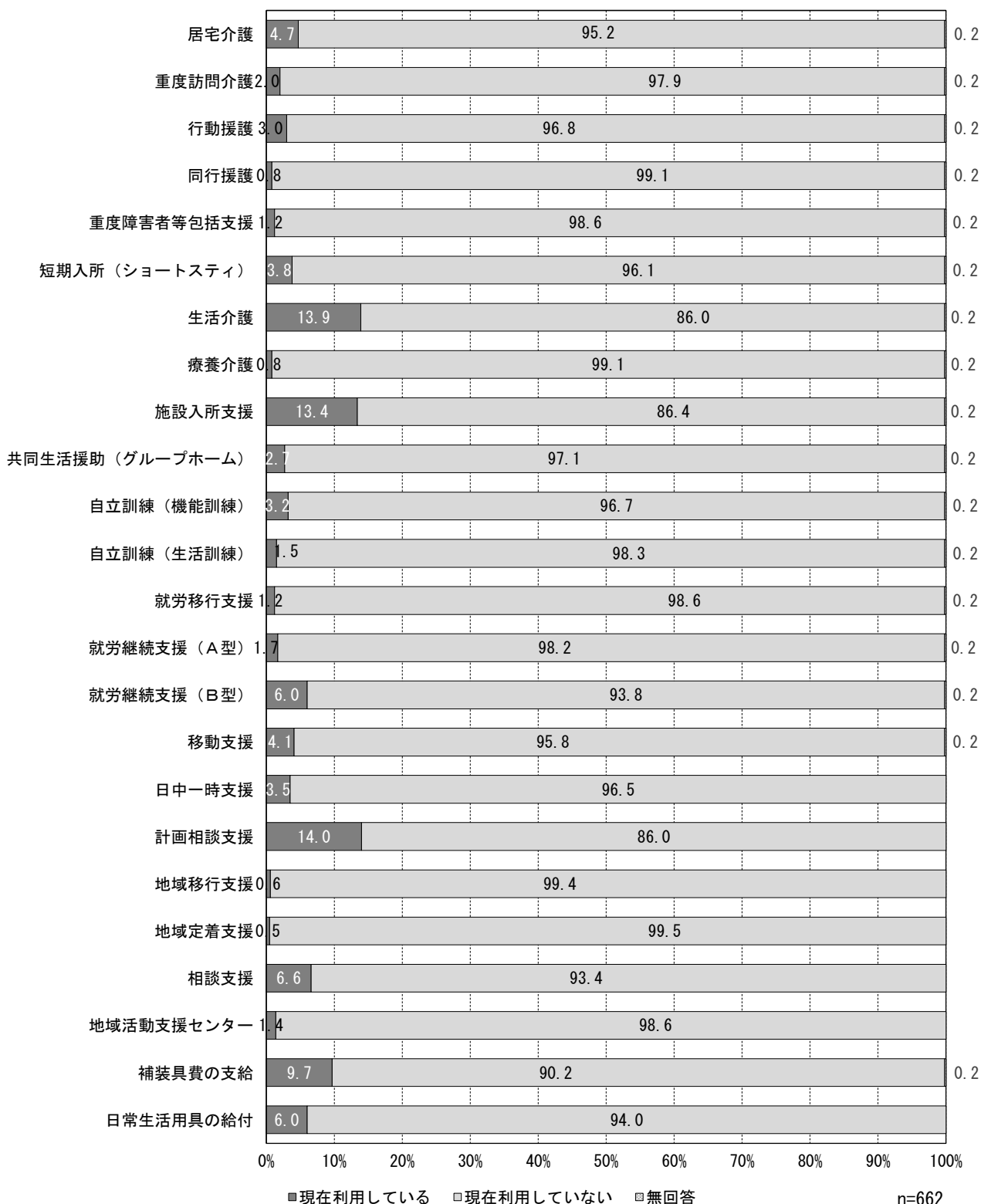


（５）障害福祉サービスの利用状況と利用希望

問 37 あなた（本人）のサービス等の利用状況と満足度等はいかがですか。

① 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況について、「現在利用している」の回答率は、「計画相談支援」が 14.0%と最も高くなっています。ついで「生活介護」が 13.9%、「施設入所支援」が 13.4%、「補装具費の支給」が 9.7%となっています。



【属性別特徴（現在利用している障害福祉サービス）】

○障害種別に現在利用している障害福祉サービスをみると、全体で最も回答率が高い「計画相談支援」は、「療育手帳」所持者（36.4%）、「発達障害」と診断された人（26.9%）の回答率が高くなっています。

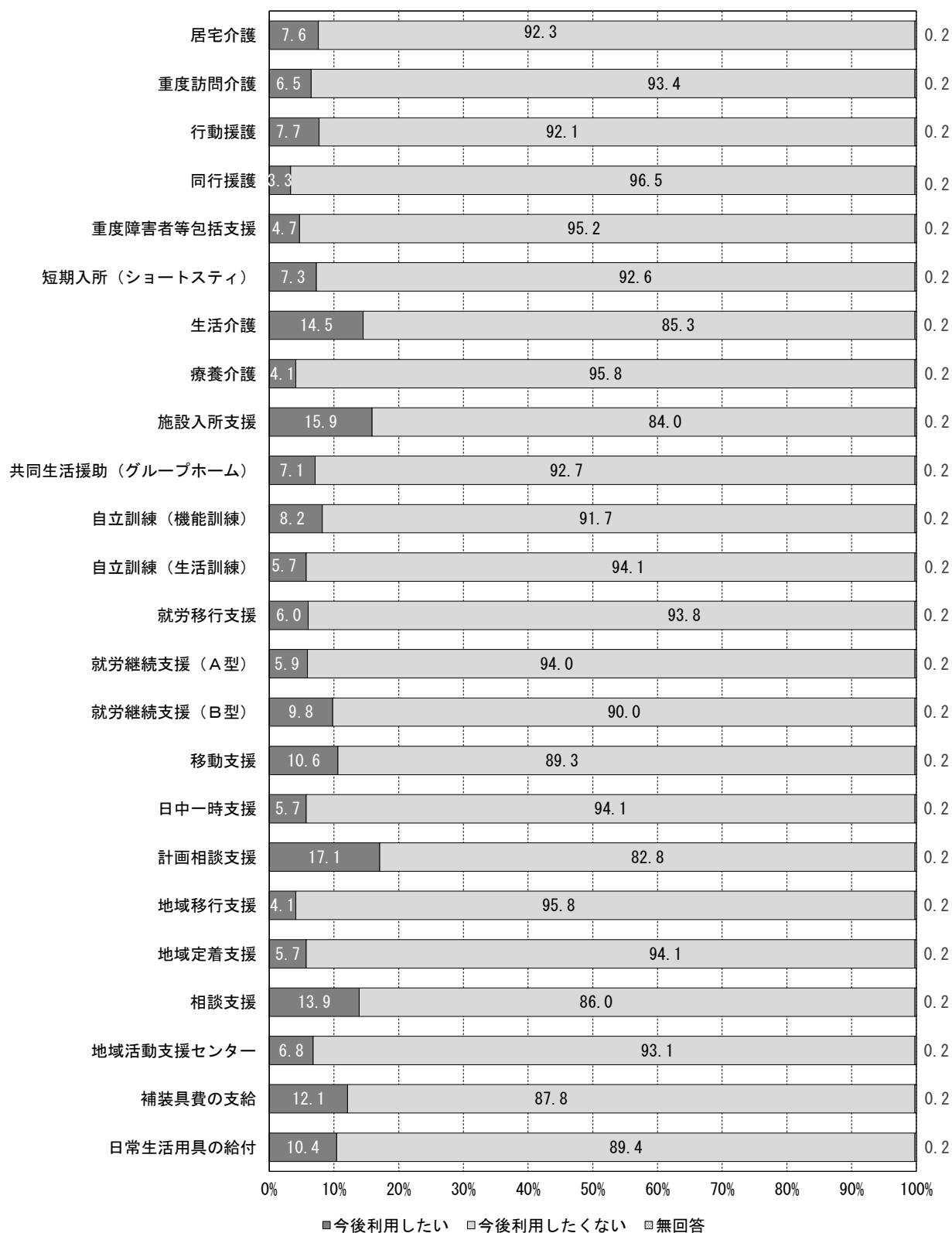
			サンプル数	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	短期入所 （ショートステイ）	生活介護	療養介護	施設入所支援	共同生活援助 （グループホーム）	自立訓練 （機能訓練）	自立訓練 （生活訓練）
全体			662	4.7	2.0	3.0	0.8	1.2	3.8	13.9	0.8	13.4	2.7	3.2	1.5
年齢別	18 歳未満		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	18～29 歳		58	1.7	－	6.9	－	1.7	12.1	20.7	3.4	13.8	8.6	1.7	1.7
	30～39 歳		79	5.1	5.1	5.1	1.3	2.5	2.5	15.2	－	16.5	2.5	6.3	3.8
	40～49 歳		115	5.2	3.5	5.2	0.9	－	3.5	18.3	0.9	14.8	5.2	0.9	－
	50～59 歳		162	6.8	1.9	－	1.2	1.2	3.1	8.6	－	9.9	1.2	1.9	－
	60～69 歳		167	2.4	－	1.8	0.6	0.6	1.8	10.2	0.6	9.6	1.2	3.0	－
	70 歳以上		74	5.4	2.7	2.7	－	1.4	1.4	18.9	1.4	23.0	1.4	8.1	6.8
障害 種別	所持 手帳	身体障害者手帳	454	5.3	2.9	1.3	0.9	1.1	4.0	9.7	0.9	8.6	1.8	4.6	0.9
		療育手帳	151	2.0	－	9.9	1.3	1.3	6.6	41.1	1.3	44.4	8.6	－	3.3
		精神障害者保健福祉手帳	93	5.4	2.2	3.2	－	2.2	4.3	6.5	－	2.2	－	2.2	2.2
		持っていない	2	－	－	－	－	－	－	50.0	－	－	－	－	－
	難病	受けている	79	8.9	3.8	2.5	1.3	3.8	2.5	5.1	1.3	3.8	1.3	3.8	－
		受けていない	506	4.5	2.0	3.0	0.8	0.8	4.5	14.4	0.6	14.2	3.0	3.4	1.6
	発達 障害	ある	52	1.9	－	11.5	1.9	－	3.8	28.8	－	26.9	5.8	1.9	5.8
		ない	529	5.3	2.1	2.6	0.8	1.3	4.0	12.7	0.9	12.7	2.6	2.8	1.1
	高次脳 機能障害	ある	55	10.9	7.3	1.8	－	5.5	7.3	10.9	1.8	12.7	1.8	12.7	1.8
		ない	509	4.1	1.4	3.3	1.0	1.0	3.7	14.3	0.8	13.9	2.8	2.2	1.4

【属性別特徴（現在利用している障害福祉サービス）】

			サンプル数	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	相談支援	地域活動支援センター	補装具費の支給	日常生活用具の給付
全体			662	1.2	1.7	6.0	4.1	3.5	14.0	0.6	0.5	6.6	1.4	9.7	6.0
年齢別	18歳未満		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18～29歳		58	5.2	10.3	8.6	13.8	12.1	27.6	—	—	6.9	1.7	10.3	6.9
	30～39歳		79	2.5	1.3	12.7	5.1	2.5	17.7	1.3	—	11.4	2.5	11.4	11.4
	40～49歳		115	2.6	1.7	8.7	3.5	4.3	14.8	—	—	7.0	2.6	12.2	8.7
	50～59歳		162	—	1.2	3.7	2.5	1.9	12.3	1.2	0.6	4.3	0.6	12.3	4.3
	60～69歳		167	—	—	4.2	1.8	2.4	9.0	0.6	1.2	4.8	1.2	6.0	3.6
	70歳以上		74	—	—	1.4	4.1	1.4	13.5	—	—	9.5	—	6.8	4.1
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	454	0.4	0.2	4.6	2.9	3.3	9.0	0.4	0.2	5.3	0.7	13.9	8.4
		療育手帳	151	1.3	5.3	12.6	11.3	7.9	36.4	1.3	—	15.9	3.3	7.3	4.0
		精神障害者保健福祉手帳	93	5.4	2.2	6.5	3.2	1.1	14.0	—	1.1	5.4	2.2	1.1	2.2
		持っていない	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	難病	受けている	79	1.3	—	3.8	3.8	5.1	6.3	—	—	3.8	1.3	15.2	10.1
		受けていない	506	1.0	1.4	6.5	4.2	3.6	15.0	0.6	0.4	7.3	1.4	9.7	6.1
	発達障害	ある	52	5.8	9.6	11.5	11.5	5.8	26.9	—	—	11.5	3.8	3.8	5.8
		ない	529	0.9	0.9	5.7	3.6	3.4	13.8	0.6	0.4	6.6	1.1	10.8	6.6
	高次脳機能障害	ある	55	—	—	7.3	1.8	1.8	5.5	1.8	—	1.8	—	20.0	5.5
		ない	509	1.4	1.8	5.9	4.5	3.3	15.3	0.4	0.4	7.1	1.6	9.0	5.9

② 障害福祉サービスの利用希望

障害福祉サービスの利用希望について、「今後利用したい」の回答率は、「計画相談支援」が17.1%と最も高くなっています。ついで、「施設入所支援」が15.9%、「生活介護」が14.5%、「相談支援」が13.9%となっています。



n=662

【属性別特徴（今後利用したい障害福祉サービス）】

○障害種別に今後利用したい障害福祉サービスをみると、全体で最も回答率が高い「計画相談支援」は、「療育手帳」所持者（38.4%）、「発達障害」と診断された人（28.8%）の回答率が高くなっています。

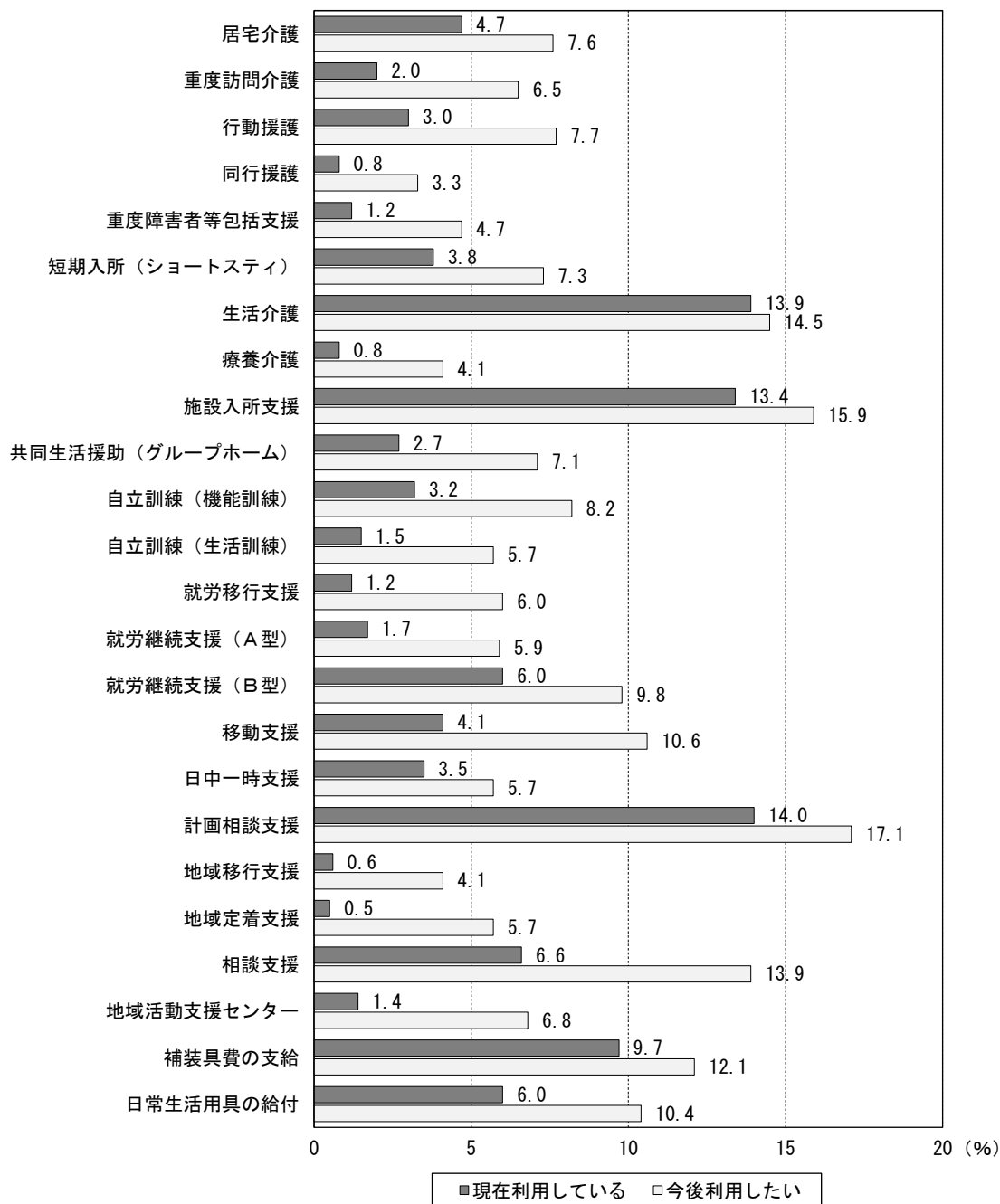
			サンプル数	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	短期入所（ショートステイ）	生活介護	療養介護	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）
全体			662	7.6	6.5	7.7	3.3	4.7	7.3	14.5	4.1	15.9	7.1	8.2	5.7
年齢別		18～29 歳	58	12.1	10.3	13.8	1.7	5.2	12.1	17.2	6.9	19.0	17.2	8.6	8.6
		30～39 歳	79	3.8	5.1	8.9	2.5	6.3	2.5	10.1	－	15.2	3.8	6.3	5.1
		40～49 歳	115	9.6	6.1	9.6	3.5	3.5	7.0	16.5	4.3	15.7	8.7	7.0	5.2
		50～59 歳	162	7.4	8.6	6.8	6.2	6.8	8.0	16.0	6.2	15.4	6.8	9.3	4.9
		60～69 歳	167	6.6	4.8	4.8	2.4	3.6	6.0	11.4	3.0	11.4	5.4	7.8	4.2
		70 歳以上	74	6.8	5.4	6.8	1.4	2.7	8.1	17.6	4.1	25.7	5.4	10.8	9.5
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	454	7.5	7.3	5.9	4.0	5.3	7.5	12.6	4.6	11.9	5.1	10.8	4.0
		療育手帳	151	8.6	6.6	15.9	1.3	3.3	8.6	30.5	3.3	42.4	15.2	4.0	10.6
		精神障害者保健福祉手帳	93	10.8	4.3	12.9	5.4	7.5	8.6	9.7	4.3	7.5	10.8	4.3	8.6
		持っていない	2	50.0	50.0	50.0	－	－	－	50.0	－	－	－	－	50.0
	難病	受けている	79	7.6	7.6	3.8	5.1	7.6	7.6	8.9	6.3	6.3	2.5	10.1	5.1
		受けていない	506	8.1	6.9	8.3	3.4	4.3	7.7	15.0	4.0	17.0	7.7	8.5	5.7
	発達障害	ある	52	3.8	5.8	17.3	1.9	3.8	13.5	25.0	1.9	32.7	13.5	1.9	11.5
		ない	529	8.5	7.2	7.6	4.0	5.5	7.4	14.0	4.7	15.1	6.8	9.1	5.5
	高次脳機能障害	ある	55	1.8	7.3	5.5	1.8	7.3	10.9	10.9	1.8	12.7	1.8	10.9	1.8
		ない	509	9.0	7.3	8.6	3.9	5.1	7.5	14.9	4.9	17.1	8.1	8.4	6.5

【属性別特徴（今後利用したい障害福祉サービス）】

		サンプル数	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	相談支援	地域活動支援センター	補装具費の支給	日常生活用具の給付	
全体		662	6.0	5.9	9.8	10.6	5.7	17.1	4.1	5.7	13.9	6.8	12.1	10.4	
年齢別	18～29 歳	58	12.1	12.1	12.1	17.2	13.8	36.2	3.4	6.9	12.1	6.9	6.9	6.9	
	30～39 歳	79	8.9	6.3	13.9	5.1	3.8	13.9	3.8	-	13.9	3.8	11.4	11.4	
	40～49 歳	115	7.0	7.0	14.8	13.9	3.5	14.8	6.1	8.7	18.3	11.3	15.7	11.3	
	50～59 歳	162	6.8	8.0	9.3	10.5	8.0	19.1	6.2	8.6	13.0	8.6	16.0	12.3	
	60～69 歳	167	3.0	2.4	6.6	8.4	3.6	11.4	2.4	5.4	11.4	5.4	9.6	9.0	
	70 歳以上	74	2.7	2.7	4.1	10.8	4.1	17.6	1.4	1.4	16.2	2.7	9.5	9.5	
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	454	5.1	4.4	7.9	9.5	5.7	12.6	4.2	5.3	13.2	6.8	16.3	13.4
		療育手帳	151	6.6	7.3	15.9	18.5	7.9	38.4	4.6	4.0	21.9	6.0	8.6	7.3
		精神障害者保健福祉手帳	93	10.8	10.8	11.8	12.9	5.4	16.1	4.3	9.7	11.8	9.7	5.4	7.5
		持っていない	2	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
	難病	受けている	79	5.1	3.8	7.6	13.9	6.3	12.7	3.8	6.3	17.7	11.4	17.7	17.7
		受けていない	506	5.5	5.9	9.9	10.3	5.7	18.2	4.3	6.1	14.2	6.5	12.3	10.7
	発達障害	ある	52	7.7	11.5	11.5	15.4	9.6	28.8	7.7	5.8	21.2	5.8	3.8	5.8
		ない	529	6.4	6.0	9.8	10.8	5.9	17.2	4.3	6.6	14.6	7.9	14.0	12.1
	高次脳機能障害	ある	55	-	-	9.1	5.5	3.6	5.5	3.6	-	9.1	1.8	12.7	5.5
		ない	509	7.1	6.9	10.0	12.0	5.9	19.3	4.7	6.9	15.1	8.1	12.8	11.6

③ 障害福祉サービスの利用状況と利用希望の比較

障害福祉サービスの利用状況と利用希望の比較について、「相談支援」の「利用希望」は、「利用状況」より 7.3 ポイント高くなっています。その他、「移動支援」(6.5 ポイント)や「地域活動支援センター」(5.4 ポイント)、「地域定着支援」(5.2 ポイント)などで利用状況と利用希望の差が大きくなっています。

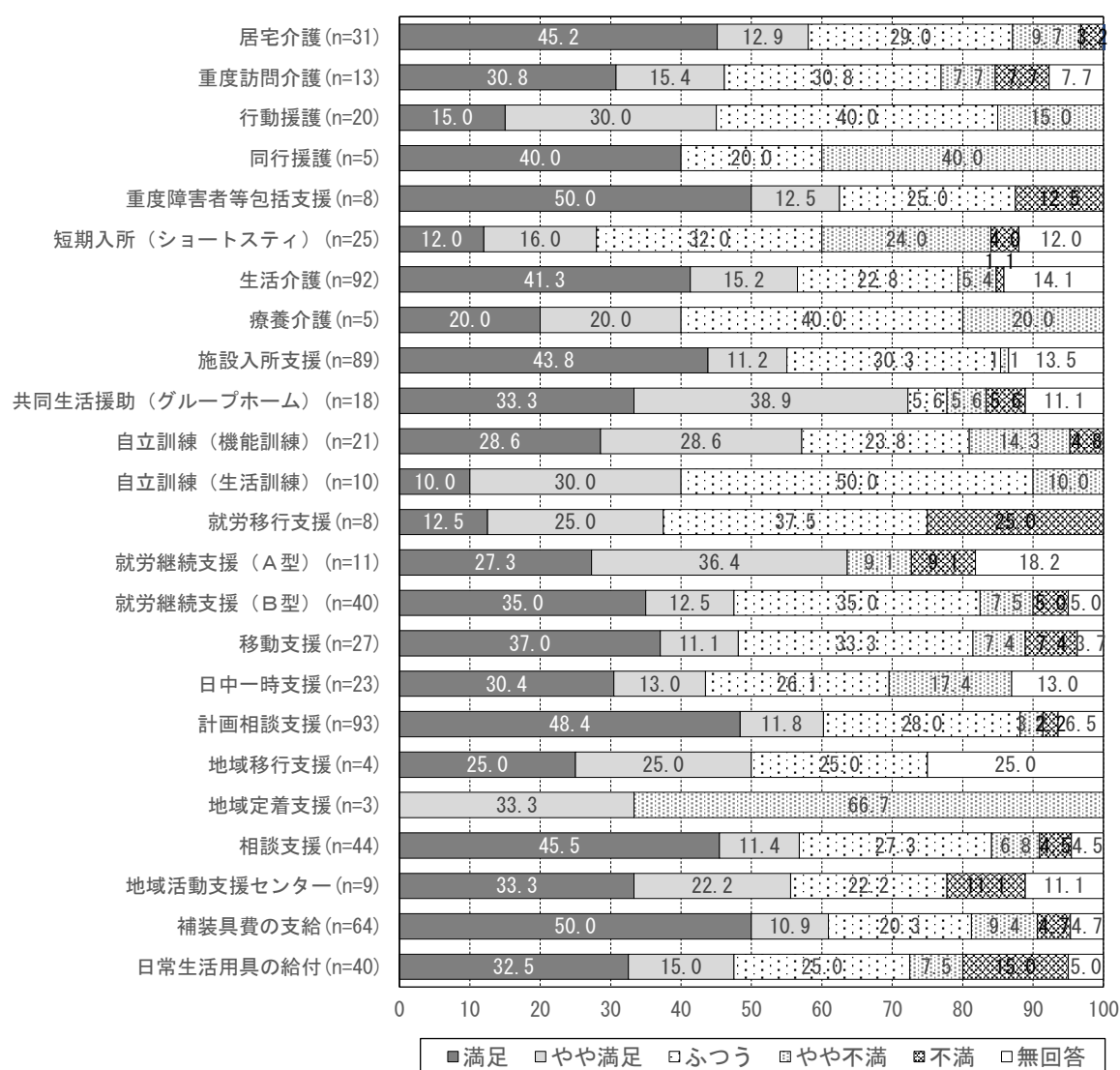


n=662

④ 障害福祉サービスの利用満足度

障害福祉サービスの利用満足度について、「共同生活援助（グループホーム）」で満足（「満足」と「やや満足」と回答した人の合計）と回答した人が 72.2%と最も高くなっています。その他、「就労継続支援（A型）」（63.7%）、「重度障害者等包括支援」（62.5%）、「補装具費の支給」（60.9%）、「計画相談支援」（60.2%）で満足度が高くなっています。

一方、「短期入所（ショートステイ）」（28.0%）、「就労移行支援」（25.0%）、「日常生活用具の給付」（22.5%）、「療養介護」（20.0%）で不満（「不満」と「やや不満」と回答した人の合計）と回答した人が多くなっています。その他、利用者数は少ないものの、「同行援護」は5人中2人、「地域定着支援」は3人中2人が不満と回答しています。



⑤ 障害福祉サービスの不満理由

障害福祉サービスの利用満足度で「不満」または「やや不満」と回答した人の不満の理由については以下のような結果となっています。

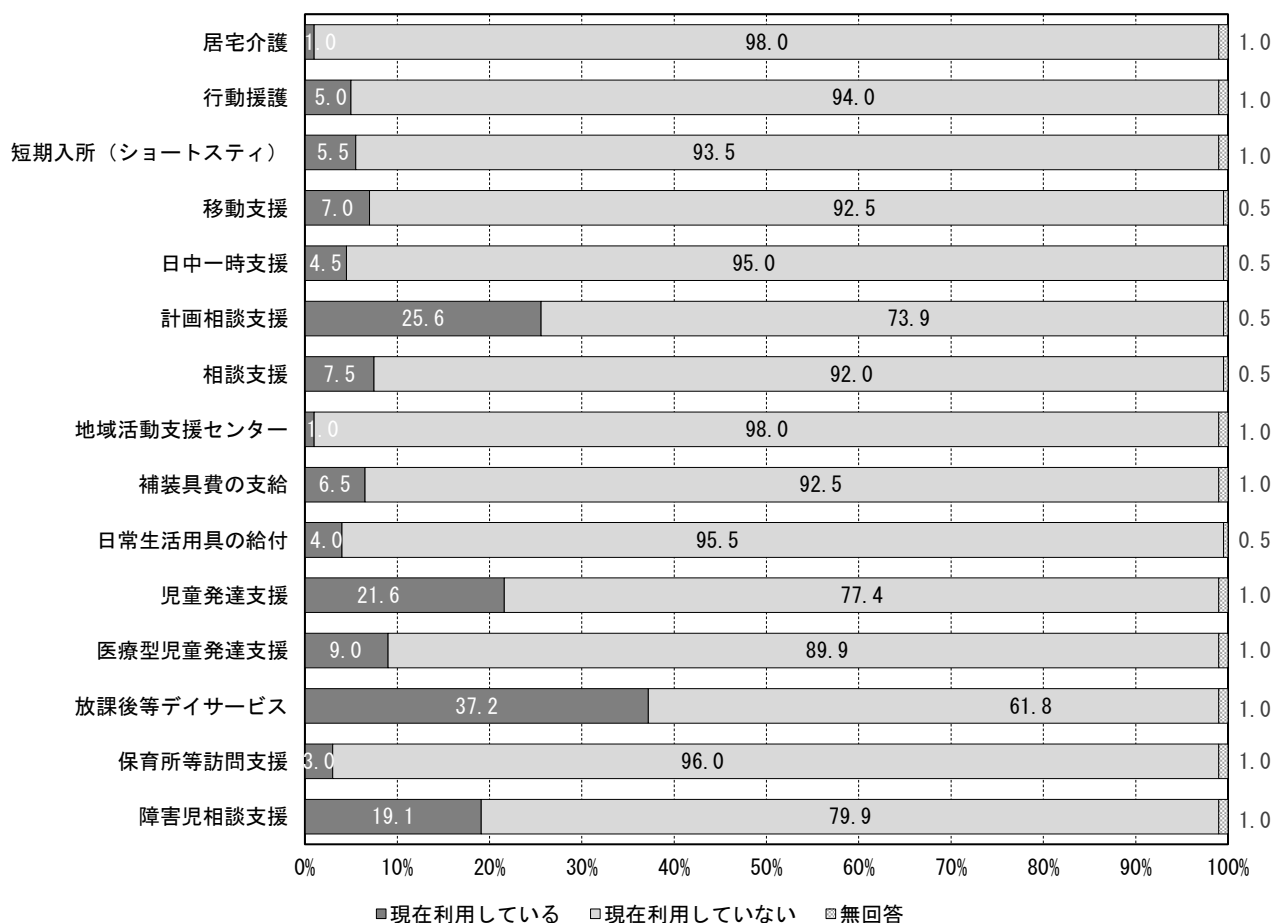
	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	短期入所 (ショートステイ)	生活介護	療養介護	施設入所支援	共同生活援助 (グループホーム)	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)
サンプル数	4	2	3	2	1	7	6	1	1	2	4	1
回数や時間が足りない	1	2	1	0	0	1	3	0	1	2	0	0
利用料が高い	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
サービス提供事業者が少ない	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0
利用の日時が合わない	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
利用の予約が取り難い	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
サービス内容（技術）に不安を感じる	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	3	0
サービス提供事業者の対応がよくない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者と家族等の連携が取れていない	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
医療ケアの対応が不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
無回答	1	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	1

	就労移行支援	就労継続支援 (A型)	就労継続支援 (B型)	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	相談支援	地域活動支援センター	補装具費の支給	日常生活用具の給付
サンプル数	2	2	5	4	4	5	0	2	5	1	9	9
回数や時間が足りない	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
利用料が高い	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2
サービス提供事業者が少ない	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
利用の日時が合わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
利用の予約が取り難い	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス内容（技術）に不安を感じる	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1
サービス提供事業者の対応がよくない	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1
事業者と家族等の連携が取れていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
医療ケアの対応が不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3
無回答	0	0	1	2	1	2	0	1	3	1	2	2

（６）障害児に関するサービスの利用状況と利用希望

① 障害児に関するサービスの利用状況

障害児に関するサービスの利用状況について、「現在利用している」の回答率は、「放課後等デイサービス」が37.2%と最も高くなっています。ついで、「計画相談支援」が25.6%、「児童発達支援」が21.6%となっています。



n = 199

【属性別特徴（現在利用している障害児に関するサービス）】

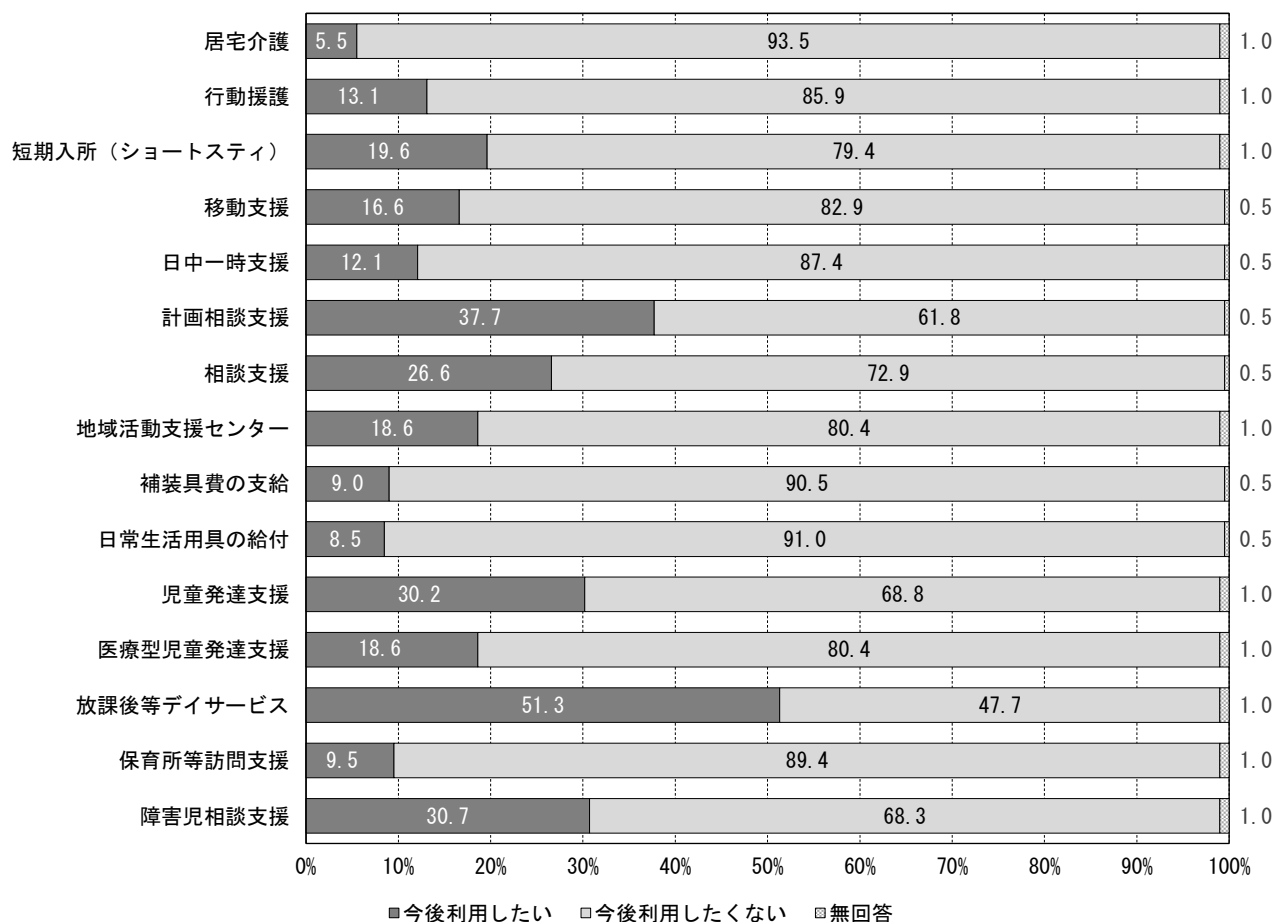
○障害種別に現在利用している障害児に関するサービスをみると、「放課後等デイサービス」の回答率は、「発達障害」と診断された人（46.6%）「療育手帳」所持者（41.1%）、で高くなっています。

			サンプル数	居宅介護（ホームヘルプ）	行動援護	短期入所（ショートステイ）	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	相談支援	地域活動支援センター
全体			199	1.0	5.0	5.5	7.0	4.5	25.6	7.5	1.0
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	45	2.2	4.4	11.1	-	8.9	17.8	13.3	-
		療育手帳	95	1.1	10.5	11.6	11.6	8.4	32.6	7.4	2.1
		精神障害者保健福祉手帳	38	-	-	-	2.6	2.6	18.4	5.3	-
		持っていない	35	-	-	-	2.9	-	31.4	2.9	-
	難病	受けている	15	-	6.7	6.7	6.7	6.7	26.7	20.0	-
		受けていない	141	1.4	4.3	5.7	7.1	4.3	28.4	7.8	1.4
	発達障害	ある	133	0.8	6.0	6.0	7.5	3.8	29.3	6.8	-
		ない	61	1.6	3.3	4.9	6.6	6.6	19.7	8.2	3.3
	高次脳機能障害	ある	4	-	25.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0	-
		ない	176	1.1	4.0	4.5	6.8	4.5	25.6	6.8	1.1

			サンプル数	補装具費の支給	日常生活用具の給付	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援
全体			199	6.5	4.0	21.6	9.0	37.2	3.0	19.1
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	45	26.7	17.8	8.9	13.3	22.2	2.2	20.0
		療育手帳	95	5.3	4.2	18.9	9.5	41.1	5.3	25.3
		精神障害者保健福祉手帳	38	-	-	15.8	2.6	39.5	-	13.2
		持っていない	35	-	-	42.9	14.3	40.0	2.9	22.9
	難病	受けている	15	26.7	13.3	13.3	20.0	20.0	-	26.7
		受けていない	141	5.0	4.3	22.7	9.9	36.2	3.5	18.4
	発達障害	ある	133	3.0	1.5	27.1	9.8	46.6	3.0	20.3
		ない	61	14.8	9.8	11.5	8.2	18.0	3.3	16.4
	高次脳機能障害	ある	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	50.0
		ない	176	6.8	4.0	20.5	8.5	36.4	2.8	19.3

② 障害児に関するサービスの利用希望

障害児に関するサービスの利用希望について、「今後利用したい」の回答率は、「放課後等デイサービス」が51.3%と最も高くなっています。ついで、「計画相談支援」が37.7%、「障害児相談支援」が30.7%、「児童発達支援」が30.2%となっています。



n = 199

【属性別特徴（今後利用したい障害児に関するサービス）】

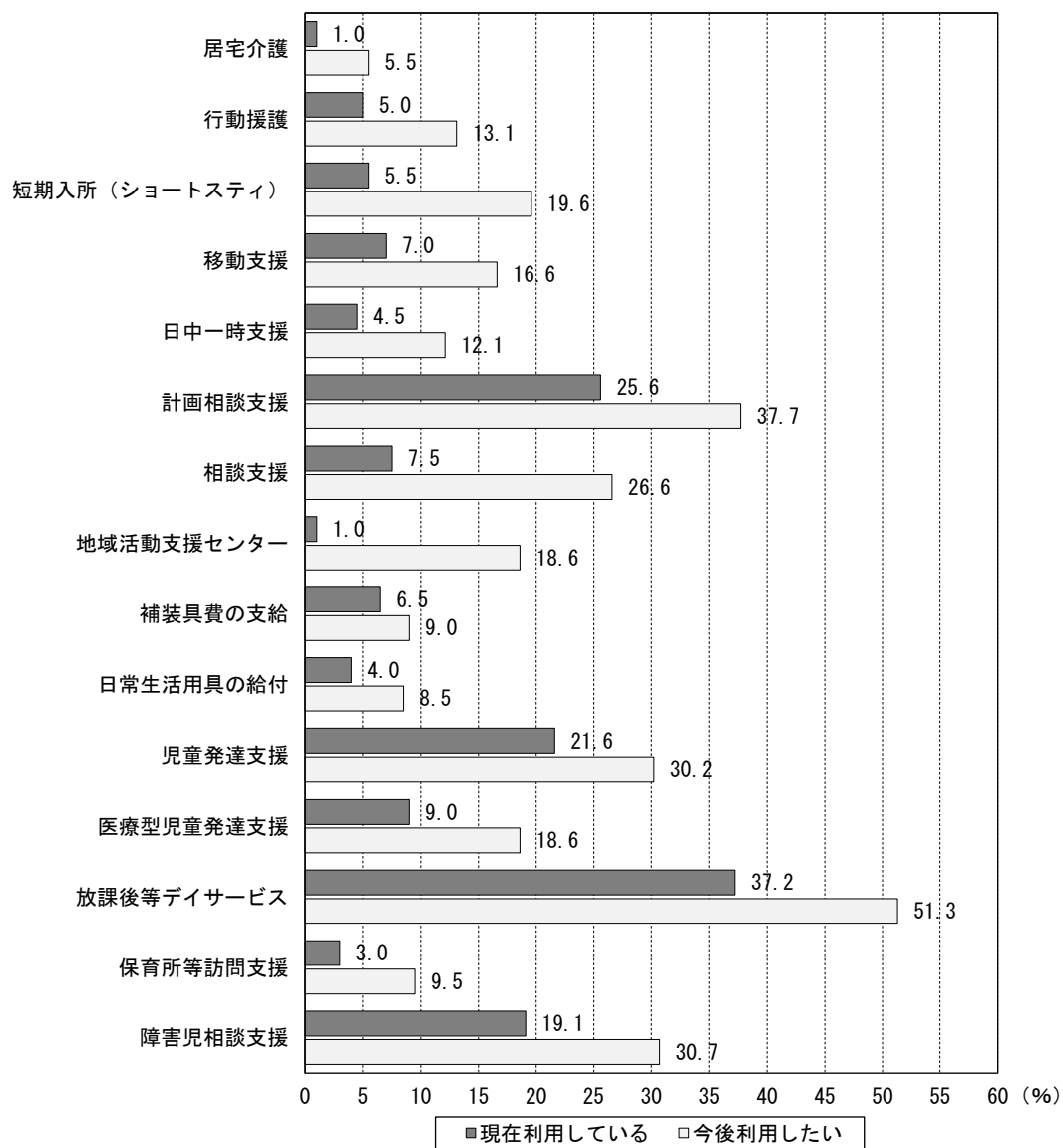
○障害種別に今後利用したい障害児に関するサービスをみると、「放課後等デイサービス」の回答率は、「高次脳機能障害」と診断された人（75.0%）、「発達障害」と診断された人（59.4%）が高くなっています。

			サンプル数	居宅介護（ホームヘルプ）	行動援護	短期入所（ショートステイ）	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	相談支援	地域活動支援センター
全体			199	5.5	13.1	19.6	16.6	12.1	37.7	26.6	18.6
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	45	15.6	20.0	26.7	20.0	24.4	33.3	26.7	13.3
		療育手帳	95	9.5	24.2	34.7	21.1	20.0	47.4	28.4	24.2
		精神障害者保健福祉手帳	38	-	2.6	2.6	10.5	2.6	26.3	26.3	18.4
		持っていない	35	2.9	2.9	5.7	11.4	5.7	40.0	25.7	17.1
	難病	受けている	15	26.7	20.0	53.3	33.3	33.3	40.0	33.3	26.7
		受けていない	141	4.3	11.3	17.0	15.6	10.6	39.7	27.0	18.4
	発達障害	ある	133	4.5	12.8	17.3	15.8	9.8	40.6	28.6	19.5
		ない	61	8.2	13.1	26.2	18.0	18.0	32.8	23.0	16.4
	高次脳機能障害	ある	4	50.0	100.0	75.0	50.0	50.0	75.0	50.0	50.0
		ない	176	5.1	10.8	18.2	16.5	11.9	36.9	26.1	17.6

			サンプル数	補装具費の支給	日常生活用具の給付	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援
全体			199	9.0	8.5	30.2	18.6	51.3	9.5	30.7
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	45	28.9	28.9	17.8	17.8	40.0	15.6	28.9
		療育手帳	95	10.5	10.5	27.4	14.7	53.7	12.6	38.9
		精神障害者保健福祉手帳	38	-	-	31.6	15.8	44.7	2.6	21.1
		持っていない	35	2.9	2.9	42.9	28.6	65.7	11.4	34.3
	難病	受けている	15	33.3	33.3	13.3	20.0	26.7	13.3	40.0
		受けていない	141	7.1	7.1	31.2	20.6	53.2	10.6	30.5
	発達障害	ある	133	5.3	6.0	38.3	21.8	59.4	9.8	32.3
		ない	61	16.4	14.8	14.8	13.1	36.1	9.8	27.9
	高次脳機能障害	ある	4	75.0	50.0	75.0	50.0	75.0	25.0	50.0
		ない	176	8.0	8.5	29.0	19.3	50.0	9.7	30.7

③ 障害児に関するサービスの利用状況と利用希望の比較

障害児に関するサービスの利用状況と利用希望の比較について、「相談支援」の「利用希望」は、「利用状況」より 19.1 ポイント高くなっています。その他、「地域活動支援センター」(17.6 ポイント)や「短期入所 (ショートステイ)」「放課後等デイサービス」(14.1 ポイント)などで利用状況と利用希望の差が大きくなっています。

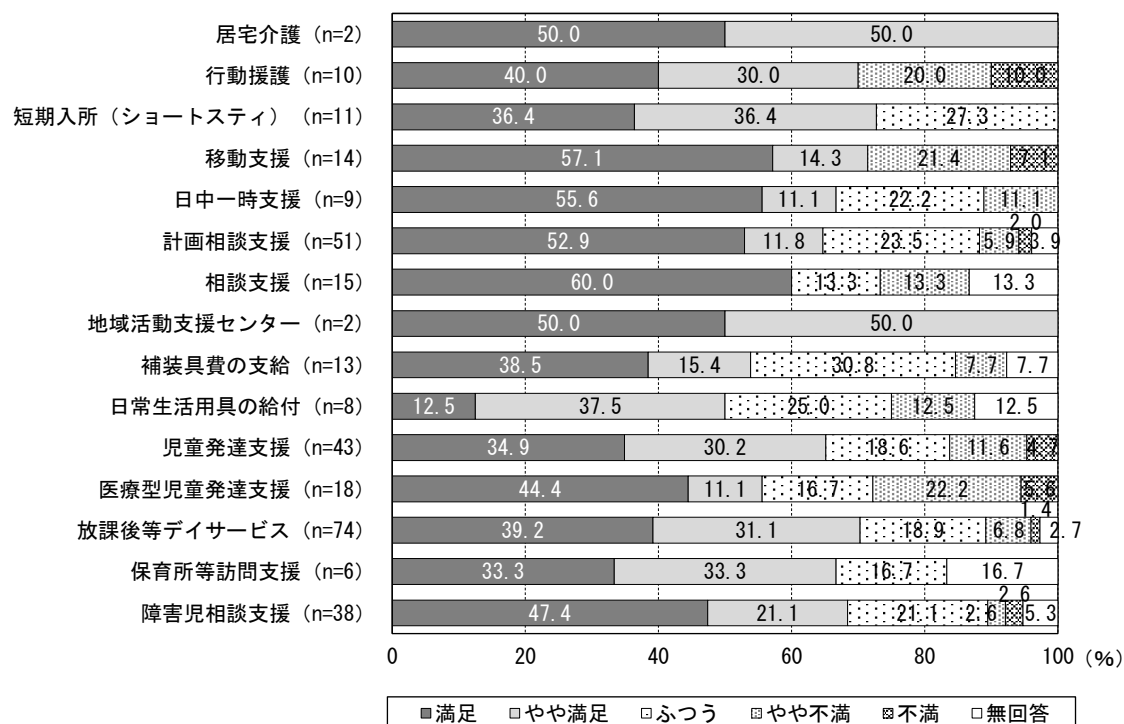


n = 199

④ 障害児に関するサービスの利用満足度

障害児に関するサービスの利用満足度について、各サービスともに回答者数が少なくなっていますが、満足（「満足」と「やや満足」と回答した人の合計）と回答した人が概ね5割以上となっています。

なお、「行動援護」（30.0％）や「移動支援」（28.5％）、「医療型児童発達支援」（27.8％）で 不満（「不満」と「やや不満」と回答した人の合計）と回答した人がやや多くなっています。



⑤ 障害児に関するサービスの不満理由

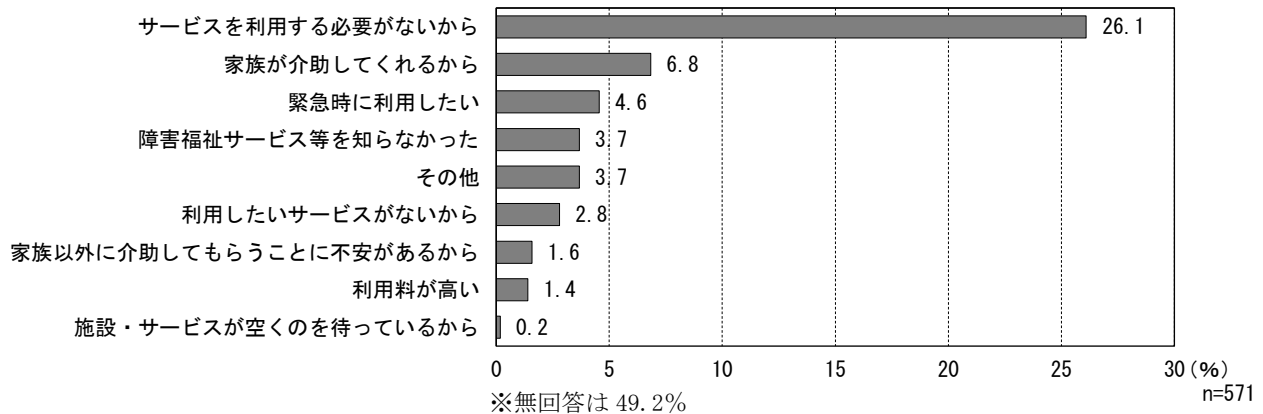
障害児に関するサービスの利用満足度で「不満」または「やや不満」と回答した人の不満の理由については以下のような結果となっています。

	居宅介護	行動援護	短期入所（ショートステイ）	移動支援	日中一時支援	計画相談支援	相談支援	地域活動支援センター	補装具費の支給	日常生活用具の給付	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援
サンプル数	0	3	0	4	1	4	2	0	1	1	7	5	6	0	2
回数や時間が足りない	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	3	3	0	0
利用料が高い	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
サービス提供事業者が少ない	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	3	0	1
利用の日時が合わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
利用の予約が取り難い	0	2	0	4	0	1	0	0	0	0	2	2	6	0	1
サービス内容（技術）に不安を感じる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0
サービス提供事業者の対応がよくない	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業者と家族等の連携が取れていない	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0
医療ケアの対応が不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	1	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

障害福祉サービス等をまったく利用していない方のみにお聞きます。

問 38 障害福祉サービス等をまったく利用していない理由は何ですか（○は1つだけ）

障害福祉サービス等をまったく利用していない理由について、「サービスを利用する必要がないから」が26.1%と最も高くなっています。ついで、「家族が介助してくれるから」が6.8%、「緊急時に利用したい」が4.6%となっています。



【属性別特徴】

○障害種別にみると、「サービスを利用する必要がないから」の回答率は、「身体障害者手帳」所持者（31.1%）が高くなっています。また、「家族が介助してくれるから」は、「難病」と診断された人（11.6%）が高くなっています。

		サンプル数	サービスを利用する必要がないから	利用したいサービスがないから	家族が介助してくれるから	家族以外に介助してもらうことに不安があるから	施設・サービスが空くのを待っているから	緊急時に利用したい	利用料が高い	障害福祉サービス等を知らなかった	その他	無回答
全体		571	26.1	2.8	6.8	1.6	0.2	4.6	1.4	3.7	3.7	49.2
年齢別	18歳未満	100	13.0	-	12.0	4.0	-	3.0	1.0	6.0	4.0	57.0
	18～29歳	33	21.2	3.0	9.1	-	-	6.1	3.0	3.0	15.2	39.4
	30～39歳	50	30.0	8.0	2.0	-	-	4.0	4.0	2.0	2.0	48.0
	40～49歳	74	29.7	4.1	5.4	2.7	1.4	2.7	-	4.1	5.4	44.6
	50～59歳	125	26.4	4.0	8.8	1.6	-	4.0	1.6	1.6	2.4	49.6
	60～69歳	136	34.6	2.2	4.4	0.7	-	5.9	0.7	5.1	2.9	43.4
	70歳以上	74	13.5	-	2.7	-	-	5.4	1.4	1.4	-	41.9
障害種別	所持手帳											
	身体障害者手帳	379	31.1	2.9	7.7	1.1	-	4.5	1.1	2.4	1.6	53.6
	療育手帳	95	14.7	1.1	9.5	2.1	1.1	2.1	-	5.3	7.4	56.8
	精神障害者保健福祉手帳	96	19.8	5.2	2.1	3.1	-	8.3	5.2	5.2	7.3	43.8
	持っていない	17	-	-	-	5.9	-	-	-	-	5.9	88.2
	難病											
	受けている	69	24.6	2.9	11.6	-	-	7.2	-	5.8	2.9	44.9
	受けていない	427	28.1	2.8	6.6	2.1	0.2	4.4	1.4	3.3	3.5	47.5
	発達障害											
	ある	86	9.3	1.2	8.1	2.3	1.2	1.2	2.3	3.5	5.8	65.1
	ない	420	31.7	3.1	7.4	1.7	-	5.2	1.2	3.6	2.6	43.6
高次脳機能障害												
	ある	34	14.7	5.9	5.9	5.9	-	-	5.9	-	2.9	58.8
	ない	456	28.7	2.2	7.9	1.5	0.2	4.4	1.1	4.4	3.7	45.8

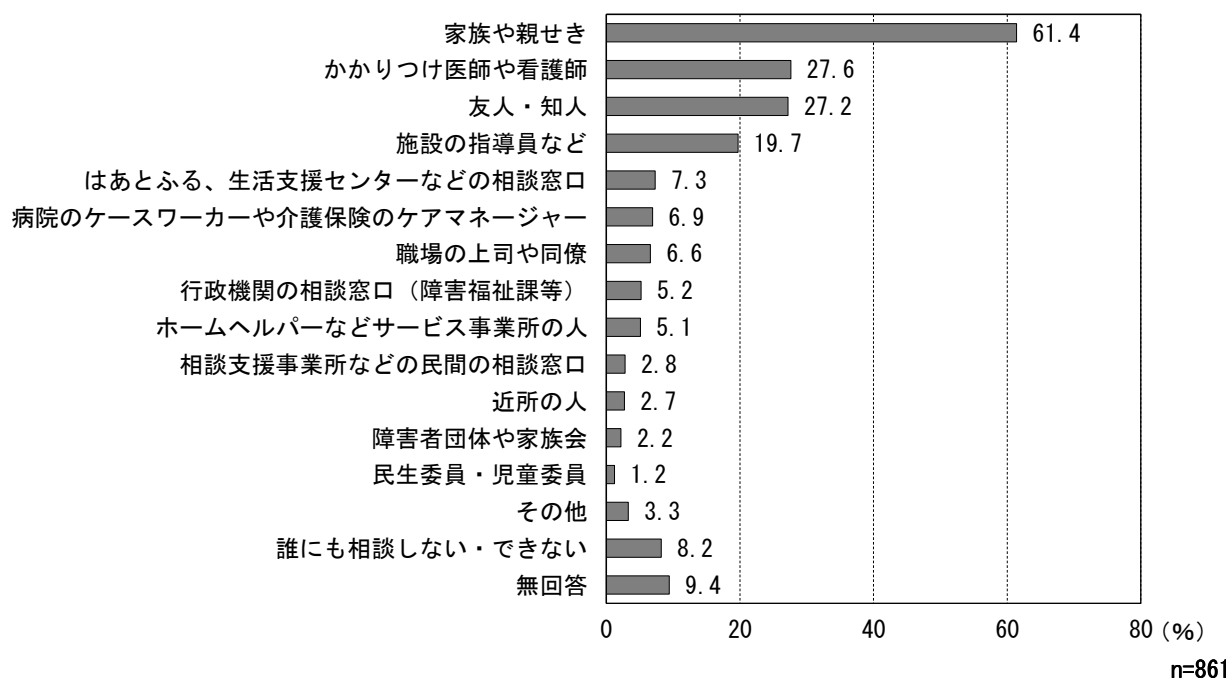
8 相談相手について

(1) 悩みや困ったことの相談先

問 39 あなた（本人）は、普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。

（あてはまるものにすべてに○）

悩みや困ったことの相談先について、「家族や親せき」が 61.4%と最も高くなっています。ついで、「かかりつけの医師や看護師」が 27.6%、「友人・知人」が 27.2%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「18歳未満」で「家族や親せき」(76.5%)、「友人・知人」(42.1%)「かかりつけ医師や看護師」(38.3%)が高くなっています。また、「18歳未満」では「はあとふる、生活支援センターなどの相談窓口」(16.9%)が他の年齢層よりも高くなっています。

「70歳以上」では「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー」(12.2%)が他の年齢層よりも高くなっています。

また、「かかりつけ医師や看護師」は40歳代を除いて年齢が上がるごとに少なくなっています。

○障害種別にみると、「療育手帳」保持者は、「施設の指導員など」(45.9%)、「難病」と診断された人は、「家族や親せき」(74.5%)が高くなっています。また、「精神障害者保健福祉手帳」保持者は、「はあとふる、生活支援センターなどの相談窓口」(17.6%)「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー」(14.5%)で他の障害の種別よりも高くなっています。その他、「高次脳機能障害」と診断された人は、「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー」(22.0%)で他の障害の種別よりも高くなっています。

		サンプル数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービ ス事業所の人	障害者団体や家族会	かかりつけ医師や看護師
全体		861	61.4	27.2	2.7	6.6	19.7	5.1	2.2	27.6
年齢別	18歳未満	183	76.5	42.1	4.9	6.0	27.3	7.7	4.4	38.3
	18～29歳	72	54.2	25.0	—	5.6	27.8	5.6	1.4	30.6
	30～39歳	79	69.6	27.8	1.3	12.7	21.5	3.8	1.3	26.6
	40～49歳	115	51.3	21.7	0.9	8.7	22.6	3.5	4.3	29.6
	50～59歳	162	61.1	25.9	3.7	9.3	11.7	4.9	0.6	22.8
	60～69歳	167	57.5	25.1	1.8	1.8	13.2	2.4	1.2	22.2
	70歳以上	74	48.6	8.1	4.1	4.1	18.9	8.1	1.4	20.3
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	64.5	28.5	3.2	7.0	12.2	4.6	25.5
		療育手帳	246	52.0	22.8	2.4	4.1	45.9	5.7	22.0
		精神障害者保健福祉手帳	131	63.4	22.9	0.8	6.9	10.7	8.4	41.2
		持っていない	37	73.0	48.6	5.4	8.1	27.0	2.7	51.4
	難病	受けている	94	74.5	33.0	3.2	6.4	7.4	6.4	42.6
		受けていない	647	61.8	27.4	2.5	6.8	20.9	4.9	26.1
	発達障害	ある	185	64.3	30.8	4.9	4.3	31.9	7.6	4.9
		ない	590	62.0	27.3	2.0	7.6	16.3	4.7	1.4
	高次脳機能障害	ある	59	69.5	22.0	1.7	8.5	18.6	10.2	—
		ない	685	62.9	28.5	2.6	6.7	19.9	5.3	2.2

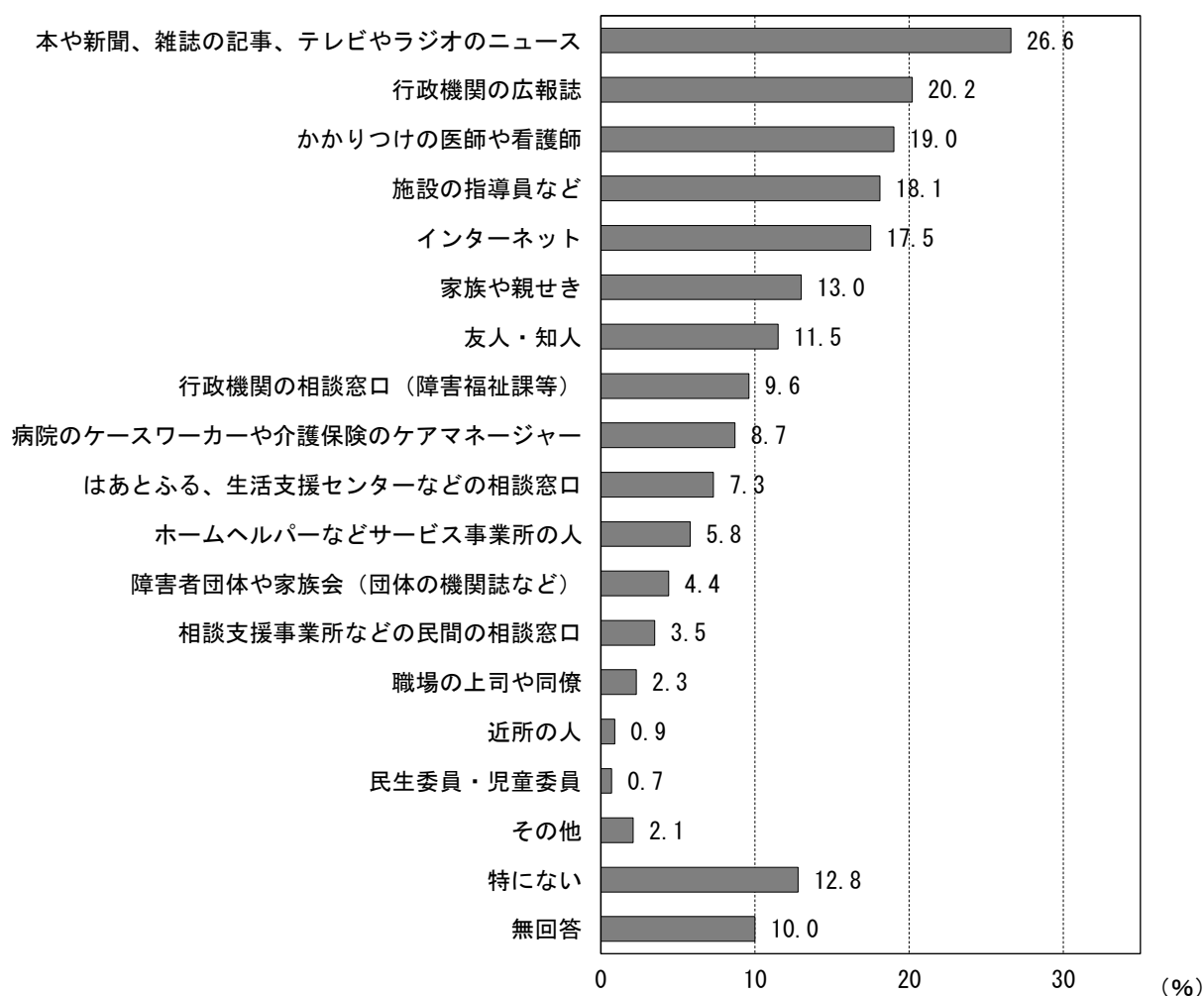
【属性別特徴】

			サンプル数	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口（障害福祉課等）	はあとふる、生活支援センターなどの相談窓口	その他	誰にも相談しない・できない	無回答
全体			861	6.9	1.2	2.8	5.2	7.3	3.3	8.2	9.4
年齢別	18 歳未満		183	3.3	1.1	8.2	4.9	16.9	9.3	4.9	1.1
	18～29 歳		72	4.2	－	4.2	2.8	8.3	4.2	11.1	11.1
	30～39 歳		79	5.1	－	1.3	5.1	10.1	1.3	8.9	6.3
	40～49 歳		115	7.8	－	0.9	4.3	7.8	1.7	7.0	13.9
	50～59 歳		162	9.3	2.5	1.2	4.9	4.3	－	10.5	9.3
	60～69 歳		167	6.6	2.4	1.2	8.4	0.6	2.4	6.6	13.2
	70 歳以上		74	12.2	－	－	2.7	1.4	1.4	13.5	14.9
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	7.2	1.2	1.2	6.0	2.8	1.6	9.2	10.2
		療育手帳	246	1.2	0.4	4.9	6.1	8.9	6.1	9.3	7.7
		精神障害者保健福祉手帳	131	14.5	3.1	4.6	4.6	17.6	2.3	6.9	6.1
		持っていない	37	5.4	－	10.8	5.4	18.9	8.1	2.7	2.7
	難病	受けている	94	10.6	4.3	1.1	5.3	3.2	1.1	8.5	－
		受けていない	647	6.6	0.9	2.6	5.1	7.6	3.7	8.7	9.7
	発達障害	ある	185	2.7	0.5	8.6	5.4	17.3	5.4	7.0	4.9
		ない	590	8.1	1.4	1.4	5.1	5.1	3.1	8.5	9.7
	高次脳機能障害	ある	59	22.0	1.7	1.7	8.5	－	－	6.8	8.5
		ない	685	5.4	1.2	3.2	5.0	8.8	4.1	8.9	7.7

（２）福祉サービスに関する情報の入手先

問 40 あなた（本人）は障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

福祉サービスに関する情報の入手先について、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が26.6%と最も高くなっています。ついで、「行政機関の広報誌」が20.2%、「かかりつけの医師や看護師」が19.0%となっています。



n=861

【属性別特徴】

○年齢別にみると、「50～59 歳」、「60～69 歳」では、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の回答率が高くなっています。また、「18 歳未満」では、「友人・知人」（29.0%）や「かかりつけの医師や看護師」（27.9%）の回答率が高くなっています。

			サンプル数	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービ ス事業所の人	障害者団体や家族会（団体の機 関誌など）
全体			861	26.6	20.2	17.5	13.0	11.5	0.9	2.3	18.1	5.8	4.4
年齢別	18 歳未満		183	28.4	20.2	26.2	8.7	29.0	1.6	4.9	17.5	7.1	8.2
	18～29 歳		72	16.7	9.7	12.5	22.2	8.3	－	2.8	29.2	6.9	2.8
	30～39 歳		79	22.8	24.1	24.1	17.7	5.1	－	－	24.1	7.6	5.1
	40～49 歳		115	23.5	16.5	13.9	12.2	5.2	－	2.6	23.5	3.5	6.1
	50～59 歳		162	30.2	21.0	21.0	15.4	5.6	0.6	1.9	10.5	5.6	2.5
	60～69 歳		167	30.5	25.7	13.8	9.0	10.2	1.2	－	9.6	3.0	3.0
	70 歳以上		74	24.3	16.2	1.4	14.9	4.1	2.7	4.1	28.4	9.5	－
障害 種別	所持 手帳	身体障害者手帳	499	27.1	22.6	18.0	14.4	9.2	1.4	1.6	13.4	6.8	4.4
		療育手帳	246	18.7	13.4	9.8	11.0	15.9	0.4	2.8	41.5	6.9	5.7
		精神障害者保健福祉手帳	131	29.8	16.8	23.7	13.0	9.2	－	2.3	9.9	5.3	1.5
		持っていない	37	35.1	24.3	24.3	5.4	27.0	2.7	8.1	18.9	2.7	8.1
	難病	受けている	94	35.1	33.0	19.1	16.0	6.4	2.1	3.2	9.6	10.6	5.3
		受けていない	647	25.8	19.6	19.2	13.6	12.2	0.9	1.7	19.0	5.6	4.0
	発達 障害	ある	185	29.7	18.4	23.2	11.9	20.5	1.1	4.9	22.7	7.6	5.9
		ない	590	26.6	22.4	17.6	13.9	9.5	0.8	1.9	17.1	5.9	3.7
	高次脳 機能障害	ある	59	22.0	16.9	8.5	20.3	6.8	－	1.7	20.3	11.9	－
		ない	685	27.6	21.8	20.1	13.3	12.1	0.9	2.6	18.4	5.8	4.7

【属性別特徴】

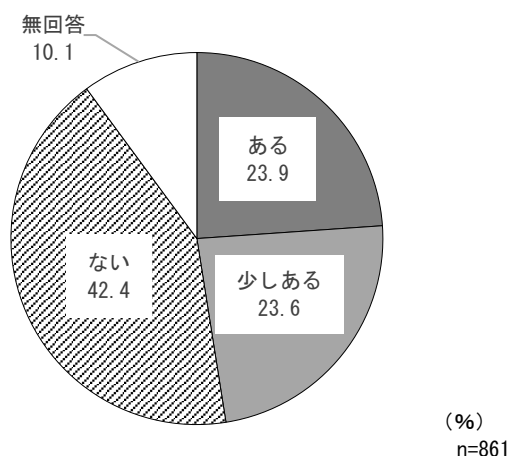
			サンプル数	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	民生委員・児童委員	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口（障害福祉課等）	はあとふる、生活支援センターなどの相談窓口	その他	特にない	無回答	
全体			861	19.0	8.7	0.7	3.5	9.6	7.3	2.1	12.8	10.0	
年齢別			18歳未満	183	27.9	3.3	1.1	7.7	13.7	13.7	5.5	8.2	1.1
			18～29歳	72	16.7	4.2	－	6.9	13.9	12.5	4.2	13.9	8.3
			30～39歳	79	20.3	10.1	1.3	5.1	8.9	11.4	－	17.7	8.9
			40～49歳	115	14.8	7.8	－	2.6	11.3	7.0	0.9	13.0	13.9
			50～59歳	162	14.8	11.1	1.2	0.6	6.2	3.7	0.6	14.8	9.9
			60～69歳	167	18.0	7.8	0.6	1.8	9.6	3.0	0.6	16.2	13.8
			70歳以上	74	17.6	20.3	－	－	2.7	1.4	2.7	5.4	18.9
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	18.0	10.2	1.0	2.0	9.8	3.8	1.0	13.0	10.8	
		療育手帳	246	11.8	2.4	0.8	6.5	12.6	10.2	4.5	11.4	8.5	
		精神障害者保健福祉手帳	131	34.4	13.7	－	5.3	6.9	16.0	4.6	12.2	6.9	
		持っていない	37	29.7	5.4	－	8.1	10.8	16.2	－	8.1	2.7	
	難病	受けている	94	29.8	16.0	1.1	1.1	9.6	3.2	2.1	10.6	2.1	
		受けていない	647	17.8	8.2	0.8	4.2	10.2	8.0	2.3	12.2	10.0	
	発達障害	ある	185	27.0	2.7	0.5	7.6	12.4	14.1	4.9	7.6	4.3	
		ない	590	16.6	10.2	0.8	2.7	9.5	5.6	1.5	14.2	9.5	
	高次脳機能障害	ある	59	27.1	27.1	－	1.7	13.6	－	1.7	15.3	10.2	
		ない	685	19.4	7.2	0.7	3.9	9.9	8.3	2.5	12.7	7.9	

9 権利擁護について

(1) 障害があることでの差別や嫌な思い

問 41 あなた（本人）は、障害があることで差別を受けたことや嫌な思いをしたことがありますか。
（○は1つだけ）

障害があることでの差別や嫌な思いについて、「ない」が 42.4%と最も高くなっています。ついで、「ある」が 23.9%、「少しある」が 23.6%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「18～29 歳」で、「ある」(38.9%) の回答率が高くなっています。

○障害種別にみると、「ある」の回答率は、「精神障害者保健福祉手帳」所持者 (36.6%)、「療育手帳」(32.9%)、「発達障害」と診断された人 (30.3%) が高くなっています。

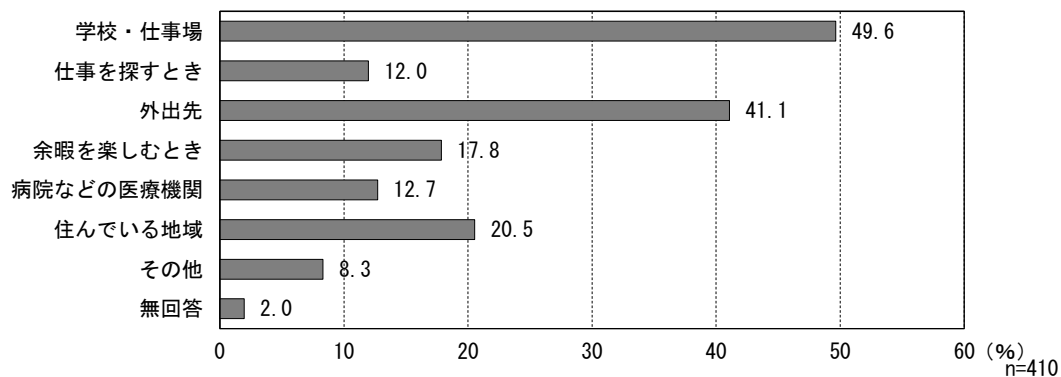
			サンプル数	ある	少しある	ない	無回答
全体			861	23.9	23.6	42.4	10.1
年齢別		18 歳未満	183	25.7	32.2	39.9	2.2
		18～29 歳	72	38.9	25.0	22.2	13.9
		30～39 歳	79	34.2	30.4	26.6	8.9
		40～49 歳	115	28.7	20.0	38.3	13.0
		50～59 歳	162	21.6	26.5	42.6	9.3
		60～69 歳	167	15.6	16.8	55.1	12.6
		70 歳以上	74	12.2	10.8	60.8	16.2
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	19.2	22.6	47.5	10.6
		療育手帳	246	32.9	22.8	35.0	9.3
		精神障害者保健福祉手帳	131	36.6	29.8	26.7	6.9
		持っていない	37	16.2	13.5	64.9	5.4
	難病	受けている	94	23.4	26.6	44.7	5.3
		受けていない	647	24.1	24.6	41.6	9.7
	発達障害	ある	185	30.3	27.6	35.7	6.5
		ない	590	21.9	23.6	45.1	9.5
	高次脳機能障害	ある	59	22.0	22.0	42.4	13.6
		ない	685	24.2	24.5	43.8	7.4

(2) 差別や嫌な思いをした場所

問 41 で「1. ある」又は「2. 少しある」と回答された方にお聞きします。

問 42 どのような場所で差別を受けたり嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別や嫌な思いをした場所について、「学校・仕事場」が 49.6%と最も高くなっています。ついで、「外出先」が 41.1%、「住んでいる地域」が 20.5%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「学校・仕事場」の回答率は、年齢が上がるにつれて減少する傾向にあります。

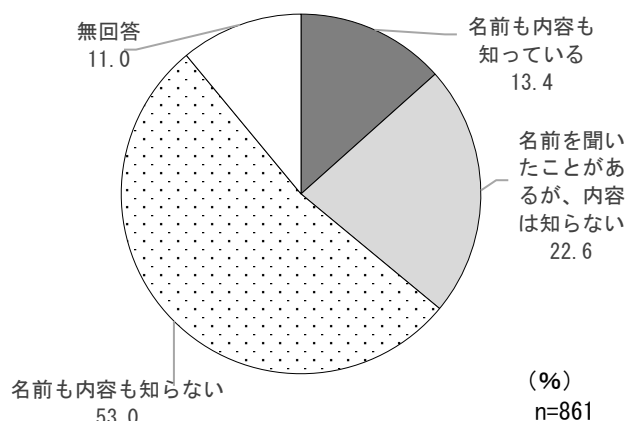
○障害種別にみると、「外出先」の回答率は、「療育手帳」所持者 (49.3%)、「高次脳機能障害」と診断された人 (50.0%) が高くなっています。

		サンプル数	学校・仕事場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	その他	無回答
全体		410	49.5	12.0	41.0	17.8	12.7	20.5	8.3	2.0
年齢別	18 歳未満	106	64.2	—	37.7	18.9	14.2	17.0	7.5	2.8
	18～29 歳	47	76.6	19.1	38.3	19.1	14.9	23.4	—	0.0
	30～39 歳	51	51.0	23.5	41.2	17.6	9.8	13.7	11.8	5.9
	40～49 歳	56	50.0	16.1	46.4	14.3	16.1	23.2	10.7	0.0
	50～59 歳	78	34.6	15.4	48.7	14.1	9.0	14.1	6.4	2.6
	60～69 歳	54	27.8	13.0	37.0	18.5	14.8	33.3	13.0	0.0
	70 歳以上	17	11.8	—	29.4	35.3	5.9	35.3	11.8	0.0
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	209	43.1	12.4	44.5	18.7	8.1	18.2	1.4
		療育手帳	138	52.9	3.6	49.3	25.4	19.6	24.6	1.4
		精神障害者保健福祉手帳	87	51.7	20.7	27.6	9.2	12.6	17.2	2.3
		持っていない	11	72.7	—	54.5	18.2	18.2	—	0.0
	難病	受けている	47	46.8	8.5	48.9	21.3	12.8	17.0	2.1
		受けていない	315	49.2	12.4	41.3	17.8	12.7	20.0	1.6
	発達障害	ある	108	67.6	4.6	41.7	20.4	16.7	21.3	1.9
		ない	268	43.3	15.3	41.4	17.9	10.8	20.5	1.9
	高次脳機能障害	ある	26	34.6	11.5	50.0	42.3	11.5	19.2	0.0
		ない	335	49.6	11.3	40.9	17.6	12.5	19.7	1.8

(3)「障害者差別解消法」の認知

問 43 平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が施行されました。あなた（本人）は「障害者差別解消法」についてご存じですか。
（○は 1 つだけ）

「障害者差別解消法」の認知について、「名前も内容も知らない」が 53.0%と最も高くなっています。ついで、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 22.6%、「名前も内容も知っている」が 13.4%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「18 歳未満」で「名前も内容も知っている」(24.0%)、「50～59 歳」で、「名前も内容も知らない」(61.1%) の回答率が高くなっています。

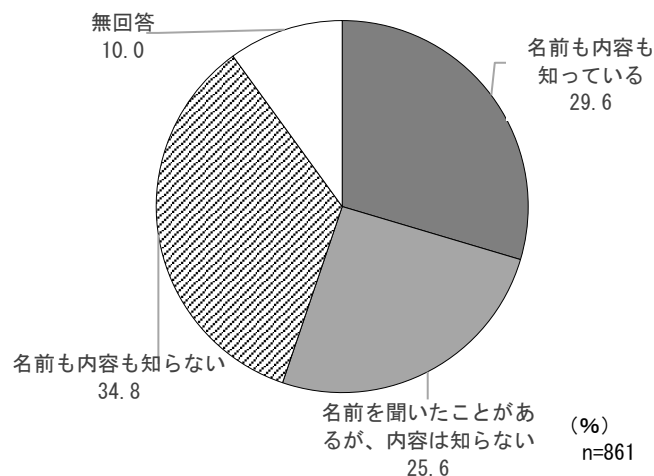
○障害種別にみると、「精神障害者保健福祉手帳」所持者で、「名前も内容も知らない」(60.3%) の回答率が高くなっています。

			サンプル数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
全体			861	13.4	22.6	53.0	11.0
年齢別		18 歳未満	183	24.0	22.4	52.5	1.1
		18～29 歳	72	6.9	31.9	48.6	12.5
		30～39 歳	79	17.7	25.3	48.1	8.9
		40～49 歳	115	9.6	27.0	48.7	14.8
		50～59 歳	162	9.9	19.1	61.1	9.9
		60～69 歳	167	12.6	20.4	51.5	15.6
		70 歳以上	74	4.1	20.3	55.4	20.3
障害種別	所持手帳	身体障害者手帳	499	14.4	23.0	50.5	12.0
		療育手帳	246	12.6	25.2	52.8	9.3
		精神障害者保健福祉手帳	131	14.5	17.6	60.3	7.6
		持っていない	37	13.5	18.9	64.9	2.7
	難病	受けている	94	17.0	22.3	53.2	7.4
		受けていない	647	13.4	23.5	53.2	9.9
	発達障害	ある	185	17.8	27.0	50.3	4.9
		ない	590	12.0	22.4	55.6	10.0
	高次脳機能障害	ある	59	6.8	25.4	55.9	11.9
		ない	685	14.2	23.1	55.0	7.7

(4) 成年後見制度の認知

問 44 あなた（本人）は、成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

成年後見制度の認知について、「名前も内容も知らない」が34.8%と最も高くなっています。ついで、「名前も内容も知っている」が29.6%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が25.6%となっています。



【属性別特徴】

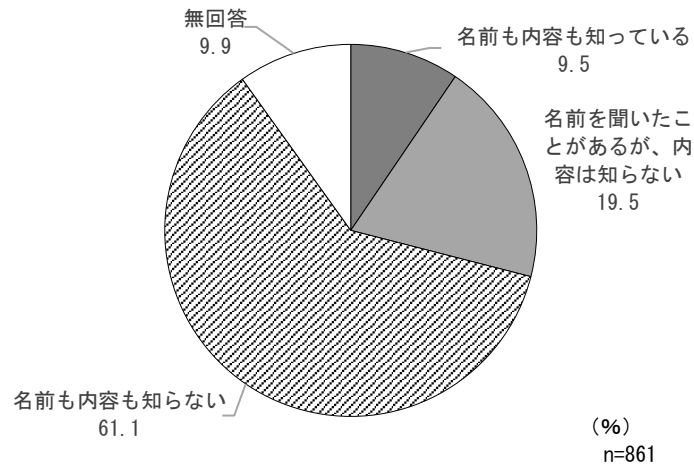
○年齢別にみると、「18歳未満」で「名前も内容も知っている」(36.6%)での回答率が高くなっています。また、「30～39歳」では「名前も内容も知らない」(41.8%)の回答率が高くなっています。

			サ ン プ ル 数	る 名 前 も 内 容 も 知 っ て い	る 名 前 を 聞 い た こ と が あ	る 名 前 も 内 容 も 知 ら な い	無 回 答	
全体			861	29.6	25.6	34.8	10.0	
年齢別			18 歳未満	183	36.6	27.9	32.8	2.7
			18～29 歳	72	27.8	26.4	34.7	11.1
			30～39 歳	79	30.4	21.5	41.8	6.3
			40～49 歳	115	29.6	23.5	35.7	11.3
			50～59 歳	162	28.4	24.1	37.0	10.5
			60～69 歳	167	30.5	26.3	30.5	12.6
			70 歳以上	74	14.9	31.1	35.1	18.9
障害 種別	所持 手帳	身体障害者手帳	499	30.7	26.9	31.7	10.8	
		療育手帳	246	29.7	19.9	41.9	8.5	
		精神障害者保健福祉手帳	131	27.5	28.2	37.4	6.9	
		持っていない	37	29.7	35.1	29.7	5.4	
	難病	受けている	94	34.0	33.0	27.7	5.3	
		受けていない	647	28.7	26.1	36.0	9.1	
	発達 障害	ある	185	33.5	27.0	33.0	6.5	
		ない	590	29.5	26.8	35.1	8.6	
	高次脳 機能障害	ある	59	18.6	28.8	40.7	11.9	
		ない	685	30.4	26.4	35.8	7.4	

(5) 東広島市虐待防止センターについての認知

問 45 あなた（本人）は、東広島市虐待防止センターについてご存じですか。（○は1つだけ）

東広島市虐待防止センターについての認知について、「名前も内容も知らない」が 61.1%と最も高くなっています。ついで、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 19.5%、「名前も内容も知っている」が 9.5%となっています。



【属性別特徴】

○年齢別にみると、「50～59 歳」で、「名前も内容も知らない」(69.8%) の回答率が高くなっています。

○障害種別にみると、「高次機能障害」と診断された人で、「名前も内容も知らない」(72.9%) の回答率が高くなっています。

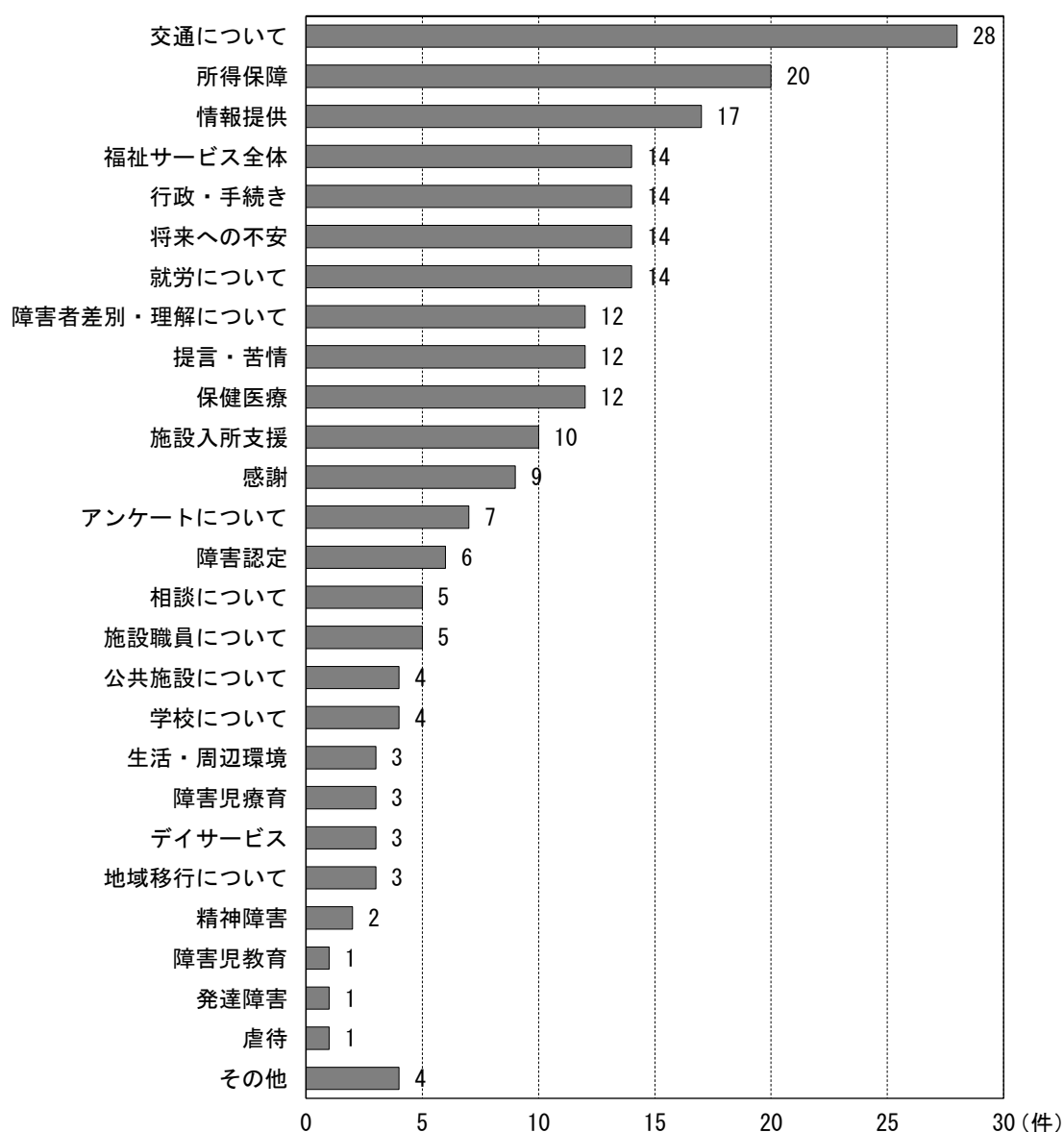
		サンプル数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
全体		861	9.5	19.5	61.1	9.9
年齢別	18 歳未満	183	13.7	25.1	58.5	2.7
	18～29 歳	72	12.5	26.4	51.4	9.7
	30～39 歳	79	11.4	24.1	58.2	6.3
	40～49 歳	115	8.7	18.3	60.9	12.2
	50～59 歳	162	6.8	13.6	69.8	9.9
	60～69 歳	167	8.4	17.4	60.5	13.8
	70 歳以上	74	4.1	16.2	63.5	16.2
障害種別	所持手帳					
	身体障害者手帳	499	7.8	20.8	60.9	10.4
	療育手帳	246	11.4	20.7	58.5	9.3
	精神障害者保健福祉手帳	131	12.2	14.5	67.2	6.1
	持っていない	37	13.5	21.6	59.5	5.4
	難病					
	受けている	94	9.6	22.3	61.7	6.4
	受けていない	647	9.0	19.3	62.8	9.0
	発達障害					
	ある	185	14.6	23.2	55.1	7.0
	ない	590	7.8	19.0	64.6	8.6
	高次脳機能障害					
	ある	59	3.4	13.6	72.9	10.2
	ない	685	9.8	20.7	62.2	7.3

10 自由記述について

障害福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

179人（一般：124人、障害児：55人）の方から自由記述で意見をいただきました。

意見の内容を分類し、件数を下図にまとめたところ、「交通について」が28件と最も多くなっています。ついで、「所得保障」が20件、「情報提供」が17件となっています。



【自由意見の主な内容】

分類・要望項目	主な内容
交通について	黒瀬町は、バスは少しあるものの、地域によってはほぼ公共交通機関がない。これでは障害福祉はもちろん過疎化は間違いないと思う。子供の通学も送迎が必要。このような地域のことをもっと考えてほしい。
	予算の問題でタクシーチケットを減らされたが、いつになったら元に戻るのか。あれだけ箱モノを作っておいて予算が足りないとは住民を馬鹿にしているとさえ思う。
	障害者用駐車場に健常者の車が停められており困っている。対策を考えて欲しい。
	大きな道路でも点字ブロックが切れていたりマンホールに物が被っていたりする。レンガの道では白杖がひっかかり危ない。スロープも傾斜が急なものもあり一定の基準が必要
	移動支援にかかわるヘルパーさん不足でなかなか利用ができないので、1人で外出させるには不安のある子なので、社会性を身につけるため、休日を楽しんで過ごすため、もう少し利用ができればありがたいです。学生の多い町なので、ボランティアなので学生さんの助けを借りるのもヘルパー不足を補うひとつかなとも思います。
所得保障	せっかく地域で生活でき、仕事ができている、生活するためにはどうしても賃金が少ない（給料が低い）
	病気により県外に入院したりする場合多額の費用がかかる。再生医療費が間に合わず3割負担になったが、県外入院などで多額の費用がかかる場合に支援をしてほしい。
	現在、グループホームに入っているが、親兄弟がいなくなると介護サービスの利用料を本人だけの年金（障害者年金を含む）だけでは払えなくなってしまうのではないかと心配している。
	税金の減額措置を拡充してほしい。わずかな収入増でも一気に医療費負担が大きくなり、可処分所得が実質はマイナスになってしまう。
情報提供	自分が受けられる福祉サービスがあるのか全くわからない。情報理解が難しい。
	手帳の使い方がわからない。手帳を受け取る際などに分かりやすい冊子などが欲しかった。不親切だと感じた。
福祉サービス全体	福祉サービスは申請してからではなく、受けられる立場の人に自動的に受けられるような仕組みになっていくとよい。サービスを知らないで病気になってから、何年も福祉サービスを受けていなかった。障害者のニーズに柔軟に対応してもらいたい。
	施設入所していても働きたいと思う人もいるが、入所支援と就労支援を一緒に行なうのは無理であったり、外出したくても介助者が確保できない、など使えるサービスが限られるのももう少し柔軟に対応してもらいたい。
	障害やそれに関わる疾患を医療と連携、情報共有できると安心。
行政・手続き	書類の説明文などが複雑で分かりにくい。
	提出する書類（医師の診断書など）時間がかかるものも多く、もう少し提出期限を長めにしてほしい。
	せっかくマイナンバーという制度ができたのに、様々な行政手続きにおいて、紐付けされていないのが残念です。例えば、精神手帳、自立支援の手続きと特別児童扶養手当の手続きでそれぞれ診断書が必要です。診断書を発行してもらうための通院、予約等時間的な負担も大きいし、なかなか仕事等で難しいので、1度で済ませられるよう統一してもらえたらと思います。

分類・要望項目	主な内容
行政・手続き	市役所に相談に行くといろいろな課を周らなければならないが、横の連携がないため同じ話を何度もしなければならずストレスが大きい
	市役所の窓口でも発達障害に関して素人という感じで相談に行っても意味が無い。もっと勉強して欲しい。発達障害専門のスタッフや相談窓口を作るべき。
	障害の害はそろそろ課の名前や施策等でひらがなにしてほしい。
将来への不安	現在、介助している者が倒れた場合の不安が大きい。今後利用したいサービスなど連絡し質問等するまで中々行動に移せていない。
	今後、年齢をとったときに入院が必要になった場合、現状では受入れ先が然程多くないことが不安。
	重度の障がい者のため、親亡き後、地域で支援を受けて生活することは無理だが、入所施設への移行ができるという安心感はなく不安な日々を過ごしている。
就労について	交通手段（バスがあまりない）が乏しく、仕事を考えるのに、場所が限定されてしまいます。交通機関の確保、多様な就労形態、働く場所（働き方を変えれば）がたくさんできると思うのですが。
	就労時間が短く、収入のほうが少ないので、もう1～2時間ほど長く働けたらと思っています。
	市役所等での障害者の求人がないように思います。
	仕事のことなど専門的に相談できる場所がほしい。
障害者差別・理解について	障害者と呼ばれる人たちが障害者と呼ばれない区別の社会を変えていかないと結局は何も変わらない
	会社や外出先で障がいを理由にいじめにあい長年勤務した会社をやめた。家族には話しましたが、どうすることも出来ずくやしい思いをした。今は違う職場で働いているが、いじめがトラウマになっている。もっといじめ等を話せる相談窓口等、あれば周知を徹底してほしい。
	発達障害に対する認知度や理解度がほとんどなく、親の甘やかしと必ず見られたり、言われたりして不快な思いが消えない。息子がADHDであるが、本当に大変だし、トラブルも多い。何の支援もなく、精神的負担はかなり強い。18歳までは相談もできていたが、それ以降はどこにも相談ができない。軽度発達障害と世間で言われているが、本当に悩まされる毎日である。
	持病の「てんかん」について、一般企業に勤務しているが、入社当時は周りの理解度も高く安心して勤務できていた。しかし最近では周りの理解度も薄れてきており不安を感じている。障害に対する知識や理解度を高めるために企業向けのセミナーを開催してほしい。
提言・苦情	障害者が不自由なく住める町づくりを（ドイツみたい）お願いします。
	重度医療や手当の所得制限の見直し。一度になくすのではなく、段階的に減らしていくようにして欲しい。
	発達障害の子どもも、もっと自由に子ども達同士で関わりあえる場所があればいいと思う（療育とは違う）。
保健医療	施設入所を利用中だが、身体障害の残存能力を維持したいが、入所中のリハビリサービスは受けられないとのこと。利用できるようにしてもらいたい。
	精神科が東広島に少なく、あっても交通の便が悪い。医療機関のバスを利用したいがリハビリ利用者で無いと使えず、使えるようになるとよい。
	入院先に困る、急な受入れ先がないなど本当に緊急を要する場面での困難さがあるように感じる。
	ある医療機関の歯科は重度の知的障害者の診察を拒否するため、東広島市外の病院へ行っている。

分類・要望項目	主な内容
施設入所支援	身体障害者を受け入れる老人ホームのような施設がないように思う。自立できなくなったときに不安。
	グループホームに入りたいが、24時間のケアが必要な場合は入れないよう。重度の障害がある場合、入所施設以外の選択はないようだが、事業者が充実したサービスを提供できるよう、行政の取組を整備してもらいたい。できる限り、家族と暮らすことを望んでいるが、叶わぬ日が来たときに安心して生活できる場所があることを望んでいる
	入所施設について将来、病気などで重症化した場合なかなか施設で最期まで過ごすことは難しいため、施設を移動しなければならないがその支援などはあるのか。
感謝	以前住んでいた（県外）では医療費が生活を圧迫し大変だったが、東広島市に来て、生活を助けていただき、今は少しの工賃をいただきありがたく思っている。福祉サービスの充実している東広島市はいいところだと思う。
	市役所の窓口でとても親切に対応していただき、質問にも明確に回答してくださり感謝している。
アンケートについて	要望はたくさんあるが、生活に余裕がなく、時間がないので書けない。締め切りのないいつでも提出可能なアンケート用紙があると、いつか出せるかもしれない。困ったときにアンケート用紙が手元にあると嬉しい。
	アンケートの項目数が多く回答したくても回答できない。無作為抽出の方法を考え直しても良いと思う。
	答え方がわかりにくかったです。障害のある方には特に誰かが補足説明してあげないと難しいのではと思います。
障害認定	身体障害における等級判断基準が肢体の場合の見直しをしてほしい。（古すぎる）
	療育手帳の認定基準に IQ の数値が入っており、必要とされる人に発給されないと感じている。基準を見直してほしい。
相談について	身体障害だけでなく、精神障害を持った人たちがもっと日常の不安を相談できるサービスを作って欲しいです。家のこと、子育てについて一人で抱える心配・不安を聞いて欲しいです。
	同じ障害のある家族をもつ方々と悩み等を話しながら、前向きに悩みなどの解決方法を検討できる会などがあれば参加したい
	相談しやすい環境にしてほしい。例えば、男性には男性の相談員、女性には女性の相談員など。
施設職員について	障害者のための通所支援施設なのに、えこひいきをする職員がいるので改善してほしい。
	支援事業所の職員のレベルの低さに問題があると感じた。一箇所のB型支援施設だけではなく、他の支援施設でも同じように職員の問題行動が目についた。採用や教育にもっと注意すべき。 今、問題となっている職員によるいじめや虐待にもつながる問題（暴言等もりっぱな虐待）
	教職員や保育所、幼稚園職員には障害（特にアスペルガー等）において理解の浅い人が多いと感じる。必修の研修などを行なって欲しい。理解のある方もいるが。
公共の施設について	道路や公園などのバリアフリー化や急なスロープの見直し、多目的トイレの管理が気になる。多目的トイレがあっても管理されておらず使えないことがある。「車椅子用」として作られたものは必ず車椅子使用者がテストしてほしい。スロープが急で車椅子では登れないことが多い。
	駅のホームと電車の段差をなくしてほしい。

分類・要望項目	主な内容
学校について	中学校の理解度も低く学校に行けない日々が続く。本人が困っていることがつたわりにくく理解してもらえないよう。障害手帳がないだけで手助けされないことが多い。
	発達障害の子どもが学校に通いやすい学校づくりをしてほしい。
	学校の勉強を教えてくれる障害児専門の塾のようなものがあれば良い。
生活・周辺環境	部落の集まり作業に障害のため参加できないと言うと、理解されないため自治会等の会長などへ教育してほしい。
障害児療育	障害児通所支援事業所に通所しているが、もう少し長く預かってほしい。パートの仕事に出たいがなかなか今の開所時間では仕事が見つからない。
	療育する場をもっとたくさん作ってほしい。
デイサービス	デイサービスの施設数が足りない。
	デイサービスが家から遠く近くであれば助かる。
地域移行について	現在施設に入所しているが将来は家に帰り家族と一緒に過ごすことだが、家族の事情もあり難しい。高齢であり日中、地域の作業所などに行き働く意欲はない。高齢障害者に対する施策を示して欲しい。現在より充実した日々を送りたい。
	入院が長く、家や施設へ帰ることもできない人に対する応援がない。
	お金のない人が古民家などの利用して色んな人とシェアハウスをして暮らせる環境があれば良いと思う。
精神障害	若い世代が利用できる精神障害の方のデイケアが少ない。遠いし、年配が多く、結局利用しなくなり、自宅で無為に過ごしてしまう。
	地域からの理解や支援が充実していて、精神疾患の専門医や職員が常駐して、精神疾患の利用者のみのグループホームがあればよい。
障害児教育	子どもが一人っ子ということもあり、成年後見人のことに関して、情報が欲しいと思っております。成年後見人の手続きも複雑だということも聞いたこともあります。まだ先のこともかもしれませんが、知識として知っておくことも必要かと思えます。資料をいただけるとわかりやすい講習会等あれば参加してみたいと思えます。
	広汎性の発達障害だと学校支援もほぼなく、普通の子と同じ環境での生活なので、人間関係や勉強等本人の負担が大きいです。もう少し、軽度の障害児に対しての配慮が増えると生活しやすいと思います。
発達障害	子どもの発達障害に対する支援を充実させてほしい
虐待	施設での虐待があることについて感じたこととして、病院に入院していた時は看護師の数も多く、備品も十分にあったが、施設では介護士も少なく備品も最小限で、そこに問題があると感じた。また病院には毎日家族や友達の見舞いがあったが、施設では家族の姿があまり見られない。多くの人の関心や行政などの支援があることが必要。
その他	同業者同士で問題を起こして欲しくない。暮らしやすく成長しやすく虐待やいじめを早く解決できる社会システムになってほしい。
	補装具の指定補聴器があまりに古い型のため、機能が充実した補聴器に変更して欲しい

介助について

日常生活について、「ひとりでできる」の回答率は、「外出」(49.8%)と、「お金の管理」(49.9%)で低くなっています。

また、日常生活における介助の必要性について、「日常生活において介助が必要」と回答した人は6割以上(61.7%)となっています。

実際に介助をしてくれる人については、「父母・祖父母・兄弟姉妹」の親族が4割以上(47.3%)となっています。

介助をしてくれる人については、年齢は60代以上が3割近くを占めており、介助者の高齢化が進んでいます。また、健康状態が「よくない」介助者が8.3%いることから、高齢化や健康状態によって介助ができなくなったときの対策が求められています。

障害の状況について

障害の状況について、「難病」(10.9%)や、「発達障害」(21.5%)、「高次脳機能障害」(6.9%)の認定や診断を受けている人が本調査でみられ、多様な障害の個々に応じた支援が望まれます。

発達障害における必要な支援として、「専門の相談・支援機関(発達障害支援センター等)の充実」(44.3%)、「専門の医療機関の充実」(39.5%)など専門性の高い支援や、「乳幼児から成人までの一貫した支援の援助する行政窓口」(42.2%)などが求められています。

住まいや暮らしについて

暮らしの状況について、「福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている」(13.4%)や、「病院に入院している」(1.7%)といった人は、5割以上が「今のまま生活したい」(51.5%)と希望していますが、「家族と一緒に生活したい」(15.4%)や、「グループホームなどを利用したい」(6.2%)といった地域で生活することを望まれる人が合わせて2割以上となっています。

地域で生活するために必要な支援としては、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(43.8%)や「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」と「地域の医療機関、地域援助事業者、行政、住民組織等の連携体制の充実」(ともに40.8%)、「障害に適した住居の確保」(39.2%)といったことが望まれています。

外出について

外出の頻度について、「めったに外出しない」の回答率は、「療育手帳」保持者で多くなっています。

外出の際に困ることとして挙げられていることは、「困った時にどうすればいいのか心配」(18.2%)が最も高くなっています。ついで、「公共交通機関が少ない(ない)」(17.7%)や「外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)」(14.2%)、「道路や駅に階段や段差が多い」(13.2%)など、交通機関や、道路等の整備が求められています。

外出の頻度が低い障害の種類別にみると、「療育手帳」保持者は、「困った時にどうすればいいのか心配」(30.6%)が高くなっており、障害に応じた支援が必要と考えられます。

就労について

就労について、今後収入を得る「仕事をしたい」の回答率が30.2%となっています。また、職業訓練の希望については、「職業訓練を受けたい」の回答率が17.1%であり、今後収入を得る「仕事がしたい」の回答率を下回っています。

就労支援として必要なこととしては、「職場の障害者理解」(50.3%)、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」(47.6%)が高くなっており、障害者の就労に対する周囲の人々の理解促進が求められています。

障害福祉サービス等の利用について

障害福祉サービスについて、「計画相談支援」(17.1%)や、「施設入所支援」(15.9%)、「生活介護」(14.5%)、「相談支援」(13.9%)の利用希望が高くなっています。

障害児に関するサービスについて、「放課後等デイサービス」(51.3%)や、「計画相談支援」(37.7%)、「障害児相談支援」(30.7%)、「児童発達支援」(30.2%)を今後利用することを希望する人が多くなっています。

障害福祉サービス等の利用満足度では、「共同生活援助（グループホーム）」(72.2%)が最も高くなっており、「就労継続支援（A型）の支給」(63.6%)、「重度障害者等包括支援」(62.5%)、「補装具費の支給」(60.9%)、「計画相談支援」(60.2%)なども満足度が高くなっています。

障害児に関するサービスについて、各サービスともに概ね5割以上が満足度が高くなっています。

なお、障害福祉サービス等をまったく利用していない人の理由をみると、サービスを利用する必要がないから」(26.1%)が最も高くなっており、「家族が介助してくれるから」(6.8%)、「緊急時に利用したい」(4.6%)がやや高くなっています。

相談相手について

悩みや困ったことの相談先としては、「家族や親せき」(61.4%)が突出して高くなっています。

福祉サービスに関する情報の入手先としては、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」(26.6%)が最も高く、ついで、「行政機関の広報誌」(20.2%)、「かかりつけの医師や看護師」(19.0%)も高くなっています。

権利擁護について

差別の経験については、23.9%が「ある」と答えており、「少しある」の23.6%も含めると、半数近くが差別や嫌な思いを経験したことがあります。その場所としては、「学校・仕事場」(49.6%)や、「外出先」(41.1%)が高くなっており、職場、学校での障害への理解促進や、障害者が安心して暮らせる環境づくりが求められています。

「障害者差別解消法」の認知について、「名前も内容も知らない」(53.0%)が最も高くなっています。また、成年後見制度の認知について、「名前も内容も知らない」(34.8%)が最も高くなっています。東広島市虐待防止センターの認知についても「名前も内容も知らない」(61.1%)が最も高くなっており、情報発信や周知活動の必要があります。

